CAMEDIA
デジタルカメラ

# C-70 ZOOM

取扱説明書

# 応用編

カメラを使いこなすための
すべての機能について説明しています。

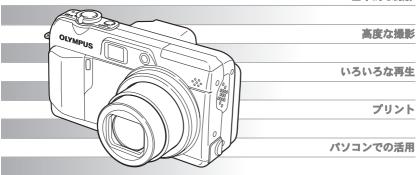
カメラの基本操作

基本的な撮影

高度な撮影

いろいろな再生

プリント

パソコンでの活用

カメラの設定

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

# このカメラの使い方

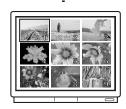
## パソコンに•••

カメラの画像をパソコンに保存し、付属のOLYMPUS Masterを使うと、画像の編集・閲覧・プリントなどをもっと楽しむことができます。

## カードに•••

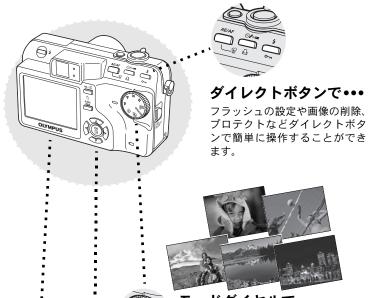
撮影した画像はxD ピクチャーカードに記録されます。カードにプリント予約してプリントショップやプリンタ（PictBrige対応）でプリントすることができます。

## プリンタに•••

プリンタ（PictBrige対応）からカメラの画像を直接プリントすることができます。

## テレビに•••

カメラの画像やムービーをテレビで再生することができます。

## ダイレクトボタンで•••

フラッシュの設定や画像の削除、プロテクトなどダイレクトボタンで簡単に操作することができます。

## モードダイヤルで•••

撮影や再生の操作を選びます。
SCENE は5種類の撮影シーンから撮影状況に合わせた設定を選択することができます。

## 十字ボタン・OKボタンで•••

メニューの選択や設定のほか、再生画面のコマ送りのときも使います。

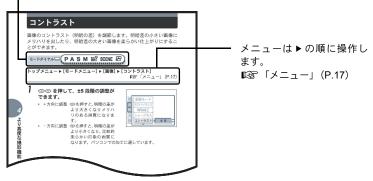
## メニューで•••

液晶モニタに表示されたメニューで撮影や再生、カメラに関する設定を行います。

# 取扱説明書の使い方

## ●表記について

本書の各機能説明ページの表記について説明します。撮影・再生を始める前にご確認ください。ボタン・メニューの操作方法の詳細については、各参照ページをご覧ください。

モードダイヤルをここに示されているいずれかのマークに設定します。☞「モードダイヤル」(P.12)

このページは説明のためのサンプルです。実際のページとは異なる場合があります。

**ご注意**

故障やトラブルになるような、重要な注意事項が書かれています。絶対に避けていただきたい操作も書かれています。

***ヒント***

活用するために、知っておくと便利なことや役に立つ情報などが書かれています。

☞

本書での参照先のページを書いています。

## ●「基本編」と「応用編」について

このカメラの取扱説明書は、基本編と応用編（本書）の2冊で構成されています。

**基本編**　まず、カメラを手に取って使ってみましょう。撮影して再生するまでを簡単に説明しています。

**応用編**　カメラの使い方に慣れたら、カメラの他の機能も使ってみましょう。もっときれいに、もっと楽しく撮れるように多くの機能が用意されています。

# 取扱説明書の構成



各章の扉ページには、それぞれの章に関連したコラムを記載しています。ぜひご覧ください。

# もくじ

## 5 いろいろな撮影機能 - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - 69

## 6 再生 ---------------------------- 81



## 7 設定 ---------------------------- 103

## 8 プリントする - - - - - - - - 123



## 9 パソコン接続 - - - - - - - - 141

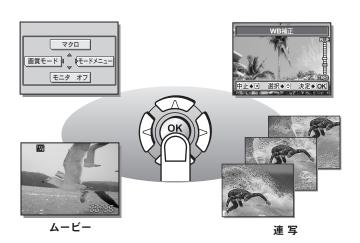
## 10 付録 - - - - - - 157

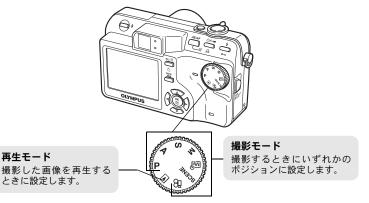


## 11 資料 - - - - - - 175

# カメラの基本操作

1

高度な撮影や編集はプロカメラマンだけの技術だと思っていませんか？
彼らは長年の経験とプロならではの技を活かし、多様で微妙な調整をしながら撮影します。
デジタルカメラを使うあなたはボタンを操作するだけ。メニューを設定すれば、取り込む光の量を調節する、ピント合わせの範囲を変えるなど、高度な機能を簡単に使いこなすことができます。
メニューの設定は、液晶モニタを見ながらボタン操作で行います。各機能の説明を読む前に、まずはボタンとメニューの操作方法をマスターしましょう。

# モードダイヤル

このカメラには撮影モードと再生モードがあります。モードはモードダイヤルを使って設定します。撮影モードにはさらに7種類のモードがあります。目的のモードを選んで電源を入れてください。



## ●モードダイヤルの種類

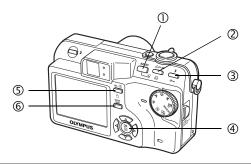
| | | |
|---|---|---|
| 撮影モード | P | 絞り値とシャッター速度はカメラが自動的に設定します。 |
| | A | 絞り値を自分で設定します。シャッター速度はカメラが自動的に設定します。 ☞P.44 |
| | S | シャッター速度を自分で設定します。絞り値はカメラが自動的に設定します。 ☞P.45 |
| | M | 絞り値とシャッター速度を自分で設定します。 ☞P.46 |
| | My | 撮影に関する各種機能を設定してマイモードとして登録し、オリジナルの撮影モードとして使います。 ☞P.47 |
| | SCENE | 撮影状況に合わせた5種類の撮影シーンから選択します。 ☞P.32 |
| | ムービー | ムービーを撮影します。音声も録音できます。 ☞P.70 |
| 再生モード | ▶ | 静止画またはムービーを再生します。音声も再生できます。 ☞P.82 |

### ヒント

- モードダイヤルの位置によって、ダイレクトボタンの機能やメニューの内容が異なります。☞「ダイレクトボタン」(P.13)、「メニュー」(P.17)、「メニュー一覧」(P.176)
- モードの変更はカメラの電源が入っている状態でも行えます。

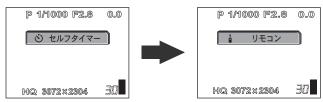
# ダイレクトボタン

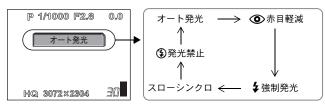
ダイレクトボタンは、1つのボタンが撮影モードと再生モードでそれぞれ異なった機能を持っています。

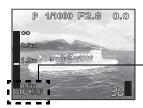
## 撮影モードのダイレクトボタン操作

| ① | **AE/AF** ボタン |
|---|---|

**AE/AF** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。AE（測光）方式とAF（フォーカス）方式をそれぞれ選択します。画面下の操作ガイドにしたがって設定します。☞「ピント合わせの応用」(P.47)、「測光」(P.53)

| ② | （セルフタイマー／リモコン）ボタン |
|---|---|

繰り返し（セルフタイマー／リモコン）ボタンを押して設定します。セルフタイマー機能とリモコン機能を切り換えます。☞「セルフタイマー撮影」(P.74)、「リモコン撮影（別売）」(P.78)

| ③ | ϟ（フラッシュモード）ボタン |
|---|---|

繰り返しϟ（フラッシュモード）ボタンを押して設定します。ボタンを押すたびに次の順で切り換わります。☞「フラッシュ撮影」（P.37）

| ④ | OKボタン |
|---|---|

フォーカスモードを切り換えます。OKを1秒以上押すと次の画面が表示されます。◁▷を押してAF（オートフォーカス）、MF（マニュアルフォーカス）を切り換えます。☞「マニュアルフォーカス」（P.51）

現在AF（オートフォーカス）が設定されています。◁を押すとMF（マニュアルフォーカス）に切り換わります。

| ⑤ | **AEL**（AEロック）／（カスタム）ボタン |
|---|---|

押すたびに露出（AE）のロックと解除を繰り返します。☞「AEロック撮影」（P.55）
または、カスタムボタンに機能を登録している場合は、ボタンを押すたびに登録した機能の設定が切り換わります。☞「カスタムボタン設定」（P.120）

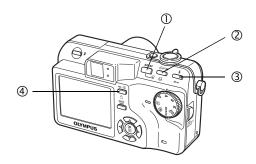
AEロック画面

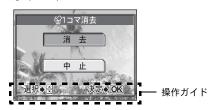
カスタムボタンに［ドライブ］を登録した場合の画面

| ⑥ | **QUICK VIEW**ボタン |
|---|---|

**QUICK VIEW**ボタンを押すと、最後に撮影した画像が液晶モニタに表示されます。通常の再生モードと同様の各機能を使うことができます。
☞「6 再生」（P.81）
もう一度**QUICK VIEW**ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると撮影モードにすぐ戻り、撮影準備ができます。



## 再生モードのダイレクトボタン操作

| ① | 🗑（消去）ボタン |
|---|---|

画像を選択して🗑（消去）ボタンを押すと、次の画面が表示されます。画像を消去します。画面下の操作ガイドにしたがって操作します。
☞「画像を消去する」（P.100）

## ② 凸（プリント予約）ボタン

凸（プリント予約）ボタンを押すと、次の画面が表示されます。
カードにプリント予約します。画面下の操作ガイドにしたがって操作します。☞「プリント予約（DPOF）」（P.134）

## ③ O┳（プロテクト）ボタン

画像を選択してO┳（プロテクト）ボタンを押すとプロテクト（保護）が設定されます。☞「画像を保護する」（P.99）

## ④ 回転（回転再生）ボタン

静止画を選択して回転（回転再生）ボタンを押すと、撮影した画像を回転して表示します。ボタンを押すたびに、画像が時計方向に90度、反時計方向に90度、元の位置の順に回転します。☞「回転再生」（P.87）

# メニュー

各機能の設定はメニューで行います。㊋を押すと液晶モニタにメニューが表示されます。

## メニューの種類

使用できるメニュー項目はカメラのモードによって異なります。

**トップメニュー**

ショートカットメニューとモードメニューで構成されています。

**ショートカットメニュー**

モードメニューから選択する項目が直接選択できます。オン／オフを切り換えるショートカットメニューもあります。

**モードメニュー**

設定項目が機能ごとにタブで分類されています。

### ショートカットメニュー

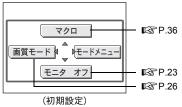
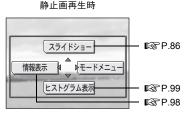
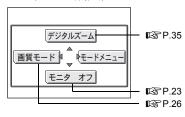
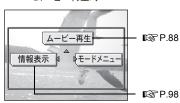
#### ●撮影モード

P A S M MY SCENE モード
（静止画撮影時）

（初期設定）

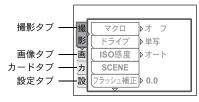
モード
（ムービー撮影時）

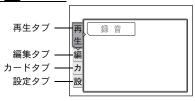
#### ●再生モード（▶モード）

静止画再生時

ムービー再生時

### ヒント

- ショートカットメニューに登録した機能をモードメニューからも設定することができます。また、🎥 ▶モード以外ではショートカットメニューを変更することができます。☞「ショートカット設定」（P.118）

## モードメニュー

### ●撮影モード

| 撮影タブ | 撮影に関する設定をします。 |
|---|---|
| 画像タブ | 画質やホワイトバランスなど画像に関する設定を行います。 |
| カードタブ | カードをフォーマットします。 |
| 設定タブ | カメラの基本的な設定や使いやすくするための設定を行います。 |

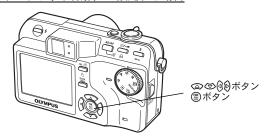
### ●再生モード（▶モード）

| 再生タブ | 録音します。 |
|---|---|
| 編集タブ | 撮影した画像を編集します。 |
| カードタブ | カードのフォーマットや全コマ消去をします。 |
| 設定タブ | カメラの基本的な設定や使いやすくするための設定を行います。 |

### ヒント

- 🎥モードでは、撮影モード・再生モードともモードメニューの内容が異なります。詳細については「メニュー一覧」（P.176）を参照してください。
- 撮影モード、再生モードのモードメニューの各項目については「メニュー一覧」（P.176）を参照してください。

## メニューの操作方法

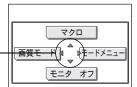
メニューは十字ボタンと㊙を使って設定します。
メニュー画面に使用する十字ボタンや操作ガイドが表示されますので、それにしたがって選択、設定します。ここでは、メニュー画面とその操作について説明します。

例：[**BKT**]（オートブラケット撮影）を設定する場合

**1 撮影モードで㊙を押します。**

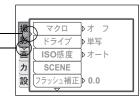
- トップメニューが表示されます。

**2 ▷を押して［モードメニュー］を選択します。**

十字ボタン（△▽◁▷）を表しています。

トップメニュー

**3 △▽を押して［撮影］タブを選択し、▷を押します。**

- 画面に表示された十字ボタンにしたがって選択・設定します。

十字ボタン(▽▷)を表しています。

## 4 △▽を押して［ドライブ］を選択し、▷を押します。

- 画面に表示された十字ボタンにしたがって選択・設定します。
- 設定できない項目は選択できません。

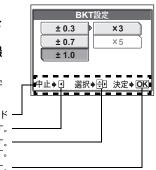
選択した項目は凹んで見えます。

## 5 △▽を押して［BKT］を選択し、▷を押します。

- 画面に表示された十字ボタンにしたがって選択・設定します。

## 6 △▽を押して［±0.3］［±0.7］［±1.0］から露出差を選択し、▷を押します。△▽を押して［×3］［×5］から撮影枚数を選択し、OKを押します。

- 画面下の操作ガイドにしたがって、十字ボタンを押して選択・設定します。

操作ガイド
◁を押して設定を中止します。
△▽を押して項目を選択します。
▷を押して設定項目を移動します。
OKを押して設定内容を決定します。

### ヒント

本書では上記の手順1～5までのメニュー操作を次のように表記しています。
**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［ドライブ］▶［BKT］**

# 撮影前に知って
# おきたいこと

2

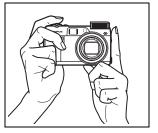
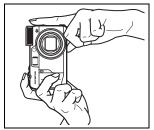
モードダイヤルを **P** に合わせてシャッターボタンを押すだけで、ほとんどの場合は上手く撮ることができます。でも、どうしても被写体にピントが合わない、被写体が暗く撮れてしまうなど、思い通りに撮れない・・・・ということはありませんか？
そんなとき、ちょっとした撮影のコツを活用したり、カメラの簡単な機能を使うだけで、問題が解消する場合もあります。
また、撮影後の画像の利用方法に合わせて画像サイズを選択して撮影すると、1 枚のカードにより多くの画像を記録することができます。これも“ちょっとしたコツ”のひとつです。

# カメラの正しい構え方

撮影した画像を見ると、被写体の輪郭がはっきりしないときがあります。このようなときはシャッターボタンを押し込んだ瞬間にカメラを持つ手がぶれたり、カメラが動いていることがあります。

被写体の輪郭がはっきりしない画像

このような失敗を防ぐために、カメラは脇を締めて両手でしっかり持ちましょう。カメラを縦位置で持つときは、フラッシュがレンズより上になるように持ちます。レンズとフラッシュに指やストラップがかからないよう、ご注意ください。

横位置

縦位置

上面図

# 液晶モニタのオン／オフ

撮影時、液晶モニタを点灯（オン）または消灯（オフ）します。

**モニタオン**　液晶モニタを見て撮る場合（初期設定）
**モニタオフ**　ファインダを見て撮る場合

モードダイヤル P A S M MY SCENE

**トップメニュー ▶［モニタオフ］／［モニタオン］** ☞「メニュー」（P.17）

## ●液晶モニタとファインダの特徴

| | 液晶モニタ | ファインダ |
|---|---|---|
| 長所 | 撮影する範囲を正しく確認できます。 | 手ぶれしにくく、周囲が明るくても被写体がはっきり見えます。電池の消耗が少なくなります。 |
| 短所 | 手ぶれが起こりやすく、周囲が明るいときや暗いときは見えにくいことがあります。電池の消耗が早くなります。 | 近くのものを撮影するとき、ファインダで見える範囲と撮影できる画像との間にずれが生じます。 |
| こんな撮影に | 実際に写る範囲を確認しながら撮影したいときに。人物や花のアップの撮影、マクロ撮影などをするときに。 | スナップや風景写真など、気軽に撮影したいときに。 |

- ファインダで見た構図より、実際にはやや広い範囲が撮影されます。
- 写すものとの距離が近いと、左図のように実際に撮影される画面の範囲（斜線部）は、ファインダで見ている範囲と多少異なってきます。

### ヒント

**液晶モニタが自動的に消灯した**

→ 3 分以上何も操作をしないと、液晶モニタは消灯します。シャッターボタンやズームレバーを操作すると再び点灯します。

**液晶モニタの明るさを調節したい**

→［モニタ調整］で設定します。☞「モニタ調整」（P.115）

**液晶モニタが見にくい**

→ 晴天下のように明るい場所では、液晶モニタの画像に縦スジ（スミア）が入ることがありますが、撮影画像への影響はありません。

# ピントが合わないとき

カメラは撮影する構図の中で、自動的にピントを合わせるべきものを検出します。被写体を検出する際、コントラストの強さも判断の基準になります。被写体のコントラストが周囲に比べて弱いときや、よりコントラストの強い部分が構図の中にあるときは、カメラは判断を誤る場合があります。その場合のもっとも簡単な対処法にフォーカスロックがあります。



## ピント合わせの方法（フォーカスロック）

モードダイヤル P A S M SCENE

**1 ピントを合わせたいものにAFターゲットマークを合わせます。**

- ピントが合いにくいものや速く走るものの場合、まず撮影したいものとほぼ同じ距離のものにカメラを向けます。

AFターゲットマーク

**2 シャッターボタンを緑ランプが点灯するまで押します（半押し）。**

シャッターボタン

- ピントと露出が固定されると、緑ランプが点灯します。
- ピントの合った位置にAFターゲットマークが移動します。
- 緑ランプが点滅したときは、ピントと露出が固定されていません。シャッターボタンから指を離し、ピントを合わせる位置を少しずらしてもう一度シャッターボタンを半押ししてください。

**3 半押しの状態のまま撮影したい構図にします。**

緑ランプ

**4** **シャッターボタンを押し込みます（全押し）。**

### ヒント

**ピント合わせをする構図と露出を合わせたい構図が異なる**
☞「AEロック撮影」（P.55）

**ピントだけを固定する**
☞「AFロック撮影」（P.50）

**ピントを画面中央で合わせたい**
☞「AF方式」（P.47）

## オートフォーカスの苦手な被写体

次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。

緑ランプ点滅
このようなものにはピントが合いません。

コントラストがはっきりしない被写体

画面中央に極端に明るいものがある場合

縦線のないもの

緑ランプは点灯するが、写したいものにピントが合わない。

遠いものと近いものが混在する場合

動きの速いもの

ピントを合わせたいものが中央にない

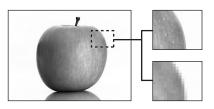
いずれの場合も、被写体と同距離にあるコントラストのはっきりとしたものでピントを合わせた後、構図を決めて撮影してください。また、縦線のない被写体の場合は、カメラを縦位置に構えてピントを合わせた後、構図を横に戻して撮影しても効果的です。
いずれの方法でもピントが合わない場合は、マニュアルフォーカスを使用してください。☞「マニュアルフォーカス」（P.51）

# 画質について

撮影する画像の画質を設定します。プリント用、パソコンでの加工用、ホームページ用など、用途に合わせて画質モードをお選びください。各画質モードでの画像サイズやカードへの撮影可能枚数・時間については、P.28の表をご覧ください。



## 静止画の画質モード

画質モードは、記録する画像のピクセル数と圧縮する度合いの組み合わせを表しています。
画像はピクセル（点）の集まりでできています。ピクセル数が少ない画像を拡大するとモザイク状に表示されます。ピクセル数が多い画像は１枚の画像のファイルサイズ（データの量）が大きくなり、カードに記録できる枚数が少なくなりますが、密度が高く精細になります。圧縮率が高いほどファイルサイズは小さくなりますが、画像を表示したときに粗く見えます。

ピクセル数が多い画像

ピクセル数が少ない画像

### ●通常の画質モード

← 画像が精細になる

↑ 画像サイズが大きくなる

<table>
<tr><th>用途</th><th>圧縮<br>画像サイズ</th><th>非圧縮</th><th>低圧縮</th><th>高圧縮</th></tr>
<tr><td rowspan="7">プリントサイズに合わせて選択</td><td>3072 × 2304</td><td>TIFF</td><td>SHQ</td><td>HQ</td></tr>
<tr><td>2592 × 1944</td><td rowspan="7">JPEG</td><td rowspan="4">SQ1<br>高画質</td><td rowspan="4">SQ1<br>標準</td></tr>
<tr><td>2288 × 1712</td></tr>
<tr><td>2048 × 1536</td></tr>
<tr><td>1600 × 1200</td></tr>
<tr><td>1280 × 960</td><td rowspan="3">SQ2<br>高画質</td><td rowspan="3">SQ2<br>標準</td></tr>
<tr><td>1024 × 768</td></tr>
<tr><td>小さいプリントやホームページ用</td><td>640 × 480</td></tr>
</table>

### 画像サイズ

画像をカードに記録する際の大きさ（横の画素数×縦の画素数）です。画像をプリントするときは、大きな画像サイズで記録しておくときれいにプリントされます。

### 圧縮

TIFFモード以外の画質モードでは、画像を圧縮して保存します。圧縮率が高いほど画質は粗くなります。



## ●特殊な画質モード

| 画質モード | 特徴 | 画像サイズ |
| --- | --- | --- |
| RAW | 画像処理を行わない撮影したままの生データです。 | 3072 × 2304 |
| 3：2<br>（SHQ、HQ） | 写真店でプリントするときに適しています。 | 3072 × 2048 |

### RAWデータ

ホワイトバランス、シャープネス、コントラスト、色変換などの処理を行っていない未加工のデータです。パソコンで画像として表示するにはOLYMPUS Masterを使います。Photoshopで再生するためのプラグインソフトもあります（当社ホームページからダウンロードできます）。一般のソフトウェアで表示したり、プリント予約することはできません。
このカメラで、画質モードをRAWデータに設定して撮影した画像を編集することができます。☞「RAW編集」（P.89）

### 3：2

通常、画像の横と縦の比は4：3の比率になっていますが、3：2に設定することで、写真店でプリントする際に画像の端が切れないでプリントできます。

3:2に設定したときの
モニタ表示

## ムービーの画質モード

## ●SHQ、HQ、SQ1、SQ2

Motion-JPEG形式でムービーを記録します。

# カードの記録可能枚数・撮影可能時間



## 静止画の場合

| 画質モード | 画像サイズ | | 圧縮 | ファイル形式 | カードの記録可能枚数（枚） 32MBカードの場合 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 音声あり | 音声なし |
| RAW | 3072 × 2304 | | 非圧縮 | ORF | 3 | 3 |
| TIFF | 3072 × 2304 | | 非圧縮 | TIFF | – | 1 |
| SHQ | 3072 × 2304 | | 低圧縮 | JPEG | 6 | 6 |
| | 3:2 3072 × 2048 | | | | 6 | 6 |
| HQ | 3072 × 2304 | | 高圧縮 | | 17 | 18 |
| | 3:2 3072 × 2048 | | | | 20 | 20 |
| SQ1 | 2592 × 1944 | 高画質 | * | | 8 | 8 |
| | | 標準 | | | 24 | 25 |
| | 2288 × 1712 | 高画質 | | | 10 | 11 |
| | | 標準 | | | 31 | 32 |
| | 2048 × 1536 | 高画質 | | | 13 | 13 |
| | | 標準 | | | 39 | 40 |
| | 1600 × 1200 | 高画質 | | | 22 | 22 |
| | | 標準 | | | 60 | 64 |
| SQ2 | 1280 × 960 | 高画質 | | | 33 | 34 |
| | | 標準 | | | 90 | 99 |
| | 1024 × 768 | 高画質 | | | 51 | 53 |
| | | 標準 | | | 132 | 153 |
| | 640 × 480 | 高画質 | | | 117 | 132 |
| | | 標準 | | | 248 | 331 |

*高画質→低圧縮／標準→高圧縮

## ムービーの場合

| 画質モード | 画像サイズ | ファイル形式 | 撮影可能時間（秒） 32MBカードの場合 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 音声あり | 音声なし |
| SHQ | 640 × 480（30コマ／秒） | Motion-JPEG | 17秒 | 17秒 |
| HQ | 640 × 480（15コマ／秒） | | 34秒 | 35秒 |
| SQ1 | 320 × 240（30コマ／秒） | | 47秒 | 48秒 |
| SQ2 | 320 × 240（15コマ／秒） | | 93秒 | 96秒 |

## ヒント

- 撮影した画像をパソコン上で見る場合に表示される画像の大きさは、パソコンのモニタ設定によって異なります。たとえば、1024 × 768 ピクセルの画像サイズで撮影された画像は、パソコンのモニタ設定が 1024 × 768 のとき画像を等倍（100％）で表示すると、モニタ全体に表示されます。モニタ設定がそれ以上（1280 × 1024など）になると、モニタの一部にしか表示されません。
- 撮影可能枚数・時間は、カードをカメラに入れたときに液晶モニタに表示されます。

撮影可能枚数

撮影可能時間

## ご注意

- カードの撮影可能枚数・時間はおおよその目安です。
- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行っても枚数が変わらないことがあります。
- ビデオ出力をPALに設定してAVケーブルを接続した状態で撮影すると、ムービーの撮影時間は「カードの記録可能枚数・撮影可能時間」の表の時間とは異なります。

# 画質モードを変更する

モードダイヤル P A S M My SCENE

トップメニュー ▶ [画質モード] ☞「メニュー」(P.17)

**1** **画質モードを [RAW] [TIFF] [SHQ] [HQ] [SQ1] [SQ2] から選択します。**

画質モード
RAW
TIFF
SHQ
HQ
選択 設定 決定 OK

静止画の場合

**ムービーの場合は、画質モードを [SHQ] [HQ] [SQ1] [SQ2] から選択します。** ☞ 手順3

ムービーの場合

**2** **[SHQ] [HQ] [SQ1] [SQ2] を選択した場合は画像サイズを選択します。**

**[SQ1] [SQ2] を選択した場合は画像サイズを選択後 ▷ を押し、さらに [高画質] または [標準] を選択します。**

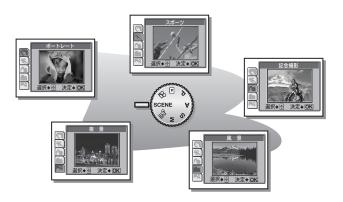
**3** **OK を押します。**



2 撮影前に知っておきたいこと

# 基本的な撮影機能

3

カメラマンは被写体に合わせて、露出の調整やピントの合わせ方、フィルムの選択などを常に考慮した上でより最適な設定で撮影しています。
デジタルカメラで撮るあなたは難しい設定を覚える必要はありません。デジタルカメラには被写体にあわせた設定がすでに用意されています。風景、夜景、ポートレートなど、あなたが撮りたい！　と思うものに合わせた撮影シーンを選ぶだけで、最適な露出や色合いをカメラが設定してくれます。
さあ、あなたはシャッターボタンを押すだけです。

# 撮影シーンに合わせた撮影

撮影シーンや撮影状況に合わせて選択すると、カメラが自動的に撮影に適した条件を設定します。

## ● SCENEモードの種類

### ポートレート撮影

人物撮影をするのに最適です。背景をぼかし人物だけにピントが合うようにすることで、人物を背景から浮き出させる効果があります。

### スポーツ撮影

スポーツなどの動きのある被写体を撮るのに最適です。すばやい動きのものでも、止まっているように撮影することができます。

### 記念撮影

人物と風景をいっしょに撮るのに最適です。近くの被写体と背景の両方にピントを合わせるように撮ります。空・緑・人物をきれいに撮ります。

### 風景撮影

風景を撮るのに最適です。近景から遠景までピントが合うように写します。また、青や緑の色をよりきれいに再現するので、自然のなかでの撮影には効果的です。

## 夜景撮影

夜の景色を撮るのに最適です。通常の撮影よりも遅いシャッター速度で撮影します。**P**モードで街灯が輝く街の夜景を撮影すると、明るさが不足するので光っている点だけの画像になってしまいます。夜景撮影では、街の様子も写し出します。夜景撮影時は、シャッター速度が遅くなりますので、カメラを三脚などで固定して撮影してください。

**トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [撮影] ▶ [SCENE] ▶**
**[（ポートレート）] ／ [（スポーツ）] ／ [（記念撮影）] ／**
**[（風景）] ／ [（夜景）]** ☞「メニュー」（P.17）

- 各シーンを選択すると、画面の右側に撮影シーン例が表示されます。

# 遠くのものを拡大して撮る

光学ズームとデジタルズームを使用して望遠の撮影ができます。光学ズームは、レンズの倍率を変えることによってCCDに拡大された像が写り、CCDの画素がすべて画像になります。デジタルズームは、CCDに写っている像の中心部分を切り出し、設定した画像サイズまで拡大します。小さいサイズを切り出して拡大するので、デジタルズームでの拡大率が大きくなるほど画像は粗くなります。
このカメラで可能なズームの倍率は以下のとおりです。

| | |
|---|---|
| **光学ズーム** | 5倍（35mmカメラ換算：38mm～190mm） |
| **デジタルズーム** | 6倍 |
| **光学+デジタルズーム** | 最大約30倍 |

高倍率になるほど手ぶれが起こりやすくなりますのでご注意ください。



## 光学ズームで拡大する

モードダイヤル P A S M My SCENE

**1 ズームレバーを回します。**

広角：
ズームレバーをW側に回す

望遠：
ズームレバーをT側に回す

### ご注意

- ムービー録音をオフに設定すると、🎥モードでも光学ズームを使用することができます。☞「ムービー録音」(P.80)
- 🎥モードでは、デジタルズームの倍率は最大4倍になります。

## デジタルズームを使う

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［デジタルズーム］▶［オン］／［オフ］**
☞「メニュー」(P.17)

**トップメニュー ▶［デジタルズーム］▶［オン］／［オフ］**
☞「メニュー」(P.17)

### 1 ズームレバーをT側に回します。

- ズームバーの白い部分が光学ズームの領域です。デジタルズームが設定されると、ズームバーに赤い領域が表示されます。光学ズームで最大までズームアップすると、デジタルズームになります。
- 液晶モニタを消灯すると、デジタルズームがオフになります。

ズームの拡大率によってカーソルが上下に移動します。デジタルズームの領域に入るとカーソルがオレンジになります。

# 小さなものを接近して撮る（マクロ／スーパーマクロ） 

通常の撮影では、近接した被写体（広角側：8～60cm、望遠側：60～120cm）にピントを合わせるのに時間がかかりますが、マクロモードにすると、近接撮影のピント合わせが早くなります。

**マクロ** 約9.0 × 6.6cmサイズをほぼフレームいっぱいに撮影できます（光学ズームをもっとも広角にして、8cmまで近づいて撮影した場合）。

**スーパーマクロ** 被写体に約2cmまで接近して撮影できます。約3.4×2.5cmの被写体をフレームいっぱい撮影できます。スーパーマクロは通常の撮影距離にも対応しますが、ズーム位置は自動的に固定されて変更はできません。

マクロ

スーパーマクロ

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［マクロ］▶［オフ］／［］／［S］**

☞「メニュー」（P.17）

- 以外では、トップメニュー ▶［マクロ］▶［オフ］／［］／［S］でも同様に設定できます。

## ヒント

**スーパーマクロで撮影すると、被写体が影になってしまう**

→ オートフォーカスではピントが合いにくくなることがあります。この場合は、マニュアルフォーカスで撮影してください。☞「マニュアルフォーカス」（P.51）

→ 被写体をクローズアップするときに、画面中央部（AFターゲットマークの範囲）を測光し、被写体を適正露光で撮影すると、きれいな画像が撮れます。☞「ESP／スポット測光」（P.53）

## ご注意

- スーパーマクロ撮影では、ズーム、フラッシュは使用できません。

# フラッシュ撮影

撮影状況や目的に合わせてフラッシュの設定を選びます。フラッシュの発光量を補正することもできます。

**フラッシュの到達距離**
広角時：約15cm～3.8m
望遠時：約60cm～2.2m

## オート発光（表示なし）

暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。

## 赤目軽減（◉）

暗い場所でフラッシュを使って人物を撮影するとき、目が赤く写る現象を軽減します。本発光の前に数回の予備発光を行い、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。

目が赤く写ります

### ご注意

- 最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。カメラをしっかり構えて手ぶれを防いでください。
- フラッシュを正面から見ていない場合や、予備発光を見ていない場合、距離が遠い場合などや個人差により、赤目軽減の効果が現れにくくなります。

## 強制発光（⚡）

フラッシュを必ず発光させます。木かげなどで顔にかかった陰をやわらげるときや、逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影のときに使用します。

### ご注意

- 非常に明るい状況下では、効果が現れにくくなることがあります。

## 発光禁止（⊘）

暗いところでも発光させたくないときに使用します。美術館のようにフラッシュを使用できない場所での撮影に使用します。フラッシュが届かない遠景・夕景を撮りたいときにも使用します。フラッシュモードを発光禁止に設定しているときの他に、フラッシュを閉じているときにも発光しません。

### ご注意

- 暗いところの撮影ではシャッター速度が長くなりますので、カメラぶれを防ぐため三脚のご使用をおすすめします。

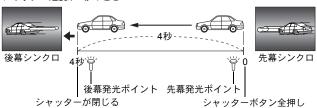
## スローシンクロ（⚡SLOW1 ⚡SLOW2 👁⚡SLOW1）

遅いシャッター速度でフラッシュを発光させます。通常のフラッシュ撮影では手ぶれを防ぐため、シャッター速度が遅くならないように設定されていますが、このとき夜景などをバックに撮影すると、フラッシュの光が背景まで届かないため、暗くつぶれてしまいます。遅いシャッター速度で撮影すると背景を写し込むことができ、被写体と背景の両方を撮影することができます。シャッター速度が遅いので、背景がぶれないように三脚などでカメラを固定してください。スローシンクロの初期設定は［先幕効果］です。設定を変更することができます。
☞「スローシンクロ」（P.41）

### 先幕効果（先幕シンクロ） ⚡SLOW1

フラッシュはシャッター速度にかかわらず、シャッターが開いた瞬間（直後）に光るようになっています。これを先幕シンクロといい、一般的にフラッシュ撮影はこの方法で行なわれます。

### 後幕効果（後幕シンクロ） ⚡SLOW2

シャッターが閉じる直前にフラッシュが光るようになっています。フラッシュを発光させるタイミングを変えることで、夜間走行中の車のテールライトが後方に流れる様子を表現するなど、作画に変化をつけることができます。シャッター速度が遅いほうがより効果的です。
最長のシャッター速度は、撮影モードにより異なります。
**M**モード　：15秒
**P**、**A**、**S**、🌃モード　：4秒

### 赤目・先幕効果　◉⚡SLOW1

スローシンクロを使ってフラッシュ撮影をしながら、赤目軽減効果も得たいときに使用します。夜景などをバックにして人物を写すときに、赤目現象を起こりにくくします。後幕シンクロでは予備発光から撮影までにかかる時間が長くなり、赤目軽減効果が得られにくいため、先幕シンクロのみの設定となります。

モードダイヤル　P A S M My SCENE

## 1 フラッシュボタンを押します。

- フラッシュが起き上がります。

## 2 ⚡ボタンを繰り返し押して、フラッシュモードを設定します。

☞「ダイレクトボタン」（P.13）

- 何も操作しないで約3秒経過すると、設定が確定し、モード選択表示は自動的に消えます。

## 3 シャッターボタンを半押しします。

- フラッシュが発光する条件のときは、⚡マークが点灯します（フラッシュ発光予告）。

## 4 シャッターボタンを全押しして、撮影します。

## ヒント

**⚡（フラッシュ充電中）マークが点滅した**

→ フラッシュ充電中です。ファインダ横のオレンジランプと⚡マークが消灯するまでお待ちください。

**フラッシュ発光時（オート発光・赤目軽減・強制発光）のシャッター速度について**

- ⚡（手ぶれ警告）マークが点灯するとフラッシュは自動発光しますが、シャッター速度はその時点の秒時（最も遅い秒時）に固定され、それより遅くはなりません。また、固定される秒時はズームの位置によって変わります。

| ズーム位置 | シャッター速度 |
|---|---|
| 広角側 | 1/30秒 |
| 望遠側 | 1/160秒 |

**モードによる機能制限について**

- **S**、**M** モードでは、オート発光、赤目軽減発光、強制発光、赤目・先幕効果は設定できません。
- **S**、**M** モードの初期設定は後幕効果です。それ以外のモードの初期設定はオート発光です。

## ご注意

- 以下の場合、フラッシュは使用できません。
  連写（連写・高速連写・オートブラケット撮影）／スーパーマクロ撮影／パノラマ撮影
- マクロ撮影でズームが W（広角）側にあるときは、特に画面内で光の量がムラになることがあります。必ず再生して画像を確認してください。

## フラッシュ補正

フラッシュの発光量を増減します。
被写体が小さい、被写体の背景が遠いなど、場合によってはフラッシュの発光量を調節した方がよいときがあります。また、コントラスト（明暗差）を意図的につけたいときにもこの機能が便利です。1/3EV刻みで±2.0EVの範囲で設定できます。

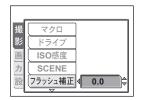
モードダイヤル P A S M SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［フラッシュ補正］**

「メニュー」（P.17）

### 1 発光量を調整し、を押します。

：1/3EVずつ発光量が増えます。
（EV：補正値の単位）

：1/3EVずつ発光量が減少します。

### ご注意

- シャッター速度が速い場合は、フラッシュ補正の効果が十分に得られないことがあります。

## スローシンクロ

（フラッシュモード）ボタンを押して［スローシンクロ］を選択したときの設定を選びます。

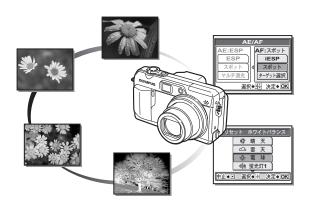
モードダイヤル P A S M SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［スローシンクロ］▶［先幕効果］／［赤目・先幕効果］／［後幕効果］** 「メニュー」（P.17）

# より高度な撮影機能

4

カメラにお任せの撮影モードは手軽で簡単、でもそれだけではもったいない。基本の撮影をマスターしたら、カメラの楽しみはこれからです。撮影条件を自由に調整し、もっと多彩な表現に挑戦してみましょう。
たとえば花を撮影するとき、絞り値を小さくして手前の桜にピントを合わせれば、背景がぼけて花が引き立ちます。
夜桜の撮影なら、夜空の色合いにも変化をつけてみましょう。ホワイトバランスを［電球］に設定すると、暗い空が青みを帯びた色合いに仕上がります。
使い方ひとつで思いがけない効果を得られます。いろいろ試して、カメラの可能性を引き出してみてください。

# 絞り優先撮影 A

絞り値を自分で設定できます。シャッター速度はカメラが自動的に設定します。絞り値（F値）を小さくすると、ピントの合う範囲が狭くなって、背景のぼけが強くなります。絞り値を大きくすると、ピントの合う範囲が前後に広くなって、背景にもピントが合いやすくなります。背景の描写に変化をつけたいときに、このモードをお使いください。

絞り値（F値）を小さくする

絞り値（F値）を大きくする



## 1 絞り値を設定します。

⊜：絞り値が大きくなり（絞りが絞られ）ます。

⊜：絞り値が小さくなり（絞りが開き）ます。

設定範囲：
W側：F2.8～F8.0、T側：F4.8～F8.0

絞り値が赤く表示された場合は適正露出が得られません。以下のように対応してください（適正露出のときは緑で表示されます）。

絞り値

▲が表示されるとき…露出オーバー
⊜を押して、絞り値を大きくします。

▼が表示されるとき…露出アンダー
⊜を押して、絞り値を小さくします。

### ご注意

- フラッシュがオート発光に設定されているとき、シャッター速度の最も遅い秒時は、⚡マークが点灯した秒時で固定されます。（☞P.40）

# シャッター優先撮影 S

シャッター速度を自分で設定できます。絞り値はカメラが自動的に設定します。目的に応じて、シャッター速度を設定してください。

シャッター速度を速くすると、すばやい動きをとらえて止まっているように撮影します。

シャッター速度を遅くすると、動いているものはぶれて撮影されます。このぶれが躍動感や動きのある仕上がりになります。

## 1 シャッター速度を設定します。

：シャッター速度が速くなります。

：シャッター速度が遅くなります。

設定範囲：4"～1/2000

シャッター速度が赤く表示された場合は適正露出が得られません。以下のように対応してください（適正露出のときは緑で表示されます）。

▲が表示されるとき…露出オーバー
を押して、シャッター速度を速くします。

▼が表示されるとき…露出アンダー
を押して、シャッター速度を遅くします。

### ご注意

- シャッター速度の設定範囲はフラッシュの設定や絞り値により変わります。

# マニュアル撮影 M

絞り値とシャッター速度を自分で設定し、独自の撮影意図を反映することができます。適正露出かどうかは、露出レベル表示で確認できます。

モードダイヤル M

## 1 絞り値とシャッター速度を設定します。

◁ ：絞り値が大きくなります。

▷ ：絞り値が小さくなります。

△ ：シャッター速度が速くなります。

▽ ：シャッター速度が遅くなります。

設定範囲：

絞り値　：F2.8～F8.0（W側）
　　　　　F4.8～F8.0（T側）

シャッター速度 ：15"～1/2000

- シャッターボタンを半押しすると、設定されている絞り値とシャッター速度から算出される露出と、カメラが算出する適正露出との露出差が–3.0～+3.0EVの範囲で、表示されます。
- 露出差が赤く表示されたときは、露出差が–3.0EVよりも小さい、または+3.0EVよりも大きいことを示しています。

### ヒント

- カスタムボタンにAEロックを登録している場合は、**AEL/**ボタンを押すと右図のような露出差を示すバーが表示されます。

### ご注意

- シャッター速度を遅く設定して撮影するときは、カメラぶれを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。
- シャッター速度の設定範囲は絞り値によって変わります。

4 より高度な撮影機能

# マイモード撮影 

［My1マイモード1］～［My4マイモード4］の設定で撮影します。［My1マイモード1］のみ、あらかじめ設定値が登録されています。［My2マイモード2］～［My4マイモード4］は設定値を登録しないと選択できません。
☞「マイモード設定」（P.111）

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［My1/2/3/4］▶**
**［My1マイモード1］／［My2マイモード2］／［My3マイモード3］／**
**［My4マイモード4］**
☞「メニュー」（P.17）

**ご注意**

- Myモードに現在使用している設定を登録することができますが、ズームの位置がずれる場合があります。☞「マイモード設定」（P.111）

# ピント合わせの応用

## AF方式

被写体の焦点を合わせる方式を選択します。

**iESP**　画面の範囲内からピントを合わせる被写体を判断します。被写体が中央にない場合もピントは合います。
**スポット**　AFターゲットマーク内の被写体にピントを合わせます。

iESPに適した被写体

スポットに適した被写体

モードダイヤル P A S M My SCENE

**1** **AE/AFボタンを押します。**

☞「ダイレクトボタン」(P.13)

**2** **AF方式から[iESP]または[スポット]を選択し、Ⓞを押します。**

## フルタイムAF

**オン**　シャッターボタンを半押ししなくても、常にレンズの前のものにピントを合わせます。ピント合わせの時間が短縮され、シャッターチャンスを逃すことなく撮影できます。ムービー撮影中も自動的に被写体にピントを合わせつづけます。

**オフ**　シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。

モードダイヤル P A S M My SCENE 🎥

**トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [撮影] ▶ [フルタイムAF] ▶ [オン] ／ [オフ]**　☞「メニュー」(P.17)

### ご注意

- フルタイムAFを設定しているときは、電池の消耗が早くなります。
- 🎥モードで[ムービー録音]をオンに設定するとフルタイムAFは働きません。

## AFターゲット選択

AFターゲットマークの位置を移動させて、ピント合わせをするエリアを選択します。

モードダイヤル P A S M My SCENE

**1** **AE/AFボタンを押します。**

☞「ダイレクトボタン」(P.13)

**2** **AF方式から［ターゲット選択］を選択し、㊍を押します。**

**3** **十字ボタンを押して、AFターゲットマークをピントを合わせたいエリアに移動させます。**

**4** **撮影します。**

- 再度**AE/AF**ボタンを押すとAFターゲットマーク選択のモードから抜けます。

AFターゲットマーク

### ご注意

- デジタルズームがオンのときは、AFターゲット選択はできません。
- AFターゲットマークを移動した状態で記憶させておくことはできません。

### ヒント

**AFターゲットマークの位置を移動中に絞り値、シャッター速度、露出を変更したい**

→ **AE/AF**ボタンを1秒以上押すと、AFターゲットマークを移動中に十字ボタンで絞り値、シャッター速度、露出を変更できます。再度**AE/AF**ボタンを1秒以上押すと、AFターゲットマーク選択の状態に戻ります。

## AFイルミネータ

被写体が暗い場合でも、オートフォーカスでのピント合わせを可能にします。

**オン**（初期設定）　シャッターボタンを半押しすると自動的にAFイルミネータが発光し、被写体を照らします。

**オフ**　AFイルミネータは発光しません。

AFイルミネータ

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［AFイルミネータ］▶［オン］／［オフ］**
☞「メニュー」（P.17）

## ご注意

- 80cm以下の近接撮影では、AFイルミネータを点灯させてもピントが合わない場合があります。

## AFロック撮影

ピント位置を簡単に固定します。あらかじめ**AEL/**ボタンにAFロックの機能を登録しておいてください。☞「カスタムボタンに機能を登録する」（P.120）

モードダイヤル P A S M My SCENE

### 1 ピントを合わせたいものにAFターゲットマークを合わせて、AEL/ボタンを押します。

- ピントが固定され、AFロックマークが表示されます。
- AFロックをやり直したいときは、再度**AEL/**を押してAFロックを解除します。**AEL/**ボタンを押すたびに、ロックと解除が繰り返されます。

**AEL/**を押したとき

ロックされたとき

AFロックマーク

### 2 シャッターボタンを全押しします。

### ヒント

**ロックしたピントを撮影後も記憶させたい（AFメモリ）**

→ **AEL/**ボタンを1秒以上押すと、AFメモリマークが表示されます。AFメモリマークが表示されている間、ピントは固定されています。AFメモリを解除するには、再度**AEL/**ボタンを押します。

AFメモリマーク

**AFロックをしたのに、解除されてしまった**

→ AFロックした後で、ボタンやモードダイヤルを操作しないでください。AFロックが解除されます。

→ スリープモードから復帰したときや、電源を一度切ったときは、AFロックが解除されます。

### ご注意

- AFロック後にズーム操作をするとピントがずれる場合があります。ズーム操作をした後にAFロックを行ってください。

## マニュアルフォーカス MF

オートフォーカスでピント合わせがうまくいかないときは、手動でのピント合わせが可能です。

モードダイヤル P A S M SCENE

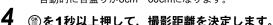
**1 を1秒以上押し続けます。**

- 液晶モニタに距離表示が表示されます。

**2 を押してMFを選択します。**

## 3 を押して、撮影距離を設定します。

- 操作中はピントを合わせている範囲が拡大表示されます。ピントを合わせている位置が正しいかどうか、確認してください。
- 液晶モニタの左側の距離表示は、目安です。
- 0.6m以下にカーソルを移動させると、自動的に目盛りが8cm～60cmになります。

## 4 を1秒以上押して、撮影距離を決定します。

- 画面に赤くMFと表示されます。

## 5 撮影します。

- ピントは設定した距離で固定されます。

### ヒント

**マニュアルフォーカスを解除したい**

→ 1 を1秒以上押して、距離表示を表示させます。
 2 を押してAFを選択し、を押します。

**いつも同じピント位置で撮影したい**

→ フォーカスロックした位置で、ピント位置を固定させます。
 1 距離を合わせたいものにAFターゲットマークを合わせて、シャッターボタンを半押しします。
 2 シャッターボタンを半押しした状態でを押します。
  - 距離表示が表示されます。
  - MFに設定され、フォーカスロックをした位置でピント位置が固定されます。

**距離表示の一番上にカーソルを合わせても、ピントが∞（無限位置）に合わない**

→ 液晶モニタを見ながら を押して、カーソルの位置を少しずつ調整してください。

### ご注意

- 撮影距離を設定した後でズーム操作をすると、設定距離が変わることがあります。再度、ピント位置を設定してください。

# 測光

被写体の明るさを測るには、以下の3通りの方法があります。

**ESP測光**　画面の中央部と周辺部を別々に測光し、演算して最適な露出を決定します。

**スポット測光**　AFターゲットマークの範囲を測光し、露出を決定します。逆光などで被写体が暗くなるときに背景の光などに影響されることなく、被写体を適正露出で撮影できます。

**マルチ測光**　被写体の数カ所（最大8カ所）を測光し、その平均値から最適な露出を決定します。明暗の差の大きい被写体など、適正露出がでにくい場合に有効です。

## ESP／スポット測光

モードダイヤル P A S M MY SCENE

**1 AE/AFボタンを押します。**

☞「ダイレクトボタン」（P.13）

**2 AE方式から［ESP］または［スポット］を選択し、OKを押します。**

## マルチ測光

モードダイヤル P A S MY SCENE

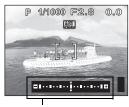
**1 AE/AFボタンを押します。**

☞「ダイレクトボタン」（P.13）

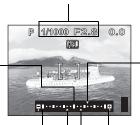
**2 AE方式から［マルチ測光］を選択し、OKを押します。**

## 3 測光したいところにAFターゲットマークを合わせて、AEL／⎙（AEロック／カスタム）ボタンを押します。

マルチ測光バー

- マルチ測光バーが表示されます。
- 最大8カ所まで測光を繰り返します。9回目以降の操作は無効です。
- 測光をやり直すには、**AEL／⎙**ボタンを1秒以上押してMEMOと表示させます。再度**AEL／⎙**ボタンを押すと、測光値は取り消されます。
- **AEL／⎙**ボタンにAEロック以外の機能を登録しているときは、AEロックの機能を登録し直してください。☞「カスタムボタン設定」（P.120）

**例：2つのポイントを測光した場合（AEL／⎙ボタンを2回押した場合）**

2回の測光の平均値から算出されたシャッター速度／絞り値。さらにポイントを測光して平均値を出すたびに、ここの数値は更新されます。

2回の測光の平均値。バーの中央は、常に測光したポイントの平均値を示します。

レンズを向けている被写体を測光して、平均値との差を表示します。シャッターボタンを半押しすると、測光値は固定され、このマークは止まります。（**AEL／⎙**ボタンを押さないと、平均値の計算にはこの値は含まれません。）

**AEL／⎙**ボタンを押したポイントの測光値。◇の数は、押した回数分表示されます。測光値と平均値との差の分だけ、バーの中央からはなれた位置に◇が表示されます。

平均値を示すバーの中央から、◇が±3以上はなれると、◁▷が赤く表示されます。

**? ヒント**

**マルチ測光値を撮影後も記憶させたい（AEメモリ）**

→ 手順3で測光した後に、**AEL/**ボタンを1秒以上押します。MEMOと表示されます。MEMOが表示されている間、露出は記憶されています。AEメモリを解除するには、再度**AEL/**ボタンを押します。

**測光値が取り消されてしまった**

→ 手順3で測光した後に、ボタンやモードダイヤルを操作すると、マルチ測光値が取り消されます。

→ 液晶モニタを消灯すると、マルチ測光値が取り消されます。

# AEロック撮影 AEL

被写体のコントラストが強いときなど、適正露出が得られないときに使います。

例：

空が明るいため被写体が暗くなります。

空を外した構図で露出を固定してから、空を入れた構図に戻して撮影します。

モードダイヤル P A S My SCENE

## 1 測光値をロックしたい構図にして、AEL/ボタンを押します。

☞「ダイレクトボタン」(P.13)

- 測光値が記憶されます。
- AE ロックをやり直したいときは、再度**AEL/**ボタンを押してAEロックを解除します。**AEL/**ボタンを押すたびに、ロックと解除が繰り返されます。

AE ロック中は**AEL**と表示されます。

## 2 ピントを合わせたいものにAFターゲットマークを合わせて、シャッターボタンを半押しします。

- 緑ランプが点灯します。
- シャッターボタンを半押しした状態では、AEロックの解除はできません。

P 1/1000 F2.8 0.0
AEL
[ ]
HQ 3072×2304 30

## 3 シャッターボタンを全押しします。

- AEロックは、一回の撮影が終わると自動的に解除されます。

### ヒント

**ロックした測光値を撮影後も記憶させたい（AEメモリ）**

→ 手順1でAEロックした後、または手順2でシャッターボタンを半押しした後に、**AEL/**ボタンを1秒以上押します。MEMOと表示されます。MEMOが表示されている間、露出は記憶されています。AEメモリを解除するには、再度**AEL/**ボタンを押します。

**AEロックをしたのに、解除されてしまった**

→ AEロックした後で、ボタンやモードダイヤルを操作しないでください。AEロックが解除されます。

→ スリープモードから復帰したときや、電源を一度切ったとき、液晶モニタを消灯すると、AEロックが解除されます。

### ご注意

- **AEL/**ボタンにAEロック以外の機能を登録しているときは、AEロックの機能を登録し直してください。☞「カスタムボタン設定」（P.120）
- マルチ測光が設定されているときは、AEロックできません。［ESP］または［スポット］に設定してください。☞「測光」（P.53）

# ISO感度

ISO感度は数値が大きいほど感度が高く、より暗いところ（光量が少ないところ）での撮影が可能になりますが、感度が高くなるにつれ電気的なノイズが増えて画像が粗くなります。

| | |
|---|---|
| **オート** | 被写体の条件に合わせて自動的に感度が変わります。 |
| **80/100/200/400** | 感度を低くすると、日中の撮影に最適でシャープな画像を撮ることができます。感度が高くなるにつれて、速いシャッター速度で撮影ができます。 |

モードダイヤル P A S M MY SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［ISO 感度］▶［オート］／［80］／［100］／［200］／［400］**
☞「メニュー」（P.17）

## ご注意

- **A**、**S**、**M**モードの場合、［オート］は選択できません。
- ISO感度は銀塩写真のフィルムを基準に設定されていますが、数値は目安です。
- ISO感度がオートに設定されているとき、暗いところでフラッシュを使わずに撮影すると、シャッター速度が遅くなります。この場合、手ぶれを防ぐため、自動的に感度が上がります。
- ISO感度がオートに設定されているとき、被写体が遠くフラッシュ光が届かない場合、自動的に感度が上がります。

# 露出補正

露出を手動で微調整します。1/3EV刻みで±2.0EVの範囲で設定できます。露出を補正した結果は液晶モニタで確認できます。

モードダイヤル P A S MY SCENE

## 1 ◁▷を押して、調整します。

- ＋方向に補正する　▷を押すと、1/3EV刻みで+2.0EVまで設定できます。
- －方向に補正する　◁を押すと、1/3EV刻みで–2.0EVまで設定できます。

### ヒント

- 通常、白い被写体（雪など）を撮影すると実際より暗く写ってしまいますが、＋に補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときは、逆に－に補正すると効果的です。
- 撮影する被写体によっては、カメラが自動的に設定した露出を補正したほうがよいときがあります。

### ご注意

- フラッシュを使用すると意図した明るさ（露出）で撮影できないことがあります。
- 撮るものの周囲が極端に明るいときや極端に暗いときは、露出補正で補正しきれないときがあります。

# ホワイトバランス

被写体は光源によって色が変わります。たとえば、白い紙に晴天時の太陽があたっているとき、夕日があたっているとき、電球の灯りがあたっているときでは、それぞれの白が異なります。ホワイトバランスを調整することにより、このような光源による微妙な色の違いを見たままの色に表現することができます。

**オート**　光源によらず、全体の色のバランスを自動的に調整します。

**プリセット**　撮影する光源に応じて、ホワイトバランスを選択します。

| | |
|---|---|
| **晴天**（☼） | 晴天時の撮影 |
| **曇天**（☁） | 曇天時の撮影 |
| **電球**（電球） | 電球の灯りのもとでの撮影。 |
| **蛍光灯1**（蛍1） | 昼光色の蛍光灯の灯りのもとでの撮影。昼光色の蛍光灯は、主に家庭で使われています。 |
| **蛍光灯2**（蛍2） | 昼白色の蛍光灯の灯りのもとでの撮影。昼白色の蛍光灯は、デスク上のスタンドなどに一般的に使われています。 |
| **蛍光灯3**（蛍3） | 白色の蛍光灯の灯りのもとでの撮影。白色の蛍光灯は、オフィスなどで一般的に使われています。 |

**ワンタッチ**　プリセットホワイトバランスでは調整しきれない微妙な色合いを設定します。撮影する光源で照らされた白いものにカメラを向けてホワイトバランスを設定することにより、実際の撮影状況に最適なホワイトバランスをカメラに記憶させることができます。

## オートホワイトバランス

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [画像] ▶ [ホワイトバランス] ▶ [オート]**

☞「メニュー」(P.17)

## プリセットホワイトバランス

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [画像] ▶ [ホワイトバランス] ▶ [プリセット]**

☞「メニュー」(P.17)

**1 ホワイトバランスを選択し、OK を押します。**

### ヒント

- 実際の光源とは異なるプリセットホワイトバランスを選択し、その設定を液晶モニタで確認すると、様々な色調が楽しめます。

# ワンタッチホワイトバランス

モードダイヤル P A S M My SCENE

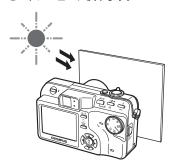
**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［画像］▶［ホワイトバランス］▶［ワンタッチ］**

☞「メニュー」（P.17）

## 1 ワンタッチホワイトバランス画面が表示された状態で、カメラを白い紙に向けます。

- 紙は画面いっぱいになるように置き、影の部分ができないようにしてください。

## 2 Ⓞを押します。

- 新しいホワイトバランスが設定され、モードメニューに戻ります。

ワンタッチホワイトバランス

## ご注意

- ワンタッチホワイトバランスでは、紙に反射している光が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、適切な設定ができません。
- 特殊な光源下では、ホワイトバランスの効果が発揮できない場合があります。
- オート以外のホワイトバランスに設定して撮影した場合、画像を再生して色を確認してください。
- オート以外のホワイトバランスに設定してフラッシュを発光した場合、液晶モニタで見た色と異なった色で撮影されることがあります。

## WB補正

現在設定しているホワイトバランスに補正値を設定して微調整します。

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［画像］▶［WB補正］**

☞「メニュー」（P.17）

**1 ⊜⊜を押してホワイトバランスを調整し、設定が決まったら㊇を押します。**

- 現在のホワイトバランスの値に対し、⊜を押すたびに青みがかり、⊜を押すたびに赤みがかかった画像になります。
- ホワイトバランスはBLUE方向、RED方向ともそれぞれ7段階の調節が可能です。

WB補正バー

4 より高度な撮影機能

# シャープネス

画像の鮮鋭度を調節します。

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [画像] ▶ [シャープネス]**

☞「メニュー」(P.17)

**1 ⊜⊜ を押して、±5 段階の調整ができます。**

- ＋方向に調整　⊜を押すと、画像の輪郭がよりシャープになり画像が鮮やかになります。プリントなど鑑賞用に適しています。
- －方向に調整　⊜を押すと、画像の輪郭がソフトになります。パソコンでの加工に適しています。

**! ご注意**

- ＋方向に調整しすぎると、画像にノイズが目立つ場合があります。

# コントラスト

画像のコントラスト（明暗の差）を調節します。明暗差の小さい画像にメリハリを出したり、明暗差の大きい画像を柔らかい仕上がりにすることができます。

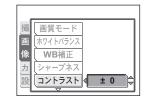
モードダイヤル P A S M SCENE

**トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [画像] ▶ [コントラスト]**

☞「メニュー」（P.17）

## 1 を押して、±5 段階の調整ができます。

- ＋方向に調整　を押すと、明暗の差がより大きくなりメリハリのある画質になります。
- －方向に調整　を押すと、明暗の差がより小さくなり、比較的柔らかい印象の画質になります。パソコンでの加工に適しています。

# 彩度

画像の色の濃さを調節します。

モードダイヤル P A S M SCENE

**トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [画像] ▶ [彩度]**

☞「メニュー」（P.17）

## 1 を押して、±5 段階の調整ができます。

- ＋方向に調整　を押すと、色が濃くなります。
- －方向に調整　を押すと、色が薄くなります。

# ノイズリダクション NR

暗いところの撮影では、CCDにあたる光の量が少なくなるので、遅いシャッター速度で撮影します。長時間露光時はCCDに光があたっていない部分からも信号が発生し、ノイズとして画像に記録されます。ノイズリダクションをオンにすると、カメラが自動的にノイズを軽減してきれいな画像を撮影することができます。

**オン**　ノイズを軽減します。撮影時間は通常の2倍になります。シャッター速度が1/2秒より遅いときに動作します。

**オフ**　ノイズを軽減しません。遅いシャッター速度で撮影すると、画像にノイズが目立つ場合があります。

ここでの画像は、単にノイズリダクションの効果を示しているものです。実際の画像とは異なります。

モードダイヤル　P A S M My

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［ノイズリダクション］▶［オン］／［オフ］**　☞「メニュー」（P.17）

## ご注意

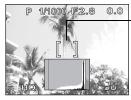
- SCENEモードで［夜景］に設定していると、ノイズリダクションは常にオンに固定されます。
- ノイズリダクションをオンに設定すると、撮影後にカメラがノイズを取り除く動作をするため、撮影時間が通常の約2倍になります。この間、次の撮影はできません。
- ノイズリダクションの設定がオンのとき、連写、高速連写、オートブラケット撮影はできません。
- 撮影条件や被写体により効果が出にくい場合があります。

# ヒストグラム表示

静止画撮影時に液晶モニタに写っている画像の輝度成分をグラフ化してヒストグラム表示します。画像上に直接黒つぶれ部／白とび部を表示することもできます。
被写体の明るさのコントラストを確認しながら撮影できるので、より厳密に露出をコントロールすることができます。

**オフ**　ヒストグラムを表示しません。
**オン**　常にヒストグラムを表示します。
**ダイレクト**　白とび部／黒つぶれ部を画像上に直接表示します。

例1）**P**モードで［オン］が選択されたとき

明るい画像のとき

AF
ターゲットマーク

暗い画像のとき

赤の枠内に多く入ると、画像は白くとび気味に写ります。

青の枠内に多く入ると、画像は黒くつぶれ気味に写ります。

ヒストグラムの緑色の部分は、AFターゲットマーク内の輝度分布です。

例2）**P**モードで［ダイレクト］が選択されたとき

赤い点：白とび部
青い点：黒つぶれ部

１つのエリア内に黒つぶれ部と白とび部の両方がある場合も、青い点で表示されます。

4
より高度な撮影機能

モードダイヤル ▭ P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［ヒストグラム表示］▶［オフ］／［オン］／［ダイレクト］**

☞「メニュー」（P.17）

- **M**モードでは、ヒストグラム表示をオフ以外にすると、設定した露出に応じた明るさで被写体が液晶モニタに表示されるようになります。

**! ご注意**

- ヒストグラム表示を［オン］または［ダイレクト］に設定していても、以下のときはヒストグラムやダイレクト表示はしません。
  パノラマ撮影時／マルチ測光中
- 撮影時に表示されたヒストグラムは、再生時に表示されるものとは異なることがあります。

# 撮影情報表示

画像の詳細情報を表示します。表示される情報の内容については、「液晶モニタの表示」（P.188）を参照してください。

例：

情報表示オンの時

情報表示オフの時
設定変更後3秒間は情報が表示されます。

モードダイヤル ▭ P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［撮影情報表示］▶［オフ］／［オン］**

☞「メニュー」（P.17）

**! ご注意**

- ヒストグラム表示が設定されているときは、撮影情報表示のオン／オフにかかわらずヒストグラムが表示されます。

# 罫線表示

罫線を表示します。撮影の構図を決めるときの参考にしてください。

モードダイヤル ◻ P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［罫線表示］▶［オフ］／［オン］**

☞「メニュー」（P.17）

## ご注意

- パノラマ撮影の場合は、罫線は表示されません。

# いろいろな
# 撮影機能

5

**スポーツ観戦や運動会で…**
ムービー撮影で大歓声も録音して迫力を保存。シュートやゴールは連写で動きをとらえ、後からベストショットをチョイス。

**大自然でも観光地でも…**
美しい山並みや壮大な建築物をパノラマ撮影でワイドに撮ってみましょう。

**仲間が集まったら…**
同窓会、ホームパーティなどのイベントでもセルフタイマーやリモコンを使えば全員で集合写真を撮ることができます。

**凝った写真をメニューひとつで…**
セピア写真でレトロに、モノクロ写真でシャープに。液晶モニタでイメージを確認しながら撮れます。

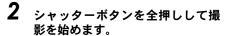
# ムービー撮影

ムービー（動画）を撮影します。
画質モードがSHQの場合、撮影可能時間は最大20秒です。

## 1 構図を決めます。

- 使用しているカードで記録できる撮影可能時間が液晶モニタに表示されます。
- ズームレバーで被写体を拡大できます。

撮影可能時間

## 2 シャッターボタンを全押しして撮影を始めます。

- 撮影中もズーム操作ができます。
- カードアクセスランプが点滅し、カード記録が始まります。
- ムービー撮影中は マークが赤く点灯します。

## 3 もう一度シャッターボタンを押して、撮影を終了します。

- 撮影可能時間が0になると、自動的に撮影を終了します。
- カードに空き容量がある場合は、撮影可能時間（☞P.28）が表示され、次の撮影ができます。

### ヒント

**撮影中、常に被写体にピントを合わせたい**

→［ムービー録音］を［オフ］に設定して、［フルタイムAF］を［オン］に設定します。☞「フルタイムAF」（P.48）、「ムービー録音」（P.80）

**撮影中、ズームを使いたい**

→［デジタルズーム］を［オン］に設定します。☞「デジタルズームを使う」（P.35）

→［ムービー録音］を［オフ］に設定すると、撮影中も光学ズームが使用できます。☞「ムービー録音」（P.80）

### ご注意

- 撮影中、カードの状態によっては、撮影可能時間が急激に減ることがあります。この場合は、このカメラでカードをフォーマットしてから使用してください。☞「フォーマット」（P.101）
- 🎥モードでは、フラッシュ、MF（マニュアルフォーカス）は使用できません。

**長時間ムービー撮影をする場合のご注意**

- HQ、SQ1、SQ2 の画質モードで撮影中は、再度シャッターボタンを押してムービー撮影を終了しない限り、カードの空き容量がなくなるまで撮影が続きます。
- 長時間撮影したムービーは編集できません。（P.94）
- 一度のムービー撮影でカードの空き容量がなくなったときは、その画像を消去するか、パソコンにダウンロードしてから消去して、カードに空きを作ってください。

# 連写（連写／高速連写／オートブラケット）



連続撮影（連写）には、連写、高速連写、オートブラケット（**BKT**）の3種類があります。連写は、モードメニューのドライブで設定します。

**ドライブの設定**

| | |
|---|---|
| **単写** | 一度のシャッターボタンの押しで、1コマだけ撮影されます。<br>（通常の撮影モード、1コマ撮影） |
| **連写** | 最初の1コマでピント、明るさ（露出）、ホワイトバランスが固定されます。<br>約1.1コマ／秒で約10枚（HQモード使用時） |
| **高速連写** | 通常の連写より高速で連写できます。<br>約2.2コマ／秒で最大2枚 |
| **オートブラケット** | 状況によっては、カメラが算出する最適な露出で撮影するより、露出を補正して撮影するほうが良い仕上がりになる場合があります。<br>オートブラケット撮影を設定すると、一度のシャッターボタンの全押しで1コマごとに自動的に露出を変えて連続撮影します。変化させる露出差と連続撮影枚数は、メニューで選択します。ピントとホワイトバランスは最初の1コマで固定されます。 |

例：**BKT**設定が［±1.0］［×3］の場合

–1.0

0.0

+1.0

## 連写・高速連写

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［ドライブ］▶［連写］／［高速連写］**

☞「メニュー」（P.17）

**1 撮影します。**

- シャッターボタンを全押ししている間は連写が続きます。指をはなすと連写は止まります。
- 高速連写は2枚で連写が止まります。

## オートブラケット撮影

BKT

モードダイヤル P A S My SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［ドライブ］▶［BKT］**

☞「メニュー」（P.17）

**1 露出差と撮影枚数を選択し、OK を押します。**

**2 撮影します。**

- 設定した枚数の撮影が終わるまで、シャッターボタンを全押しし続けます。途中でやめるときは、シャッターボタンをはなします。

**ご注意**

- 以下の場合、連写・高速連写・オートブラケット撮影はできません。
  SCENEモードで夜景に設定されている場合／画質モードがTIFFの場合／ノイズリダクションの設定がオンの場合
- 画像モードがRAWの場合は、高速連写のみ使用できます。
- 連写・高速連写・オートブラケット撮影時は、フラッシュは使用できません。
- **S**、**M**モード以外では、シャッター速度の最長秒時は、1/30秒に設定されています。そのため暗い被写体では露出不足の画像になります。
- **S**モード以外のオートブラケット撮影は、露出差0のときにシャッター速度が1/30より長秒時の場合、1/30秒に固定してブラケット撮影します。
- 連写中、電池の消耗により電池残量マークが点滅すると、撮影を中止してカードに記録を始めます。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。
- オートブラケット撮影では、カードの空きが設定枚数以上ないと続けて次の撮影することはできません。



# インターバル撮影

設定した条件で自動的に撮影が繰り返されます。蕾が開花する様子を定点撮影するときなどに適しています。撮影が長時間におよぶ場合は、十分に充電された電池またはACアダプタのご使用をおすすめします。

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［インターバル撮影］▶［オン］／［オフ］**

☞「メニュー」（P.17）

## 1 ［枚数］と［間隔］を設定します。

上下：各項目を選択します。
　　数値を設定します。

左右：桁数を選択します。

設定範囲　撮影枚数：2～99枚
　　　　　撮影間隔：1分刻みで1～60分

## 2 OKを押します。

**3** **シャッターボタンを押します。**

- 1枚目が撮影され、2枚目以降は自動的に撮影が繰り返されます。
- インターバル撮影中は マークが点灯します。
- 1枚目撮影後、カードへの記録が終わると自動的にスリープモード（待機状態）に入ります。撮影4秒前までにスリープモードから自動的に復帰します。

- 設定した枚数の撮影が終わると、自動的に電源が切れます。

### ご注意

- インターバル撮影中はセルフタイマー、リモコン、連写は使用できません。
- スリープモード中に以下の操作をした場合、インターバル撮影は解除され、通常の撮影モードに戻ります。
  電池/カードカバーを開けた場合／カメラをパソコンに接続した場合／シャッターボタン、十字ボタンなどいずれかのボタンを操作した場合
- 撮影4秒前から撮影が終了するまでは、ボタンやモードダイヤル、ズームレバーなどすべての操作は無効です。
- スリープモード中、電池およびカードの残量がなくなると警告画面が表示され、インターバル撮影を中止して自動的に電源が切れます。

## セルフタイマー撮影 

セルフタイマーを使って撮影します。カメラを三脚にしっかり固定して撮影してください。記念写真などを撮るときに便利です。

モードダイヤル P A S M SCENE

**1** **/ ボタンを繰り返し押して、[ セルフタイマー] に設定します。**

「ダイレクトボタン」(P.13)

- 何も操作しないで約3秒経過すると、設定が確定し、モード選択表示は自動的に消えます。

5 いろいろな撮影機能

## 2 シャッターボタンを全押しして、撮影します。

セルフタイマー／リモコンランプ

- ピントと露出はシャッターボタンを半押しした時点で固定されます。
- セルフタイマー／リモコンランプが約 12 秒間点灯し、さらに約2秒間点滅した後、シャッターが切れます。
- ムービー撮影の場合、再度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了してください。
- 作動中のセルフタイマーを中止するには、セルフタイマー／リモコンボタンを押します。
- セルフタイマーモードは、一回の撮影が終わると自動的に解除されます。

### ご注意

- セルフタイマー撮影で連写をすると、設定にかかわらず最大5コマ撮影されます。

# ファンクション撮影（モノクロ／セピア）

モノクロ、またはセピアの特殊効果をつけて撮影します。

モードダイヤル P A S M My SCENE ムービー

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［ファンクション撮影］▶［モノクロ］／［セピア］／［オフ］**

☞「メニュー」（P.17）

### ご注意

- ファンクション撮影を設定すると、ホワイトバランス、WB 補正、彩度の設定はできません。

# パノラマ撮影

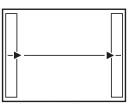
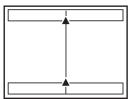
当社製のxDピクチャーカードを使うと、パノラマ撮影が簡単に楽しめます。被写体の端が重なるようにして撮影した何枚かの画像を、OLYMPUS Master（付属のCD-ROMに収録）でつなぎ合わせ、1枚のパノラマ合成画像を作成することができます。

端の枠に、前に撮影した画像の合わせるべき部分は残っていません。撮影時には、この枠の画像を覚えていて、次のコマの枠の画像と同じになるように撮影してください。前に撮影した画像の右端（左回りのときは左端）は、次の画像の左端（左回りのときは右端）と同じ画像が撮影できるように構図を設定して撮影してください。

**トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [撮影] ▶ [パノラマ]**

☞「メニュー」（P.17）

## 1 十字ボタンでつなげる方向を指定します。

- ▷：次の画像を右につなげます。
- ◁：次の画像を左につなげます。
- △：次の画像を上につなげます。
- ▽：次の画像を下につなげます。

左から右へ画像をつなぐ撮影をする場合

下から上へ画像をつなぐ撮影をする場合

## 2 被写体の端が重なるように撮影します。

- ピント・露出・ホワイトバランスなどは、1枚目で決定されます。1枚目に太陽などの光の強い被写体を入れた撮影などをしないでください。
- 1枚目を撮影した後は、ズーム操作はできません。
- 最大10枚までパノラマ撮影が可能です。
- 10枚撮り終わると警告マークが表示されます。

## 3 パノラマ撮影を終了するには、Ⓞを押します。

### ご注意

- パノラマ合成機能付きのカード以外でパノラマ撮影はできません。
- HQ／SHQモードで多量のパノラマ撮影をするとパソコンで合成するときにメモリ不足になることがありますので、SQモードでの撮影をおすすめします。
- パノラマ撮影中はフラッシュ、連写は使用できません。
- 画質モードをRAW（非圧縮）またはTIFF（非圧縮）に設定してパノラマ撮影をすると、同じ画像サイズのHQ（圧縮）で記録されます。
- パノラマ撮影中にモードダイヤルを操作すると、パノラマ撮影は解除され、通常の撮影モードに戻ります。
- パノラマ合成はカメラ本体ではできません。パノラマ合成画像を作成する場合は、OLYMPUS Masterをご使用ください。

# リモコン撮影（別売）

別売のリモコン（RM-1E）を使って撮影できます。記念写真を撮るときや、夜景撮影など、カメラに触れないでシャッターを切りたい場合に便利です。

モードダイヤル P A S M MY SCENE

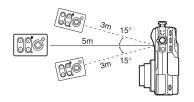
**1 カメラを三脚などでしっかり固定させます。**

**2 ボタンを繰り返し押して、［リモコン］に設定します。**

☞「ダイレクトボタン」（P.13）

- 何も操作しないで約3秒経過すると、設定が確定し、モード選択表示は自動的に消えます。

**3 リモコンのシャッターボタンを押します。**

- ピントと露出が固定され、カメラのセルフタイマー／リモコンランプが点滅し、約2秒後にシャッターが切れます。

## ヒント

**リモコンのシャッターボタンを押してもセルフタイマー／リモコンランプが点滅しない**

→ カメラから離れすぎているため、リモコン信号が届いていません。カメラに近づいて、再度リモコンのシャッターボタンを押してください。

→ リモコン信号が混信しています。リモコンの取扱説明書にしたがってチャンネルを変えてください。

**リモコンを使ってカメラのズーム操作をしたい**

→ リモコンをカメラの受信窓に向けてリモコンのWまたはTボタンを押します。操作中はセルフタイマー／リモコンランプが点滅します。

**リモコンモードを解除したい**

→ リモコンモードは撮影後も自動的には解除されません。手順2にしたがって［オフ］に設定してください。

**ご注意**

- リモコン受信窓に強い光があたると、リモコンの届く距離が短くなったり、撮影ができなくなることがあります。
- リモコン撮影で連写をする場合は、リモコンのシャッターボタンを押し続けてください。リモコンの受信状態が悪くなると、連写が途中で終了してしまうことがあります。
- リモコンを使用して再生する方法は、リモコンの取扱説明書をお読みください。

# スチル録音

静止画撮影時に音声を録音します。シャッターが切れてから約0.5秒後に録音を開始し、約4秒間録音します。
スチル録音をオンに設定すると、撮影後、毎回自動的に録音します。

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [撮影] ▶ [スチル録音] ▶ [オン] ／ [オフ]**

☞「メニュー」(P.17)

**1 シャッターボタンを押して録音が始まったら､カメラのマイクを録音する対象に向けます。**

***ヒント***

- スチル録音／ムービー録音した画像は再生したときに液晶モニタに [♪] が表示されます。録音した画像を再生すると、音声がスピーカから出力されます。音量は調節することができます。☞「再生音量」(P.109)
- 静止画再生中に、音声をあとから録音することができます。また、録音済みの音声を録音し直すこともできます。☞「音声の録音」(P.93)

### ご注意

- 録音対象がカメラから1m以上はなれると、きれいに録音されない場合があります。
- 録音中は撮影ができません。
- 以下の場合は、録音できません。
  画質モードがTIFFに設定されている場合／連写（連写・高速連写・オートブラケット）が設定されている場合／パノラマ撮影／インターバル撮影
- 録音中にボタン操作などを行うと、その音が録音されてしまうことがあります。
- カードの空き容量が不足している場合は、録音できないことがあります。

## ムービー録音

ムービー撮影と同時に音声を録音します。

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［ムービー録音］▶［オン］／［オフ］**
☞「メニュー」（P.17）

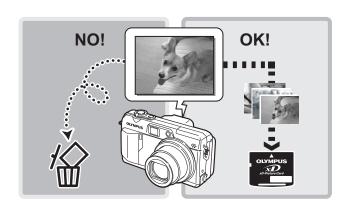
### ご注意

- ムービー録音がオンに設定されていると、ムービー撮影中は、光学ズームが固定されます。ムービー撮影中にズームを使いたいときは、デジタルズームをオンに設定してください。ムービー録音をオフに設定すると、ムービー撮影中、光学ズームとデジタルズームの両方が働きます。
- 録音対象がカメラから1m以上はなれると、内蔵の録音マイクではきれいに録音されない場合があります。

# 再生

6

フィルムを使うカメラでは、撮影した写真は現像するまで見ることができません。できあがった写真を見て失敗作！とがっかりしたことはありませんか？　ボケた風景写真や目をつぶってしまった写真。ちゃんと撮れたか自信がなくて何度も同じような写真を撮ってしまったり。これでは、大切な思い出を安心して記録することができませんね。
デジタルカメラではどうでしょう。デジタルカメラなら撮影後すぐに再生できます。シャッターボタンを押したら、その場で撮った画像を確認しましょう。うまく撮れなかったら、その場で消してしまえばよいのです。さあ、失敗を恐れず、どんどんシャッターボタンを押しましょう！

# 1コマ再生

• 液晶モニタが点灯し、最後に撮影した画像が表示されます。

**1 十字ボタンで、見たい画像を表示します。**

- ▷ ：次の画像を表示
- ◁ ：1コマ前の画像を表示
- △ ：10コマ前の画像を表示
- ▽ ：10コマ先の画像を表示

### ヒント

• 撮影モードで**QUICK VIEW**ボタンを押しても、再生することができます。

### ご注意

• 3分以上何も操作をしないとスリープモード（待機状態）になり、液晶モニタが消灯します。



# クローズアップ再生

液晶モニタに表示される画像を2倍、3倍、4倍、5倍と段階的に拡大表示します。

モードダイヤル ▶

**1 拡大したい静止画を表示します。**

**2 ズームレバーをT側（🔍）に回します。**

- 回すたびに段階的に拡大表示されます。
- 拡大表示中に十字ボタンを押すと、その方向に画像をずらして表示することができます。
- W側に回すと1倍の大きさに戻ります。

画像の左側が表示されます。

**ご注意**

- のついた画像は、拡大できません。
- 拡大した状態で画像を保存することはできません。

# インデックス再生

複数の画像を一度に表示します。表示するコマ数は4、9、16分割から選ぶことができます。☞「インデックス分割数」（P.84）

## 1 ズームレバーをW側（▦）に回します。

- インデックス再生画面が表示されます。
- １コマ再生で表示していた画像が選択されています。
- インデックス再生中、ズームレバーをT側に回すと1コマ再生に切り換わります。☞「1コマ再生」（P.82）

ズームレバー

6 再生

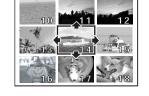
- 十字ボタンを押して画像を選択します。

◁ ：1コマ前へ移動

▷ ：1コマ後へ移動

△ ：1コマ上へ移動／前画面へジャンプ

- インデックス画面上段のコマを選択している場合は、1つ前のインデックス画面が表示されます。

▽ ：1コマ下へ移動／次画面へジャンプ

- インデックス画面下段のコマを選択している場合は、次のインデックス画面が表示されます。

## インデックス分割数

インデックス再生のコマ数を4コマ、9コマ、16コマから選択します。

**トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [設定] ▶ [インデックス表示] ▶ [4] ／ [9] ／ [16]** ☞「メニュー」(P.17)

# カレンダー再生

カードに保存されている画像を、カレンダー上の日付で指定して表示することができます。同じ日付に複数の画像がある場合は、その日最初に撮影された画像が表示されます。

モードダイヤル ▶

**1 ズームレバーをW側（▦）に2回回します。**

- カレンダー再生画面が表示されます。

## 2 十字ボタンを押して日付を選択します。

◁ ：前の画像がある日付に移動。

▷ ：次の画像がある日付に移動。

△ ：前の画像がある週の同じ曜日に移動。

▽ ：次の画像がある週の同じ曜日に移動。

例：12月27日を選択している場合

- ◁を押すと、12月25日へ移動
- ▷を押すと、1月12日へ移動
- △を押すと、12月20日へ移動
- ▽を押すと、1月10日へ移動

- 1コマ再生中、ズームレバーをW側に一度回すとインデックス再生、再度W側に回すとカレンダー再生に切り換わります。
- カレンダー再生中、ズームレバーをT側に回すと1コマ再生に切り換わります。ただし、カレンダー再生で画像を選択していない場合は、カレンダー再生から1コマ再生に切り換えることはできません。
- カレンダー再生中にOKを押しても、1コマ再生に切り換わります。

☞「1コマ再生」（P.82）、「インデックス再生」（P.83）

### ! ご注意

- 画像がない月は表示されません。
- カメラの日時設定を行っていない場合は、実際の撮影日とは異なる日付に画像が表示されることがあります。
☞「日時設定」（P.116）
- カレンダー表示中は、以下の操作はできません。
  プロテクト／回転再生／プリント予約

6 再生

# スライドショー

カードに記録されている静止画像を1枚ずつ自動的に再生します。ムービーコマは、最初のフレームのみが静止画と同じように再生されます。
静止画を選択してトップメニューを表示してください。

**トップメニュー ▶ [スライドショー]** ☞「メニュー」（P.17）

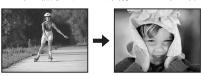
- スライドショーがスタートします。
- OKを押すと、スライドショーが終了します。OKを押すまでスライドショーが繰り返されます。

## ご注意

- 長時間スライドショーを行う場合は、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。電池をお使いの場合、30分経過するとスリープモード（待機状態）になり、自動的にスライドショーが終了します。

## スライドショー設定

スライドショーで画像が切り換わるときのスタイルを設定します。

**標準**　カードに記録されている画像を1コマずつ再生します。

**スライド**　次の画像が画面の右から左にスライドして表示されます。

**フェード**　次の画像が徐々に浮かび上がるように表示されます。

**ズーム**　次の画像が画面中央から徐々に広がって表示されます。

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［スライドショー設定］▶［標準］／［スライド］／［フェード］／［ズーム］** ☞「メニュー」（P.17）

# 回転再生

カメラを縦に構えて撮影した画像は、横向きに表示されます。このような横向きの画像を回転して縦向きに表示します。反時計方向に90度、時計方向に90度の回転ができます。

モードダイヤル

## 1 1コマ再生中またはインデックス再生中、ボタンを押します。

☞「ダイレクトボタン」（P.13）

- ボタンを押すたびに、画像が時計方向に90度、反時計方向に90度、元の位置の順に回転します。

### ご注意

- 次の画像は回転再生できません。
  ムービー／プロテクトされた画像／パソコンで編集した画像／他のカメラで撮影した画像
- 電源を切っても、画像が回転された状態は記録されます。

# ムービーの再生

ムービーを再生します。早送りやコマ送り再生をすることができます。
🎥マークの付いた画像を選択してトップメニューを表示してください。

モードダイヤル ▶

**トップメニュー ▶［ムービー再生］** ☞「メニュー」（P.17）

- ムービーが再生されます。再生が終わるとムービーの先頭に戻り、ムービー再生メニューが表示されます。
- ［再スタート］を選択すると、もう一度再生します。［終了］を選択すると、再生モードに戻ります。

## ●ムービー再生中の操作

ムービー録音した画像は液晶モニタに[♪]が表示されます。△▽を押して、再生中に音量を調節することができます。

△：音量を大きくします。
▽：音量を小さくします。
▷：押すたびに再生速度が1倍から2倍、20倍、1倍に変わります。
◁：逆再生します。押すたびに逆再生の速度が1倍から2倍、20倍、1倍に変わります。
OK：一時停止し、コマ送りの状態になります。

再生時間/録画時間

## ●コマ送りの操作

△：10コマ前を表示します。ムービーが10コマ未満の場合は先頭のコマを表示します。
▽：10コマ先を表示します。ムービーが10コマ未満の場合は末尾のコマを表示します。
▷：ムービーのコマが進みます。押し続けると再生します。
◁：ムービーのコマが戻ります。押し続けると逆再生します。
OK：ムービー再生メニューが表示されます。

**ご注意**

- カードアクセスランプが点滅しているときは、カードからカメラへの画像の読み出しが行われています。画像の読み出しには時間がかかることがあります。カードアクセスランプの点滅中は、絶対に電池／カードカバーを開けないでください。撮影した画像が破壊されるだけでなく、カードが破壊され使用できなくなる場合があります。

# 静止画の編集

撮影した静止画を編集して別の画像として保存します。以下の編集を行うことができます。

**RAW編集**　RAWデータ形式で記録した画像にホワイトバランスやシャープネスなどの画像処理を行って、JPEGの別の画像として保存します。撮影後に結果を確かめながら、自分のイメージに近い画像にすることができます。☞P.89

**リサイズ**　画像サイズを640 × 480、または320 × 240に変更して、別の画像として保存します。☞P.90

**トリミング**　画像の一部を拡大して、別の画像として保存します。☞P.91

**赤目補正**　人物をフラッシュ撮影すると目が赤く写ることがありますが、これを補正して、別の画像として保存します。☞P.92

編集する静止画を選択してトップメニューを表示してください。RAW編集の画像は、画質モードが[RAW]で記録された画像を選択してください。

## RAW編集

モードダイヤル ▶

**トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [編集] ▶ [RAW編集]**

☞「メニュー」(P.17)



**1　設定する項目から詳細内容を選択し、OKを押します。**

**2　必要なすべての項目を設定したらOKを押します。**

- RAW編集で設定可能な項目は、以下のとおりです。

| 項目 | 詳細設定 | 参照頁 |
|---|---|---|
| 画質モード | SHQ／HQ／SQ1／SQ2 | P.26 |
| ホワイトバランス | オート／プリセット／ワンタッチ* | P.59 |
| WB補正 | RED7～BLUE7 | P.62 |
| シャープネス | ±5 | P.63 |
| コントラスト | ±5 | P.64 |
| 彩度 | ±5 | P.64 |

* 撮影時のホワイトバランスの設定が[ワンタッチ]の場合のみ選択できます。

### 3 ［決定］を選択し、㊎を押します。

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。
- RAW 編集された画像は元の画像とは別の画像として保存されます。
- RAW 編集を再度設定するときは［再設定］、中止するときは［中止］を選択し、㊎を押します。

## リサイズ

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［編集］▶［リサイズ］**

☞「メニュー」（P.17）

### 1 画像サイズを選択し、㊎ を押します。

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。
- リサイズされた画像は元の画像とは別の画像として保存されます。
- リサイズを中止するときは［中止］を選択し、㊎を押します。
- 次の場合はリサイズできません。
  ムービー／RAWで記録した画像／パソコンで編集した画像／カードの空き容量が不足している場合／他のカメラで撮影した画像
- 撮影時の画像サイズが 640 × 480 の場合、［640 × 480］の設定はできません。

# トリミング

**トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [編集] ▶ [トリミング]**

☞「メニュー」(P.17)

## 1 [新規作成] を選択し、Ⓞを押します。

## 2 十字ボタンとズームレバーを使って、トリミングの位置とサイズを決めます。

- ⊕⊕⊕⊕ を押してトリミングする位置を移動します。
- ズームレバーを W 側または T 側に動かして、トリミングのサイズを横長小、横長大、縦長小、縦長大から選びます。

## 3 Ⓞを押します。

## 4 [決定] を選択し、Ⓞを押します。

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。
- トリミングされた画像は元の画像とは別の画像として保存されます。
- トリミングをやり直す場合は［再設定］を選択してⓄを押します。手順2からやり直します。
- トリミングをやめるときは［中止］を選択してⓄを押してください。

**ご注意**

- 次の場合はトリミングできません。
  ムービー／RAWで記録した画像／カードの空き容量が不足している場合
- トリミングした画像を印刷した場合、粗くなることがあります。

## 赤目補正

**トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [編集] ▶ [赤目補正]**

☞「メニュー」(P.17)

### 1 [スタート] が表示されたら、Ⓞを押します。

- 作成中を示すバーが表示された後、補正後の画像を保存するかどうか確認する画面が表示されます。画像が保存された後は再生モードに戻ります。
- 赤目補正された画像は元の画像とは別の画像として保存されます。

**ご注意**

- 次の場合は赤目補正できません。
  RAWまたはTIFFで記録した画像
- 画像によっては赤目補正できないことがあります。また、目以外の部分が補正されることがあります。

# 音声の録音

撮影済みの静止画に音声を録音（アフレコ）します。また、録音済みの音声を新たに録音し直すこともできます。録音できる時間は1画面につき約4秒間です。
音声を録音したい静止画を選択しておきます。

モードダイヤル ▶

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［再生］▶［録音］**

☞「メニュー」（P.17）

## 1 ▷を押すと［スタート］が表示されます。

## 2 カメラの録音マイクを録音したい対象に向けて OK を押すと、録音が開始されます。

- 録音中を示すバーが表示されます。

### ご注意

- 録音対象がカメラから約1m以上はなれると、きれいに録音されない場合があります。
- 録音済みの画像に再度録音した場合は、前の音声が消えて新しい音声のみ残ります。
- カード残量がない場合（警告画面が表示されるカード）では、録音できないことがあります。
- 録音中にボタン操作をすると操作音が録音されることがあります。
- 一度録音したら音声のみを消すことはできません。音声を入れず（無音状態）再録音してください。

# ムービーの編集

撮影したムービーからインデックスを作成したり、編集することができます。

**インデックス作成**　作成したムービーの内容が一目でわかるようにムービーを9分割して画面に表示し、1つの画像として保存（インデックス作成）します。
☞「インデックス作成」（P.94）

**ムービー編集**　撮影したムービーから必要な部分を切り出して編集します。
☞「ムービー編集」（P.95）

🎥のついた画像を選択してトップメニューを表示してください。

## インデックス作成

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［編集］▶［インデックス作成］**
☞「メニュー」（P.17）

- カードの空き容量が不足するときは警告画面が表示され、［編集］画面に戻ります。

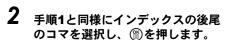
**1 インデックスの先頭のコマを選択し、Ⓞを押します。**

△：ムービーの先頭のコマへジャンプします。

▽：ムービーの末尾のコマへジャンプします。

▷：コマが進みます。押し続けるとムービーを再生します。

◁：コマが戻ります。押し続けるとムービーを逆再生します。

**2 手順1と同様にインデックスの後尾のコマを選択し、Ⓞを押します。**

## 3 ［決定］を選択し、㊫を押します。

- 作成中を示すバーが表示され、ムービーから抜き出された9コマの画像がインデックス表示された後、再生モードに戻ります。作成された画像は新規の画像として保存されます。
- コマ指定をやり直す場合は［再設定］を選択して㊫を押します。手順1からやり直します。
- インデックス作成をやめるときは［中止］を選択して㊫を押してください。

### ヒント

- インデックス作成された画像は、ムービー撮影時の画質とは異なる静止画として保存されます。

| ムービー撮影時の画質モード | インデックス画像の画質 |
|---|---|
| SHQ, HQ | SQ1（2048 × 1536ピクセル：高画質） |
| SQ1, SQ2 | SQ2（1024 × 768ピクセル：高画質） |

### ご注意

- ムービーの記録時間により、自動的に抜き出される画像の間隔は異なります。
- インデックス作成されるコマ数は、9コマです。
- カードの空き容量が不足しているときは作成することはできません。

## ムービー編集

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［編集］▶［ムービー編集］**

☞「メニュー」（P.17）

## 1 残したい部分の先頭のコマを選択し、㊉を押します。

△：ムービーの先頭のコマへジャンプします。

▽：ムービーの末尾のコマへジャンプします。

▷：コマが進みます。押し続けると再生します。

◁：コマが戻ります。押し続けると逆再生します。

## 2 手順1と同様に残したい部分の最後のコマを選択し、㊉を押します。

## 3 ［決定］を選択し、㊉を押します。

- コマ指定をやり直す場合は［再設定］を選択して㊉を押します。手順1からやり直します。
- インデックス作成をやめるときは［中止］を選択して㊉を押してください。

## 4 ［新規作成］または［上書き保存］を選択し、㊉を押します。

**新規作成**　編集したムービーを新しいムービーとして保存します。

**上書き保存**　編集したムービーを元のムービーの名前で保存します。元のムービーは失われます。

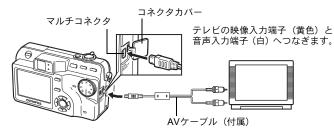
- 作成中を示すバーが表示され、編集されたムービーが新規作成または上書き保存された後、再生モードに戻ります。

### ご注意

- カードの空き容量が不足している場合は、［新規作成］は選択できません。
- 記録時間の長い動画の編集には時間がかかることがあります。

# テレビ再生

付属のAVケーブルでテレビに接続して画像を再生します。静止画とムービーの両方の再生ができます。

## 1 カメラとテレビの電源を切り、付属のAVケーブルでカメラのマルチコネクタとテレビのビデオ入力端子を接続します。

## 2 テレビの電源を入れて［ビデオ入力］に設定します。

- ビデオ入力の設定方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

## 3 パワースイッチを押して、カメラの電源を入れます。

- 最後に撮影した画像がテレビに表示されますので、十字ボタンで表示する画像を選択します。

### ヒント

- テレビで再生する場合は、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。
- ［クローズアップ再生］、［インデックス再生］、［スライドショー］等の再生機能が可能です。

### ご注意

- カメラのビデオ信号が、お使いのテレビの映像信号に合っていることを確認してください。☞「ビデオ出力」（P.98）
- AVケーブルを接続すると、カメラの液晶モニタの表示は消えます。
- テレビとの接続には必ず付属のAVケーブルをご使用ください。
- テレビにより画像が画面中央からずれることがあります。

## ビデオ出力

お使いのテレビの映像信号に合わせて、NTSCまたはPALを選択します。海外でテレビに接続して再生するときに、設定を合わせてください。［ビデオ出力］はビデオケーブルを接続する前に選択してください。間違った映像（ビデオ）信号を選択すると、テレビで画像が正しく再生できません。

モードダイヤル P A S M SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［ビデオ出力］▶［NTSC］／［PAL］**

☞「メニュー」（P.17）

### ヒント

**主な国のテレビ映像信号**

カメラをテレビに接続する前に、あらかじめご確認ください。

NTSC　日本、北米

PAL　ヨーロッパ諸国、中国、アジア地域



## 情報表示

撮影した画像の詳細情報を約3秒間表示します。表示される情報の内容については、「液晶モニタの表示」（P.188）を参照してください。

情報表示のオン／オフは、撮影モードと再生モードで別々に設定することができます。☞「撮影情報表示」（P.67）

**トップメニュー ▶［情報表示］**

☞「メニュー」（P.17）

- トップメニューから［情報表示］を選択するたびにオン／オフが切り換わります。

情報表示オンの時

情報表示オフの時

**ご注意**

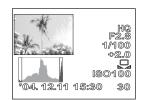
- このカメラ以外で撮影した画像は、▶ モードで情報表示オン時でも、日時、コマ番号、電池残量表示以外は表示されません。
- ヒストグラム表示が設定されているときは、情報表示オン／オフにかかわらずヒストグラムが表示されます。
- DPOF を使用せずにプリントサービスを利用する場合に指定するファイル番号は、▶モードで情報表示をオンにしたときに表示されます。
  ☞「プリント予約（DPOF）」（P.134）

# ヒストグラム表示

静止画再生時に画像の輝度成分をグラフ化してヒストグラム表示します。ヒストグラム表示は、撮影モードと再生モードで別々に設定することができます。☞「ヒストグラム表示」（P.66）

モードダイヤル ▶

**トップメニュー ▶［ヒストグラム表示］** ☞「メニュー」（P.17）

- ［ヒストグラム表示］を選択するたびにオン／オフが切り換わります。

ヒストグラム表示画面

**ご注意**

- 撮影時に表示されたヒストグラムは、再生時に表示されるものとは異なることがあります。
- 他のカメラで撮影した画像は、ヒストグラムが表示できないことがあります。

# 画像を保護する

残しておきたい大切な画像は、プロテクト（保護）を設定してください。プロテクトされた画像は1コマ消去／全コマ消去で消去できませんが、フォーマットを行うとすべて消去されます。

モードダイヤル ▶

**1** **プロテクトをかけたい画像を選択し、O┳ボタンを押します。**

☞「ダイレクトボタン」（P.13）、「1コマ再生」（P.82）

- プロテクトを解除するには、再び O┳ ボタンを押します。

プロテクトされると表示されます。

# 画像を消去する

撮影した画像を消去します。再生している1コマのみを消去する1コマ消去とカード内のすべての画像を消去する全コマ消去があります。

**ご注意**

- 消去したい画像がプロテクトされている場合は消去できません。画像のプロテクトを解除してから消去してください。
- 消去した画像は元に戻せません。消去する前に、大切なデータを消さないように十分に注意してください。☞「画像を保護する」（P.99）

## 1コマ消去

モードダイヤル ▶

**1** **消去したい画像を選択し、ボタンを押します。**

☞「ダイレクトボタン」（P.13）、「1コマ再生」（P.82）

- 「1コマ消去」画面が表示されます。

## 2 ［消去］を選択し、Ⓞを押します。

- 画像が消去され、メニューが終了します。
- 1コマ消去をやめるときは［中止］を選択してⓄを押すか、再び🗑ボタンを押してください。

## 全コマ消去

カード内のすべての画像を消去します。

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カード］▶［全コマ消去］**

☞「メニュー」（P.17）

## 1 ［消去］を選択し、Ⓞを押します。

- すべての画像が消去されます。

## フォーマット

カードをフォーマットします。フォーマットとは、カードをこのカメラで書き込みできるように初期化することです。当社製以外のカードやパソコンでフォーマットしたカードを使用する場合は、必ずこのカメラでフォーマットしてください。

**フォーマットするとプロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。すでに使用しているカードをフォーマットするときは大切なデータが記録されていないことを確認してください。**

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カード］▶［フォーマット］**

☞「メニュー」（P.17）

**1 ［フォーマット］を選択し、Ⓞを押します。**

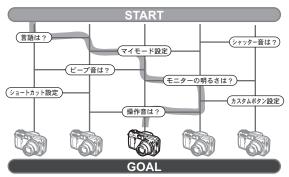
- 画面に処理中のバーが表示され、フォーマットされます。

## ご注意

- フォーマット中は絶対に次のことをしないでください。カードが使用できなくなるおそれがあります。
  電池/カードカバーを開ける／電池を取り外す／ACアダプタの抜き差しをする（カメラに電池が入っている、いないにかかわらず絶対にしないでください。）

# 設定

7

撮ってすぐ見る、これがデジタルカメラの大きな特徴であり、便利なところです。
でも、デジタルカメラの便利さはそれだけではありません。カメラを“自分仕様”にカスタマイズすることができる、これもデジタルカメラならではの特徴です。
たとえば、電源を ON にすると自分が撮影した画像が起動画面として表示される…。オリジナル感いっぱいです。
海外の友人が使うときは、言語を切り換えてあげてください。
よく使う機能はメニューで選ぶよりボタンの方が簡単ですよね。だったらカスタムボタンに登録して使いましょう。
これらの機能を活用するかどうかで、ぐーんと使い勝手が違ってくるはず。ぜひ試してみてください。

外見は同じでも“あなただけのカメラ”が完成！

# 設定保持

電源を切った後も、変更した設定値を保持するかどうか選択します。設定保持が適用される機能については次頁の表を参照してください。
設定保持の［しない］［する］の設定は、すべてのモードで共通です。いずれかのモードで設定保持を［する］に設定すると、撮影モード、再生モードにかかわらず、適用されます。

**しない**　電源を切ると変更した設定値は初期設定に戻ります。（初期状態）
例：［画質モード］をSQ1に変更しても［設定保持］が［しない］に設定されていると、電源を入れ直したときに初期設定のHQに戻ります。

**する**　電源を切っても変更した設定値は保持されます。

モードダイヤル P A S M MY SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［設定保持］▶［する］／［しない］**
☞「メニュー」（P.17）

## ご注意

- マイモードの設定およびモードメニューの設定タブの機能（設定保持、 、ビープ音など）は、設定保持が［しない］に設定されていても初期設定に戻りません。

## ●［設定保持：しない］で設定が元に戻る機能とその設定

| 機能名 | 初期設定 | 参照頁 | 機能名 | 初期設定 | 参照頁 |
|---|---|---|---|---|---|
| 絞り値 | F2.8 | P.44 | スチル録音 | オフ | P.79 |
| シャッター速度 | 1/1000 | P.45 | ムービー録音 | オン | P.80 |
| 露出補正 | 0.0 | P.58 | ファンクション<br>撮影 | オフ | P.75 |
| フラッシュ | オート | P.37 | 撮影情報表示 | オフ | P.67 |
| フラッシュ補正 | 0.0 | P.41 | ヒストグラム<br>表示 | オフ | P.66 |
| AF／MF | AF | P.51 | 罫線表示 | オフ | P.68 |
| 液晶モニタ* | オン<br>（点灯） | — | インターバル<br>撮影設定 | 2枚、<br>1分間隔 | P.73 |
| AE | ESP | P.53 | 画質モード | HQ | P.26 |
| マクロ | オフ | P.36 | ホワイト<br>バランス | オート | P.59 |
| ドライブ | 単写 | P.71 | プリセットホワ<br>イトバランス | 晴天 | P.60 |
| **BKT**設定 | ±1.0、3枚 | P.72 | WB補正 | 補正なし | P.62 |
| ISO感度 | オート／80 | P.57 | シャープネス | ±0 | P.63 |
| SCENE |  | P.32 | コントラスト | ±0 | P.64 |
| スローシンクロ | 先幕効果 | P.41 | 彩度 | ±0 | P.64 |
| ノイズ<br>リダクション | オフ | P.65 | SHQ・HQ設定 | 3072 × 2304 | P.28 |
| デジタルズーム | オフ | P.35 | SQ1設定 | 1600 × 1200<br>標準 | P.28 |
| フルタイムAF | オフ | P.48 | SQ2設定 | 640 × 480<br>標準 | P.28 |
| AF | iESP | P.47 | 情報表示 | オフ | P.98 |

* 撮影モードで電源を入れたときの液晶モニタのオン／オフを設定します。

# 言語切替

液晶モニタのメニュー表示やエラーメッセージを日本語でなく、他の言語にすることができます。日本語に戻すこともできます。

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［］**

☞「メニュー」（P.17）

## 1 表示したい言語を選択し、OK を押します。

### ヒント

**表示する言語を増やしたい**

→ 当社ホームページで追加する言語のファームウェアを配信しています。詳しくは、当社ホームページ（http://www.olympus.co.jp/）をご覧ください。

# PW ON/PW OFF設定

電源を入れたとき（PW ON設定）と切ったとき（PW OFF設定）に表示される画面と音をそれぞれ設定します。自分で画像を登録して設定することもできます。☞「画面登録」（P.108）

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［PW ON設定］／［PW OFF設定］**

☞「メニュー」（P.17）

**1 [画面] から [オフ] または [1] [2] を選択し、◁を押します。**

PW ON設定の時

**オフ** 画面表示なし（初期設定）

**1** 画面表示あり

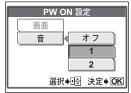
**2** 登録した画像。登録されていないと、何も表示されません。

**2 [音] から [オフ] または [1] [2] を選択し、◁を押します。**

PW ON設定の時

**オフ** 無音（初期設定）

**1／2** 音あり

- 音量は再生音量で設定した音量です。
☞「再生音量」（P.109）

**3 OKを押します。**

# レックビュー

撮影した直後に画像を液晶モニタに表示するかどうか設定します。

**オン** 撮影した画像をカードに記録中に表示します。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。レックビュー中でもすぐに次の撮影に入れます。

**オフ** 記録中の画像は表示されません。次の撮影のために被写体を追いながら撮影する場合に便利です。

モードダイヤル P A S M MY SCENE

**トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [設定] ▶ [レックビュー] ▶ [オフ] ／ [オン]**

☞「メニュー」（P.17）

7 設定

# 画面登録

電源を入れたとき（PW ON）と切ったとき（PW OFF）に表示される画面をそれぞれ登録します。カードに保存されている画像を登録します。登録した画面を表示するときは［PW ON設定］または［PW OFF設定］を行います。☞「PW ON/PW OFF設定」（P.106）

モードダイヤル ▶

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［画面登録］▶［PW ON］／［PW OFF］**
☞「メニュー」（P.17）

- すでに画像が登録されている場合は、登録済みの画像を解除して新たに画像を登録するかどうか確認するメッセージが表示されます。画面を登録する場合は［解除する］を選択し、Ⓞを押します。［解除しない］を選ぶとメニューに戻ります。

**1 登録する画像を選択し、Ⓞを押します。**

**2 ［決定］を選択し、Ⓞを押します。**

- 画面登録され、メニューに戻ります。

PW ON画面に登録するとき

**ご注意**

- このカメラで正しく再生できない画像およびムービーコマは、画面登録できません。

# 再生音量

静止画の音声メモやムービー再生時の音量、電源を入れたり切ったりするときの音量を設定します。5段階の音量が設定できます。

モードダイヤル ▶

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［再生音量］**

☞「メニュー」（P.17）

**1 ⊜⊝を押して音量を設定し、OKを押します。**

ここに設定すると音声は再生されません。

# ビープ音

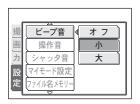
カメラが発する警告音の音量を［小］［大］から選択できます。音を消す場合は［オフ］に設定してください。

モードダイヤル P A S M My SCENE ▶

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［ビープ音］**

☞「メニュー」（P.17）

**1 ［オフ］または［小］［大］を選択してOKを押します。**

# 操作音

メニュー選択などボタン操作をしたときに発する操作音の音色を2種類から選びます。さらに、それぞれの音量を［小］［大］から選択できます。音を消す場合は［オフ］に設定してください。

モードダイヤル P A S M MY SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［操作音］**

☞「メニュー」（P.17）

**1** **［オフ］または［1］［2］を選択します。［1］［2］の場合は、さらに［小］または［大］を選択して㊂を押します。**

# シャッター音

シャッターボタンを押して撮影したときに発するシャッター音の音色を2種類から選びます。さらに、それぞれの音量を［小］［大］から選択できます。音を消す場合は［オフ］に設定してください。

モードダイヤル P A S M MY SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［シャッタ音］**

☞「メニュー」（P.17）

**1** **［オフ］または［1］［2］を選択します。［1］［2］の場合は、さらに［小］または［大］を選択して㊂を押します。**

# マイモード設定

撮影に関する機能を自由に設定し、マイモードとして登録します。撮影時に設定した内容をそのままマイモードとして登録することもできます。マイモードを設定してモードダイヤルをMyにすると、その設定で撮影することができます。☞「マイモード撮影」(P.47)
マイモード設定は、[My1マイモード1]～[My4マイモード4]まで4種類のパターンが設定できます。[My1マイモード1]のみ初期値が設定されています。

## ●マイモード設定が適応される項目

| マイモード設定が可能な項目 | 初期値 | 参照頁 | マイモード設定が可能な項目 | 初期値 | 参照頁 |
|---|---|---|---|---|---|
| P/A/S/M/SCENE | P | P.12 | デジタルズーム | オフ | P.35 |
| 絞り値 | F2.8 | P.44 | フルタイムAF | オフ | P.48 |
| シャッタ速度 | 1/1000 | P.45 | AF | iESP | P.47 |
| 露出補正 | 0.0 | P.58 | パノラマ | オフ | P.76 |
| モニタ*1 | オン | – | ファンクション撮影 | オフ | P.75 |
| ズーム位置*2 | 38mm | – | 撮影情報表示 | オフ | P.67 |
| フラッシュ | オート | P.37 | ヒストグラム表示 | オフ | P.66 |
| セルフタイマー／リモコン | オフ | P.74 P.78 | スチル録音 | オフ | P.79 |
| AF/MF | AF | P.51 | 罫線表示 | オフ | P.68 |
| AE | ESP | P.53 | 画質モード | HQ | P.26 |
| マクロ | オフ | P.36 | ホワイトバランス | オート | P.59 |
| ドライブ | 単写 | P.71 | WB補正 | 補正なし | P.62 |
| ISO感度 | オート | P.57 | シャープネス | ±0 | P.63 |
| フラッシュ補正 | 0.0 | P.41 | コントラスト | ±0 | P.64 |
| スローシンクロ | 先幕効果 | P.41 | 彩度 | ±0 | P.64 |
| ノイズリダクション | オフ | P.65 | | | |

*1 電源を入れたときの液晶モニタのオン／オフを設定します。
*2 Myモードでのズーム位置の設定は、38mm/80mm/120mm/160mm/190mmの中から選択できます。(表示されるズーム位置は35mmカメラの焦点距離換算値です。)

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [設定] ▶ [マイモード設定]**

☞「メニュー」(P.17)

7 設定

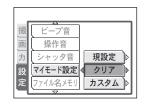
## 1 マイモード設定の種類を選択し、▷を押します。

**現設定**　現在のカメラの設定を一括して登録します。

**クリア**　現在登録されている設定を初期値に戻します。

**カスタム**　1つずつ機能を登録します。

- 「My1/2/3/4」画面が表示されます。

## 2 設定するマイモードの No. を選択しOKを押します。

### ●手順1で［現設定］を選択

## 3 ［登録］を選択し、OKを押します。

- 選択したマイモードに現在のカメラの設定が登録されます。

### ●手順1で［クリア］を選択

## 3 ［クリア］を選択し、OKを押します。

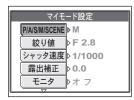
- 選択したマイモードに登録されている設定がクリアされます。
  何も登録されていないとマイモード撮影で選択できません。

## ●手順1で［カスタム］を選択

## 3 マイモードに設定するカスタム設定項目を選択し、⊳を押します。

- カスタム設定項目については、「マイモード設定が適応される項目」(P.111)を参照してください。

### カスタム設定項目の設定を変更し、OKを押します。

- 設定内容が保存されます。
- 必要に応じて他のカスタム設定項目の設定も変更します。

## 4 すべての設定が終了したらOKを押します。

- 手順2の画面に戻ります。

### ご注意

- ［現設定］で設定を登録したときに、ズームの位置がずれる場合があります。ズームの位置は、［マイモード設定］内の［ズーム位置］の5つの設定値のうち、現在使用しているズームの設定値に近い値になります。

7 設定

# ファイル名メモリー

記録される画像には、ファイル名とそのファイルが入るフォルダ名がカメラ内部で自動的に生成されます。ファイル名とフォルダ名はそれぞれファイルNo.（0001~9999）、フォルダNo.（100~999）を含み、以下のように付けられます。

フォルダ名　　ファイル名

￥DCIM￥***OLYMP￥Pmdd****.jpg

フォルダNo.（100~999）
月（1~C）
日（01~31）
ファイルNo.（0001~9999）

ファイル名の「月」の表記は、1月～9月は1～9、10月はA、11月はB、12月はCとなります。

フォルダNo.とファイルNo.の付け方は、［リセット］［オート］の2種類あります。パソコンで画像を取り込む際に、扱いやすい方をお選びください。

**ファイル名メモリーの設定**

**リセット**　カードを入れ換えたときにフォルダNo.、ファイルNo.が両方ともリセットされます。フォルダNo.は「No.100」に、ファイルNo.は「No.0001」に戻ります。カード別に画像を管理するときに便利です。

**オート**　カードを入れ換えても、フォルダNo.、ファイルNo.とも前のカードから継続されます。複数のカードを管理するときでも、ファイル名が重複することがありません。すべての画像を通し番号で管理するのに便利です。

モードダイヤル　P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［ファイル名メモリー］▶［リセット］／［オート］**

☞「メニュー」（P.17）

## ご注意

- ファイルNo.が9999を超えるとファイルNo.は0001に戻り、フォルダNo.が変わります。
- 最大のフォルダNo.999、ファイルNo.9999に達すると、カードに残量があっても撮影可能枚数が0になり撮影できません。新しいカードに取り換えてください。

# ピクセルマッピング

CCDと画像処理機能のチェックを同時に行います。この機能は、すでに工場出荷時に調整済みのため、お買い上げ後すぐに調整する必要はありません。調整は、年に一度を目安とし、最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けて実行します。

モードダイヤル P A S M SCENE

**トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [設定] ▶ [ピクセルマッピング]**

☞「メニュー」(P.17)

**1 [スタート] が表示されたら、OKを押します。**

- ピクセルマッピング実行中のバーが表示されます。終了するとモードメニューに戻ります。

**ご注意**

- 処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

7 設定

# モニタ調整

液晶モニタの明るさを見やすいように調整します。

モードダイヤル P A S M SCENE

**トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [設定] ▶ [モニタ調整]**

☞「メニュー」(P.17)

**1** **液晶モニタを見ながら明るさを調整し、設定が決まったら㊍を押します。**

- ⓐを押すと明るくなり、ⓥを押すと暗くなります。

# 日時設定

日付・時刻を設定します。日時の情報は画像とともに記録され、日時の情報をもとにファイル名が付けられます。

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［日時設定］**

☞「メニュー」（P.17）

**1** **日付の順序を、［年-月-日］、［月-日-年］、［日-月-年］から選択し、▷を押します。**

- 年の設定に移動します。
- 以下の画面は［年-月-日］に設定した場合です。

7 設定

**2** **[年] を⊜⊜を押して設定し、⊳で次の項にすすみます。**

- ⊲を押すと、1つ前の項目に戻ります。
- [年] の上 2 桁は固定されています。

日時設定
2004 . 01 . 01
00 : 00
選択 設定 決定 OK

**3** **同様の操作を繰り返し、時刻まで入力します。**

- カメラの時間表示は 24 時間表示です。午後2時は14:00と表示されます。

**4** **OKを押します。**

- 0秒の時報に合わせてOKを押すと、正確に時間を合わせられます。

**ご注意**

- 電池を抜いた状態で約3日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります（当社試験条件による）。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には、日時の設定が正しいことを確認してください。
- 日時設定が解除されると、カメラの電源を入れたときに液晶モニタに警告画面が表示されます。☞「エラーコード」（P.158）

# m/ft設定

マニュアルフォーカスモード時の画面に表示される距離の単位を選択します。

**m** 長い距離はメートル、短い距離はセンチで表示します。
**ft** 長い距離はフィート、短い距離はインチで表示します。

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▸ [モードメニュー] ▸ [設定] ▸ [m/ft設定] ▸ [m] ／ [ft]**
☞「メニュー」（P.17）

# ショートカット設定

静止画撮影モード（P/A/S/M/My/SCENE）のトップメニューのショートカットメニュー（A、B）を登録します。
使用頻度の高い機能をショートカットメニューとして登録しておくと、ダイレクトにその機能の設定画面までジャンプできるので便利です。

初期値
A: マクロ
B: 画質モード

| ショートカットメニューに登録できる機能 | 参照頁 | ショートカットメニューに登録できる機能 | 参照頁 |
|---|---|---|---|
| マクロ | P.36 | 撮影情報表示 | P.67 |
| ドライブ | P.71 | ヒストグラム表示 | P.66 |
| ISO感度 | P.57 | スチル録音 | P.79 |
| SCENE | P.32 | 罫線表示 | P.68 |
| My1/2/3/4 | P.47 | インターバル撮影 | P.73 |
| フラッシュ補正 | P.41 | 画質モード | P.26 |
| スローシンクロ | P.41 | ホワイトバランス | P.59 |
| ノイズリダクション | P.65 | WB補正 | P.62 |
| デジタルズーム | P.35 | シャープネス | P.63 |
| フルタイムAF | P.48 | コントラスト | P.64 |
| パノラマ | P.76 | 彩度 | P.64 |
| ファンクション撮影 | P.75 | | |

## ショートカットメニューを登録する

トップメニューA、Bの位置のショートカットメニューを登録します。

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［ショートカット設定］**

☞「メニュー」（P.17）

**1** **［A］または［B］を選択し、Ⓓを押します。**

**2** **設定する機能を選択し、OK を押します。**

**ご注意**

- 各モードで異なった登録をすることはできません。

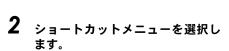
## ショートカットメニューを使う

設定したショートカットメニューを使用します。

**1** **OK を押してトップメニューを表示します。**

- 登録したショートカットメニューがトップメニューに表示されます。

ショートカットメニュー Aに［WB補正］を登録した場合

**2** **ショートカットメニューを選択します。**

- 設定した機能の設定画面までジャンプします。

7 設定

# カスタムボタン設定

カスタムボタンに使用頻度の高い機能を登録します。カスタムボタンに登録すると、メニューから画面を表示するのではなく、カスタムボタンを押して直接、設定画面を表示することができます。

| カスタムボタンに設定できる機能 | 設定内容 | 参照頁 |
|---|---|---|
| AEロック（初期設定） | － | P.55 |
| AFロック | － | P.50 |
| マクロ | オフ、… | P.36 |
| ドライブ | 単写、連写、高速連写、**BKT**（ブラケット） | P.71 |
| ISO感度 | オート、80、100、200、400 | P.57 |
| SCENE | … | P.32 |
| マイモード選択 | My1、My2、My3、My4 | P.47 |
| スローシンクロ | 先幕効果、赤目・先幕効果、後幕効果 | P.41 |
| ノイズリダクション | オフ、オン | P.65 |
| デジタルズーム | オフ、オン | P.35 |
| フルタイムAF | オフ、オン | P.48 |
| ファンクション撮影 | オフ、モノクロ、セピア | P.75 |
| 撮影情報表示 | オフ、オン | P.67 |
| ヒストグラム表示 | オフ、オン、ダイレクト | P.66 |
| スチル録音 | オフ、オン | P.79 |
| 罫線表示 | オフ、オン | P.68 |
| 画質モード | RAW、TIFF、SHQ、HQ、SQ1、SQ2 | P.26 |
| ホワイトバランス | オート、プリセット、ワンタッチ | P.59 |

## カスタムボタンに機能を登録する

モードダイヤル P A S M My SCENE

**トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［カスタムボタン設定］**

☞「メニュー」（P.17）

**1** **設定する機能を選択し、㊙ を押します。**

**ご注意**

- 各モードで異なった登録をすることはできません。

## カスタムボタンを使う

**1** **AEL/ボタンを押します。**

- 液晶モニタが点灯し、登録した機能がメニュー表示されます。

カスタムボタンに［ドライブ］を登録した場合

**ヒント**

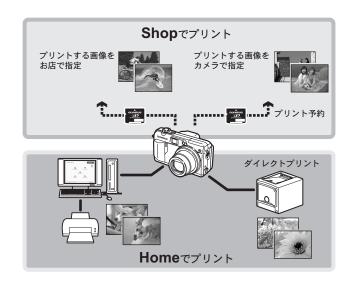
**カスタムボタンにISO感度を登録したが、AEロックを使いたい**

→ カスタムボタンにAEロック以外のメニュー機能が登録されているときは、AEロックは使用できません。AEロックを使うには、「カスタムボタンに機能を登録する」（P.120）にしたがって、カスタムボタンをAEロックに登録してください。

7 設定

# プリントする

8

撮影した画像をプリントしましょう。
お店でプリントする方法と、自分でプリンタを使ってプリントする方法があります。
お店でプリントする時は、カードにプリント予約をしておくと便利です。プリント予約は、あらかじめプリントする画像や枚数をカードに設定しておく方法です。
自分でプリントする時は、デジタルカメラを専用プリンタに直接接続して印刷する方法（ダイレクトプリント）と、パソコンに取り込んでパソコンに接続されたプリンタで印刷する方法があります。

# ダイレクトプリント（PictBridge）

## ダイレクトプリントについて

カメラをPictBridge対応プリンタにUSBケーブルで接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。プリントする画像の選択やプリント枚数の設定は、カメラとプリンタを接続した状態で、カメラの液晶モニタを見ながら操作します。また、プリント予約の設定内容を使って、プリントすることもできます。☞「プリント予約（DPOF）」（P.134）
お使いのプリンタがPictBridgeに対応しているかどうかは、プリンタの取扱説明書でお確かめください。

**PictBridgeとは**…異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

**標準設定とは**…PictBridge対応プリンタには、それぞれプリント条件の標準設定があります。各設定画面（P.128～130）で［凸標準設定］を選択すると、この設定にしたがってプリントされます。標準設定の内容については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧になるか、プリンタメーカーにおたずねください。

### ? ヒント

- プリントできる用紙の種類、用紙やインクカセットの取り付け方については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

### ! ご注意

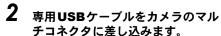
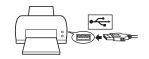
- 電源にはACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。電池をご使用の場合は、十分に充電された電池をお使いください。プリンタと通信中にカメラが動作を停止すると、プリンタが誤動作したり、画像データを壊すことがあります。
- RAWデータおよびムービーはプリントできません。
- USB ケーブルを取り付けているときは、カメラはスリープモード（待機状態）になりません。

## カメラをプリンタに接続する

付属のUSBケーブルで、カメラをPictBridge対応プリンタに接続します。

### 1 プリンタの電源を入れて、プリンタのUSBポートに、カメラに付属の専用USBケーブルのプリンタ接続側のプラグを差し込みます。

- プリンタの電源の入れ方およびUSB端子の位置は、お使いのプリンタの取扱説明書でご確認ください。

### 2 専用USBケーブルをカメラのマルチコネクタに差し込みます。

- カメラの液晶モニタが点灯し、USBケーブルの接続先の選択画面が表示されます。

### 3 ［プリント］を選択し、Ⓞを押します。

- 「しばらくお待ちください」と表示されたあと、カメラとプリンタが接続され、カメラの液晶モニタにプリントモード選択画面が表示されます。プリントの設定はカメラの液晶モニタを見ながら操作します。☞「プリントする」（P.126）に進みます。

**ご注意**

- USBモードが［PC］に設定されていると、プリントモード選択画面は表示されません。USBケーブルを抜いて、手順1からやり直してください。

## プリントする

カメラをPictBridge対応プリンタに接続すると、カメラの液晶モニタにプリントモード選択画面が表示されます。この画面でプリントモードを選択して、プリントします。選択できるプリントモードは、以下のとおりです。

プリントモード選択画面

| | |
|---|---|
| **プリント** | 選択した画像をプリントします。 |
| **全コマプリント** | カードの中の全画像をプリントします。 |
| **マルチプリント** | 1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトして、プリントします。 |
| **全コマインデックス** | カードの中の全画像を一覧にして、インデックス形式でプリントします。 |
| **予約プリント** | プリント予約の内容にしたがってプリントします。あらかじめプリント予約された画像が無いときは、選択できません。<br>☞「プリント予約（DPOF）」（P.134） |

**プリントモードや各設定の内容について**

使用できるプリントモード、用紙サイズなどの設定項目は、お使いのプリンタによって選択できる項目が異なる場合があります。詳しくは、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

## 簡単なプリント方法

一番簡単なプリント方法を使って、1枚プリントしてみましょう。選択した画像が1枚、お使いのプリンタの標準的な設定でプリントされます。日付やファイル名はプリントされません。

**プリントモード選択画面 ▶ [プリント]** ☞「メニュー」（P.17）

### 1 サイズ、フチの設定は何も変更せずに、Ⓞを押します。

- プリント用紙設定画面が表示されないときは、手順2に進みます。
- 用紙サイズとフチの設定については☞「用紙サイズとフチの設定」（P.127）を参照してください。

## 2 プリントする画像を選択し、Ⓞ を押します。

- プリント画面が表示されます。

## 3 ［プリント］を選択し、Ⓞを押します。

- プリントが開始されます。
- ［中止］を選択してⓄを押すとプリントモード選択画面に戻ります。
- プリントが終了すると手順2に戻ります。手順2、3を繰り返して、プリントを続けることができます。

### ●用紙サイズとフチの設定

プリントする用紙サイズとフチの設定は、プリント用紙設定画面で設定します。

| | |
|---|---|
| **用紙サイズ** | お使いのプリンタで使用できる用紙サイズから選択できます。 |
| **フチ** | フチの有無を選択できます。マルチプリントモードの場合、フチの選択はありません。 |
| **有り（□）** | 用紙の周辺に余白をつけてプリントします。 |
| **無し（□）** | 用紙いっぱいにプリントします。 |
| **分割数** | マルチプリントモードの場合のみ選択できます。分割数はお使いのプリンタの種類によって異なります。 |

## 1 プリント用紙設定画面で ⊛⊛ を押して用紙サイズを選択し、Ⓓを押します。

## 2 ⊛⊛を押してフチの有無を選択し、Ⓞを押します。

**マルチモードの場合は、⊛⊛を押して分割数を選択し、Ⓞを押します。**

**ご注意**

- プリント用紙設定画面が表示されない場合、用紙サイズとフチ、または分割数の設定は標準設定になります。

## プリントモードを選択してプリントする

プリントモードは、プリントモード選択画面で選択します。選択したプリントモードによって、設定できる内容が一部異なります。

**プリントモード選択画面 ▶［プリント］／［全コマプリント］／［マルチプリント］／［全コマインデックス］／［予約プリント］**

☞「メニュー」（P.17）

### 1 プリント用紙設定画面で設定したい項目を選択し、Ⓞを押します。☞「用紙サイズとフチの設定」（P.127）

- マルチプリントモードの場合、フチの有無ではなく分割数の設定を選択できます。
- 全コマインデックスモードの場合、フチの選択はありません。
- プリント用紙設定画面が表示されないときは［標準設定］が適用されます。

**プリントモード／マルチプリントモードの場合**→手順 2 へ進みます。
**全コマプリントモードの場合**→手順 4 へ進みます。
**全コマインデックスモード／予約プリントモードの場合**→手順6へ進みます。

### 2 プリントする画像を選択します。

- ズームレバーをW側に回すと、インデックス表示されます。インデックスから画像を選択することもできます。

### 3 予約方法を選択します。

**1枚予約**　選択している画像を標準設定で予約します。プリント枚数は 1 枚です。

**詳細予約**　選択している画像のプリント枚数を設定してプリント予約します。日付やファイル名の付加、画像のトリミングなどの設定もできます。

## ●1枚予約する

① ⊗を押します。

- 凸 が表示されている画像のときに⊗を押すと、予約が解除されます。

予約マークが表示されます。

② 手順5へ進みます。

## ●詳細予約する

① ⊗を押します。

② 設定したいプリント情報設定項目を選択して⊗を押し、それぞれの項目を設定します。

| | |
|---|---|
| **プリント枚数** | プリント枚数を設定します。枚数は10枚まで設定できます。 |
| **日付（⊙）** | ［有り］を選択すると、画像に日付がプリントされます。 |
| **ファイル名（FILE）** | ［有り］を選択すると、画像にファイル名がプリントされます。 |
| **トリミング（⊏⊐）** | 撮影した画像の一部を拡大してプリントします。<br>☞「トリミングするには」（P.131） |

- マルチプリントモードでは、［日付］［ファイル名］の設定はできません。

③ プリント情報の設定が終了したら、Ⓞを押します。

設定状態が表示されます。

- 手順2の画面に戻ります。
- 複数の画像をまとめてプリントまたはマルチプリントするときは、手順2と手順3の［1枚予約］と［詳細予約］を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。
- マルチプリントモードでは、⊞が表示されます。

④ 手順 5 へ進みます。

## 4 設定したいプリント詳細情報を選択して㋑を押し、それぞれの項目を設定します。

- プリント情報設定ができないプリンタの場合は、プリント情報設定画面が表示されず手順6へ進みます。
- プリント枚数は各1枚です。

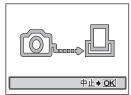
| | |
|---|---|
| **日付（㊀）** | ［有り］を選択すると、画像に日付がプリントされます。 |
| **ファイル名（FILE）** | ［有り］を選択すると、画像にファイル名がプリントされます。 |

## 5 ㊉を押します。

## 6 ［プリント］を選択し、㊉を押します。

- プリントを開始します。
- プリントが終了すると、プリントモード選択画面に戻ります。
☞「ダイレクトプリントを終了する」（P.132）

## ●プリントを途中で中止するには

プリンタへデータを転送中に㊉を押すと、プリント続行、または中止の選択画面が表示されます。プリントを中止するには、［中止］を選択し、㊉を押します。

データ転送中の画面

## トリミングするには

プリントモード／マルチプリントモードの詳細予約でトリミングを設定するときは、以下の手順で行います。

### 1 十字ボタンとズームレバーを使って、トリミングの位置とサイズを決めます。

- ⊜⊝⊲⊳を押してトリミングする位置を移動します。
- ズームレバーをW側またはT側に動かして、トリミングのサイズを横長小、横長大、縦長小、縦長大から選びます。
- すでにトリミングが設定されている場合は、トリミング画面が表示されますので、［再設定］を選択し、Ⓞを押します。

### 2 Ⓞを押します。

### 3 ［決定］を選択し、Ⓞを押します。

**決定**　設定されているトリミングを保存します。

**再設定**　再度トリミングをし直します。
→手順1に戻ります。

**解除**　設定されているトリミングを解除します。

- Ⓞを押すとトリミングが設定され、プリント情報設定画面に戻ります。

### ご注意

- プリントされる画像の大きさは、プリンタの設定によります。トリミングの範囲が小さいと、プリントするときの拡大率が大きくなるため、プリント画像は粗くなります。
- 詳細な拡大プリントを行う場合は、TIFF、SHQ、HQの画質モードでの撮影をおすすめします。

## ダイレクトプリントを終了する

プリントが終了したら、カメラをプリンタから取り外します。

**1　プリントモード選択画面で、◁を押します。**

- 「電源オフしてください」というメッセージが表示されます。

**2　カメラのパワースイッチを押して、電源を切ります。**

**3　カメラからUSBケーブルを抜きます。**

**4　プリンタからUSBケーブルを抜きます。**

## エラーコードが表示されたときは

ダイレクトプリント設定中およびプリント中にカメラの液晶モニタにエラーコードが表示されたときは、以下のように対応してください。
対処方法については、お使いのプリンタの取扱説明書もご覧ください。

| 液晶モニタ表示 | 原因 | こうしましょう |
|---|---|---|
| 接続されていません | カメラがプリンタに正しく接続されていません。 | カメラとプリンタを正しく接続し直してください。 |
| 用紙がありません | 用紙切れです。 | 用紙をプリンタに補充してください。 |
| インクがありません | インク切れです。 | インクをプリンタに補充してください。 |
| 紙づまりです | 用紙が詰まっています。 | 詰まった用紙を取り除いてください。 |
| プリンタの設定が変更されました | プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をした。 | プリントの設定中には、プリンタの操作はしないでください。 |
| プリンタエラーです | エラーが発生しました。 | カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してから再度電源を入れ直してください。 |

### ヒント

- その他のエラーコードが表示されたときは、「エラーコード」（P.158）をご確認ください。

# プリント予約（DPOF）

## プリント予約とは

プリント予約とは、カード内の画像にプリントする枚数や日付を印刷する指定を記憶させることです。
プリント予約をすると、DPOF対応のプリンタやDPOF対応のプリントショップで簡単にプリントすることができます。DPOFとは、デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するための規格です。プリントショップや家庭でのプリントアウトで自動プリントが可能なように、プリントしたい画像や枚数などの指定をカードに記録します。

プリント予約した画像は以下の方法でプリントできます。

**DPOF対応のプリントショップでプリントする**

予約されている内容に従ってプリントできます。

**DPOF対応のプリンタでプリントする**

パソコンを使わずに、専用プリンタから直接プリントできます。詳しくはお使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。PCカードアダプタが必要な場合もあります。

**DPOFを使用せずにプリントサービスを利用される方へ**

写真店などのプリントサービスをご利用になる場合は、プリントする画像は必ずファイル番号で指定してください。コマ番号で指定すると間違った画像がプリントされる場合があります。

（例）　FILE 100–0016

フォルダの通し番号　画像の通し番号

### ヒント

**撮影時の画質モードとプリントの関係**

パソコンやプリンタの解像度には一般的に1インチあたりの点（ピクセル）の数が用いられ、dpi（dot per inch）と呼ばれています。同じ画像をプリントしても、プリント時のdpiの値を大きくすることでより鮮明に印刷することができますが、撮影された画像のピクセル数は変わらないため、実際に印刷されるサイズは小さくなります。その画像を拡大してプリントすることもできますが、画質は粗くなります。
プリントすることを前提として撮影するときや、大きいサイズでプリントしたいときは、撮影時の画質モードをできるだけ高いものに設定することをおすすめします。☞「画質について」（P.26）

## ご注意

- 他の DPOF 機器で設定された DPOF 予約内容をこのカメラで変更することはできません。予約した機器で変更してください。
- 他の機器で DPOF 予約されているファイルがある場合、このカメラで新たにDPOF予約を行うと、以前に予約した内容は消去されます。
- カードに空き容量が少ないと予約できない場合があります。「カード残量がありません」と表示されます。
- DPOF予約で予約できる枚数は、1枚のカードにつき999枚までです。
- 「この画像は再生できません」と表示される画像でも、プリント予約を設定できることがあります。その場合、1 コマ再生だとプリント予約マーク（凸）は表示されません。複数の画像を表示（インデックス表示）しているときは、凸マークが表示され、プリント予約を確認できます。
- プリンタまたはプリントショップにより、一部機能が制限されることがあります。
- TIFF で記録された画像は、プリントできない場合があります。
- RAWで記録された画像は、DPOF予約できません。
- プリント予約は、カードに予約を記録するときに時間がかかることがあります。

## 全コマ予約／1コマ予約

プリント予約は、全コマ予約と1コマ予約のどちらかを選択することができます。

**全コマ予約**　カードの中の全画像をプリント予約します。プリントする枚数や撮影日時のプリントを指定することができます。

**1コマ予約**　選択した画像のみをプリント予約します。プリントする画像を表示してプリント枚数や撮影日時のプリント、トリミングを設定することができます。

### 1 凸ボタンを押します。

☞「ダイレクトボタン」（P.13）

- 🎥のついた画像はプリント予約できません。
- すでにプリント予約した画像がある場合は、その予約設定を残すか解除するかを選択する画面が表示されます。

## 2 ［全コマ予約］または［1コマ予約］を選択し、Ⓞから押します。

- **1コマ予約の場合**→手順3へ進みます。
- **全コマ予約の場合**→手順5へ進みます。

## 3 プリント予約したいコマを選択し、Ⓞを押します。

## 4 プリント予約したい内容に応じて、項目を選択します。

1コマ予約メニュー画面

**詳細予約**　プリント枚数、情報プリント、トリミングを設定します。予約が設定され、手順5へ進みます。

**1枚予約**　プリント枚数が1枚に設定され、手順3の画面に戻ります。情報プリント、トリミングの設定はありません。
☞「1コマ予約を終了するには」（P.137）

**予約解除**　表示されている画像のプリント予約を解除します。
☞「プリント予約の解除」（P.139）

**予約終了**　プリント予約を終了します。
☞「1コマ予約を終了するには」（P.137）

## 5 ［プリント枚数］［情報プリント］［トリミング］から選択し、▷を押します。

- 全コマ予約の場合、［トリミング］は設定できません。

1コマ予約画面

# 6 プリント枚数、情報プリント、トリミングの設定を行います。

## ●プリント枚数を設定するには

プリント枚数を設定し、Ⓞを押します。
△：枚数が増えます。
▽：枚数が減ります。

## ●情報プリントを設定するには

［無し］［日付］［時刻］を選択し、Ⓞを押します。

**無し**　画像のみプリントされます。
**日付**　プリント予約したすべての画像に撮影年月日が付加されてプリントされます。
**時刻**　プリント予約したすべての画像に撮影時刻が付加されてプリントされます。

## ●トリミングをするには

☞「トリミング」（P.138）

# 7 プリント枚数、情報プリント、トリミングの設定後、Ⓞを押すと、プリント予約が設定されます。

- 表示されている画像に 凸 マークが表示されます。
- 全コマ予約の場合は、再生画面に戻ります。
- 1コマ予約の場合は、手順3の画面に戻ります。他の画面を続けてプリント予約するときは、手順3～7を繰り返します。

## ●1コマ予約を終了するには

1コマ予約メニュー画面で［予約終了］を選択すると、カードプリント予約画面に戻ります。画面下の操作ガイドにしたがって再生画面に戻ってください。

8 プリントする

## トリミング

撮影した画像の一部を拡大してプリントします。

モードダイヤル ▶

### 1 1コマ予約画面で［トリミング］を選択し▷を押します。

☞「全コマ予約／1コマ予約」（P.135）

- すでにトリミングが設定されている場合は、トリミング画面が表示されますので、［再設定］を選択し、OKを押します。

### 2 十字ボタンとズームレバーを使って、トリミングの位置とサイズを決めます。

- △▽◁▷を押してトリミングする位置を移動します。
- ズームレバーをW側またはT側に動かして、トリミングのサイズを横長小、横長大、縦長小、縦長大から選びます。

### 3 OKを押します。

### 4 ［決定］を選択し、OKを押します。

**決定**　設定されているトリミングを保存します。1コマ予約画面に戻ります。

**再設定**　再度トリミングをし直します。→手順2に戻ります。

**中止**　設定されているトリミングを解除します。1コマ予約画面に戻ります。

8 プリントする

## 5 ⓞを押すとプリント予約が設定されて画像の選択に戻りますので、再びⓞを押します。

## 6 ◁を押して［予約終了］を選択します。

- カードプリント予約画面に戻りますので、画面下の操作ガイドにしたがって再生画面に戻ってください。

### ご注意

- プリントされる画像の大きさは、プリンタの設定によります。トリミングの範囲が小さいと、プリントするときの拡大率が大きくなるため、プリント画像は粗くなります。
- 詳細な拡大プリントを行う場合は、TIFF、SHQ、HQの画質モードでの撮影をおすすめします。
- 元の画像はトリミングされていません。トリミングに対応していないプリンタでは、通常のプリントになります。
- トリミングを設定した画像を回転再生しないでください。トリミングで指定した範囲が変わります。

# プリント予約の解除

カード内の画像のプリント予約を解除します。
すべてのプリント予約を解除する方法と、選んだ画像のプリント予約だけを解除する方法があります。

## ●すべての予約の解除

## 1 ボタンを押します。

☞「ダイレクトボタン」（P.13）

## 2 ［解除する］を選択し、ⓞを押します。

- プリント予約した画像がない場合は、この画面は表示されません。
- ◁を押すと再生画面に戻ります。

8 プリントする

## ●1コマ予約の解除

**1** **凸ボタンを押します。**

☞「ダイレクトボタン」（P.13）

**2** **［解除しない］を選択し、Ⓞを押します。**

- プリント予約した画像がない場合は、この画面は表示されません。

**3** **［1コマ予約］を選択し、Ⓞを押します。**

**4** **プリント予約を解除したいコマを十字ボタンを使って選択し、Ⓞを押します。**

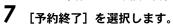
- 1コマ予約メニュー画面が表示されます。

**5** **［予約解除］を選択します。**

- プリント予約が解除され、手順4の画面に戻ります。

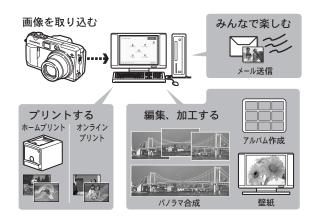
**6** **他に予約解除する画面がない場合は、Ⓞを押します。**

- 1コマ予約メニュー画面が表示されます。

**7** **［予約終了］を選択します。**

- カードプリント予約画面に戻りますので、画面下の操作ガイドにしたがって再生画面に戻ってください。

# パソコン接続

9

撮影した画像をパソコンで利用してみましょう。
お好みの画像を選んでプリントするだけではありません。アプリケーションソフトを使って取り込んだ画像を日付別、目的別などに整理する、画像を編集・加工する、さらにインターネットを利用し、メールに画像を添付して送るなど、カメラの楽しみがどんどん広がります。
パソコンならではの画像の表示方法もありますね。スライドショーやカメラアルバムを作ったり、デスクトップの壁紙にして楽しんだりできます。

# 操作の流れ

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続して、カメラのカードに保存されている画像を付属のOLYMPUS Masterを使ってパソコンに取り込みます。以下のものを準備して操作をはじめてください。

OLYMPUS Master CD-ROM　　USBケーブル　　USBポートを装備したパソコン

## ? *ヒント*

**パソコンに取り込んだ画像を活用するには**

→ グラフィックソフトを使用して画像を処理する場合は、必ずパソコンに取り込んでから行ってください。ソフトウェアによってはファイル（画像）がカードの中にある状態で画像処理（画像の回転など）を行うと、ファイルが壊れる可能性があります。

**USB接続でカメラのデータを取り込めないとき**

→ PCカードアダプタ（別売）をお使いいただくと画像を取り込める場合もあります。詳しくは裏表紙に記載の「ホームページによる情報提供について」をご参照ください。



## ! ご注意

- カメラをパソコンに接続して使用するときは、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。電池をご使用の場合は残量をご確認ください。パソコンとの接続中（通信中）は、自動的に電源が切れません。電池の残量がなくなると、カメラは途中で動作を停止します。カメラが動作を停止すると、パソコンが誤動作したり、パソコンとカメラの通信中の場合は画像データ（ファイル）を壊すことがあります。
- 誤動作の原因になりますので、パソコンとの接続中はカメラの電源を切らないでください。
- USB ハブを経由してカメラを接続すると、ハブとパソコン間の相性によって動作が不安定になることがあります。この場合は、ハブを使用しないでパソコンとカメラを直接接続してください。

# 付属のOLYMPUS Masterを使う

画像の編集・管理を行うために付属のCD-ROMからOLYMPUS Masterをインストールしましょう。

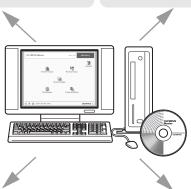
## OLYMPUS Masterとは

OLYMPUS Masterはデジタルカメラで撮影した画像をパソコンで楽しむためのアプリケーションソフトウェアです。パソコンにインストールすると、以下のようなことができます。

**カメラやメディアから画像を取り込む**

**画像を整理・管理する**
カレンダー形式で表示して画像を管理します。撮影日時やキーワードから、目的の画像をすばやくみつけることができます。

**画像を見る・ムービーを見る**
スライドショーを楽しんだり、サウンドを再生することもできます。

**画像を編集する**
画像の回転や反転、トリミング、サイズ変更などの編集ができます。

**フィルタ機能、補正機能で画像を補正する**

**パノラマ写真を作る**
パノラマモードで撮った画像を使ってパノラマ写真を作成します。

**プリンタを使ってプリントする**
インデックスプリントやカレンダー、ポストカードなど多彩なプリントが楽しめます。

**RAW画像を現像する**

上記以外の機能や操作方法については、OLYMPUS Masterの「ヘルプ」および取扱説明書をご覧ください。

## OLYMPUS Masterをインストールする

お使いのパソコンのOSをご確認の上、インストールしてください。
新しいOSへの対応についてはオリンパスホームページ(http://www.olympus.co.jp)でご確認ください。

### ●動作環境について

#### Windows

| | |
|---|---|
| OS | Windows 98SE/Me/2000 Professional/XP |
| CPU | Pentium III 500MHz以上 |
| RAM | 128MB以上（256MB以上を推奨） |
| ハードディスク容量 | 300MB以上 |
| コネクタ | USBポート |
| モニタ | 1024 × 768ドット以上、65,536色以上 |

**ご注意**

- OSがプレインストールされているパソコンのみ、動作対象となります。
- Windows 2000 Professional/XPでインストールする場合は、管理者権限を所有するユーザーでログオンしてください。
- QuickTime 6以上、Internet Explorerがインストールされている必要があります。
- Windows XPは、Windows XP Professional/Home Editionに対応しています。
- Windows 2000は、Windows 2000 Professionalにのみ対応しています。
- Windows 98SEをお使いの場合、USBドライバが自動的にインストールされます。

#### Macintosh

| | |
|---|---|
| OS | Mac OS X 10.2以降 |
| CPU | Power PC G3 500MHz以上 |
| RAM | 128MB以上（256MB以上を推奨） |
| ハードディスク容量 | 300MB以上 |
| コネクタ | USBポート |
| モニタ | 1024 × 768ドット以上、32,000色以上 |

### ご注意

- USBポートが標準装備されていないMacintoshでは、パソコンとカメラをUSB接続した場合の動作を保証いたしません。
- QuickTime 6以上、Safari 1.0以上がインストールされている必要があります。
- 次の操作を行う時は、必ずメディアを取り出す手順（ゴミ箱にドラッグ＆ドロップ）を先に行ってください。この手順を行わずに操作すると、パソコン動作が不安定になり、再起動が必要となる場合があります。
  - カメラとパソコンの接続ケーブルを抜く
  - カメラの電源を切る
  - カメラの電池／カードカバーを開ける

## Windowsの場合

### 1 CD-ROMドライブにCD-ROMを入れます。

- OLYMPUS Masterセットアップ画面が表示されます。
- 表示されない場合は、「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、CD-ROM アイコンをクリックしてください。

### 2 「OLYMPUS Master」ボタンをクリックします。

- QuickTime インストール用の画面が表示されます。
- QuickTimeはOLYMPUS Masterを動作させるために必要です。すでにQuickTime 6以上がインストールされている場合は表示されません。手順4に進んでください。

### 3 「次へ」ボタンをクリックし、画面のメッセージに沿って操作を行います。

- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「同意します」ボタンをクリックします。
- OLYMPUS Masterインストール用の画面が表示されます。

## 4 画面のメッセージにしたがって操作を行います。

- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「はい」ボタンをクリックします。

- 途中、ユーザー情報入力画面が表示されたら、「名前」「OLYMPUS Masterシリアル番号」を入力し、お住まいの国を選択して「次へ」ボタンをクリックします。シリアル番号はCD-ROMのパッケージに貼ってあるシールをご覧ください。
- 途中、DirectXの使用許諾画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「はい」ボタンをクリックします。
- Adobe Readerをインストールするかどうか確認する画面が表示されます。Adobe ReaderはOLYMPUS Masterの取扱説明書を見るために必要です。すでにAdobe Readerがインストールされている場合は表示されません。

## 5 Adobe Readerをインストールする場合は「OK」ボタンをクリックします。

- インストールしない場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。
- Adobe Readerインストール用の画面が表示されます。画面のメッセージに沿って操作を行ってください。
- 続いて、蔵衛門体験版のインストールを行うかどうか確認する画面が表示されます。蔵衛門体験版をインストールする場合は「はい」ボタンをクリックします。

## 6 画面のメッセージにしたがって操作を行います。

- インストール完了画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。

## 7 再起動を求める画面が表示されたら、「今すぐコンピュータを再起動する」を選択して「OK」ボタンをクリックします。

- パソコンが再起動します。
- CD-ROMは、CD-ROMドライブから取り出して保管してください。

### Macintoshの場合

**1 CD-ROMドライブにCD-ROMを入れます。**

- CD-ROMのウィンドウが表示されます。
- 表示されない場合は、デスクトップのCD-ROMアイコンをダブルクリックします。

**2 「インストーラ」アイコンをダブルクリックします。**

- OLYMPUS Masterのインストーラが起動します。
- 画面のメッセージに沿って操作を行ってください。
- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「続ける」ボタン、「同意します」ボタンをクリックします。
- インストール完了画面が表示されます。

**3 「終了」ボタンをクリックします。**

- 最初の画面に戻ります。

**4 「再起動」ボタンをクリックします。**

- パソコンが再起動します。
- CD-ROMは、CD-ROMドライブから取り出して保管してください。

## カメラをパソコンに接続する

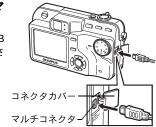
付属のUSBケーブルで、カメラをパソコンに接続します。

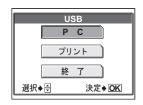
モードダイヤル ▶

**1 パソコンのUSBポートに、カメラに付属のUSBケーブルを差し込みます。**

- USBポートの位置はお使いのパソコンの取扱説明書でご確認ください。

## 2 付属のUSBケーブルをカメラのマルチコネクタに差し込みます。

- カメラの液晶モニタが点灯し、USBケーブルの接続先の選択画面が表示されます。

## 3 [PC] を選択し、㊙を押します。

- 選択画面が消えたときは、パワースイッチを押して電源を入れ直してください。または、USBケーブルを1度取り外して、手順2からやり直してください。

## 4 パソコンがカメラを新しい機器として認識します。

- Windows 98SE/Me/2000の場合
  はじめてカメラとパソコンを接続したときは、パソコンがカメラを認識する動作を自動的に行います。設定終了のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてメッセージを終了してください。カメラは「リムーバブルディスク」として認識されます。
- Windows XPの場合
  パソコンに接続すると、画像ファイルの操作を選択する画面が表示されます。OLYMPUS Masterで画像を取り込みますので、「キャンセル」ボタンをクリックします。
- Mac OS Xの場合
  画像ファイルは通常iPhotoというアプリケーションで管理されます。はじめてカメラを接続するとiPhotoが起動しますので、iPhotoを終了させOLYMPUS Masterを起動してください。

### ご注意

- パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。

# OLYMPUS Masterを起動する

## Windowsの場合

**1 デスクトップの「OLYMPUS Master」アイコン をダブルクリックします。**

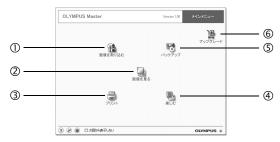
- メインメニューが表示されます。
- 最初の起動時、メインメニューの前にユーザー登録画面が表示されます。画面の案内にしたがって必要な情報を入力してください。

## Macintoshの場合

**1 「OLYMPUS Master」フォルダ内の「OLYMPUS Master」アイコン をダブルクリックします。**

- メインメニューが表示されます。
- 最初の起動時、メインメニューの前にユーザー情報入力画面が表示されますので、「名前」「OLYMPUS Masterシリアル番号」を入力し、お住まいの国を選択してください。

- ユーザー情報入力画面に続いて、ユーザー登録画面が表示されます。画面の案内にしたがって必要な情報を入力してください。

## ●OLYMPUS Masterのメインメニュー

① **「画像を取り込む」ボタン**
画像をカメラまたはメディアから取り込みます。

② **「画像を見る」ボタン**
ブラウズウィンドウが表示されます。

③ **「プリント」ボタン**
プリントメニューが表示されます。

④ **「楽しむ」ボタン**
楽しむメニューが表示されます。

⑤ **「バックアップ」ボタン**
画像をバックアップします。

⑥ **「アップグレード」ボタン**
OLYMPUS Master Plusへアップグレードできるウィンドウが表示されます。

## ●OLYMPUS Masterを終了するには

**1 メインメニューで「閉じる」ボタン ✖ をクリックします。**

- OLYMPUS Masterが終了します。

# カメラの画像をパソコンで表示する

## 取り込んで保存する

カメラの画像をパソコンに保存します。

**1　OLYMPUS Masterメインメニューで「画像を取り込む」ボタン をクリックします。**

- 取り込み元選択メニューが表示されます。

**2　「カメラから」ボタン をクリックします。**

- 取り込み元ウィンドウが表示されます。カメラ内のすべての画像が一覧表示されます。

**3　画像ファイルを選択し、「取り込み」ボタンをクリックします。**

- 取り込み完了のメッセージが表示されます。

**4　「今すぐ画像を見る」ボタンをクリックします。**

- ブラウズウィンドウに取り込んだ画像が表示されます。
- ブラウズウィンドウの「メニュー」をクリックすると、メインメニューに戻ります。

**ご注意**

- 画像の取り込み中はカメラのカードアクセスランプが点滅します。点滅している間は絶対に以下のことをしないでください。
  - 電池／カードカバーを開ける
  - 電池を取り外す
  - ACアダプタを抜き差しする

## ●カメラを取り外すには

カメラの画像をパソコンに取り込んだら、カメラを取り外すことができます。

### 1 カメラのカードアクセスランプが消えていることを確認します。

カードアクセスランプ

### 2 USBケーブルを抜く準備をします。

#### Windows 98SEの場合

1「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして、「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックし、メニューを表示させます。
2 メニューの「取り出し」をクリックします。

#### Windows Me/2000/XPの場合

1 システムトレイに表示されている「ハードウェアの取り外し」アイコン をクリックします。
2 表示されたメッセージをクリックします。
3「デバイスは安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

#### Macintoshの場合

1 デスクトップの「名称未設定」( または「NO_NAME」)アイコンをドラッグすると「ゴミ箱」アイコンが「取り出し」アイコンに変わりますので、そのまま「取り出し」アイコンの上にドロップしてください。

## 3 カメラから USB ケーブルを抜きます。

### ご注意

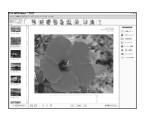
- Windows Me/2000/XPの場合：「ハードウェアの取り外し」をクリックした際、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラの画像データを読み込み中でないこと、またカメラの画像ファイルを開いていたアプリケーションが起動していないことを確認してください。確認後、「ハードウェアの取り外し」の操作を再度行い、その後ケーブルを外してください。

# 静止画／ムービーを見る

## 1 OLYMPUS Masterメインメニューで「画像を見る」ボタン をクリックします。

- ブラウズウィンドウが表示されます。

## 2 見たい静止画のサムネイルをダブルクリックします。

- ビューモードに切り換わり、画像が拡大されます。
- ブラウズウィンドウの「メニュー」をクリックすると、メインメニューに戻ります。

## ●ムービーを見るには

**1** **ブラウズウィンドウで見たいムービーのサムネイルをダブルクリックします。**

- ビューモードに切り換わり、ムービーの1コマ目が表示されます。

**2** **ムービー表示部下側の再生ボタン をクリックするとムービーが再生されます。**

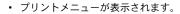
コントローラ各部の名称とはたらきは以下のとおりです。

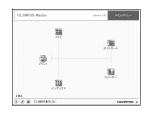
| | 項目 | 詳細 |
|---|---|---|
| 1 | 再生スライダー | スライダーを移動して、任意のフレームを指定できます。 |
| 2 | 時間表示 | 再生中の経過時間が表示されます。 |
| 3 | 再生(一時停止)ボタン | ムービーを再生します。再生中は一時停止ボタンになります。 |
| 4 | 1フレーム戻るボタン | 1つ前のフレームを表示します。 |
| 5 | 1フレーム進むボタン | 次のフレームを表示します。 |
| 6 | 停止ボタン | 再生を停止し、先頭のフレームに戻ります。 |
| 7 | 繰り返しボタン | ムービーが繰り返し再生されます。 |
| 8 | ボリュームボタン | ボリューム調整スライダーが表示されます。 |

# プリントする

フォト、インデックス、ポストカード、カレンダーなどのプリントメニューがあります。ここではフォトプリントを例に説明します。

**1** **OLYMPUS Masterメインメニューで「プリント」ボタン をクリックします。**

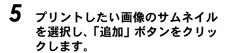
- プリントメニューが表示されます。

## 2 「フォト」ボタン をクリックします。

- フォトプリントウィンドウが表示されます。

## 3 フォトプリントウィンドウの「プリンタ設定」ボタンをクリックします。

- プリンタ設定画面が表示されますので、必要に応じてプリンタの設定を行います。

## 4 プリントするレイアウトやサイズなどを選択します。

- 日付または日時を入れてプリントしたいときは、「撮影日印刷」にチェックをつけて「日付」または「日時」を選択します。

## 5 プリントしたい画像のサムネイルを選択し、「追加」ボタンをクリックします。

- 選択した画像がレイアウト上にプレビュー表示されます。

## 6 プリントする部数を設定します。

9 パソコン接続

## 7 「プリント」ボタンをクリックします。

- プリントが開始されます。
- フォトプリントウィンドウの「メニュー」をクリックすると、メインメニューに戻ります。

# OLYMPUS Masterを使用せずにパソコンに画像を取り込んで保存する

このカメラはUSBストレージクラスに対応しています。OLYMPUS Masterを使用せずに付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、画像を取り込んで保存することもできます。接続できるパソコンの環境は以下のとおりです。

**Windows**：Windows 98/98SE/Me/2000 Professional/XP

**Macintosh**：Mac OS 9.0-9.2/X

### ご注意

- Windows 98/98SEをお使いの場合は、USBドライバのインストールが必要です。カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する前に、付属のOLYMPUS Master CD-ROMの、以下のフォルダのファイルをダブルクリックしてください。
  （お使いのパソコンのドライブ名）：¥USB¥INSTALL.EXE
- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
  - Windows 95/NT 4.0
  - Windows 95からアップグレードしたWindows 98/98SE
  - Mac OS 8.6以前（ただし、工場出荷時にUSB端子、USB MASS Storage Support 1.3.5を装備したMac OS 8.6は動作確認がされています。）
  - 拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン
  - 工場出荷時にOSがインストールされていないパソコンおよび自作パソコン

# 付録

オリンパスからのお知らせです。
- カメラを操作中エラーメッセージが表示されたとき
- パワースイッチを押しても電源が入らず途方にくれたとき
- 大事なカメラの保管方法が知りたいとき
- 取扱説明書で使われている用語の意味を知りたいときなどなど。そんなときぜひご一読ください。

# 困ったときは

## エラーコード

| 液晶モニタ表示 | 原因 | こうしましょう |
|---|---|---|
| カードを認識できません | カードが入っていません。<br>またはカードが奥までしっかりと入っていません。 | カードを入れてください。またはカードを正しく入れ直してください。<br>それでもこの表示が消えないときはカードをフォーマットしてください。<br>フォーマットできない場合、このカードはご使用になれません。 |
| このカードは使用できません | カードに問題があります。 | このカードは使用できません。新しいカードを入れてください。 |
| 書き込み禁止になっています | カードが書き込み禁止になっています。 | パソコンを使って読み取り専用の設定がされています。再度パソコンを使って設定を解除してください。 |
| 撮影可能枚数が0です | カードの撮影可能枚数、または時間が0のため、撮影できません。 | カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。 |
| カード残量がありません | カードに空き容量がなく、プリント予約やファンクション撮影など新たな記録をすることができません。 | カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。 |
| 画像が記録されていません | カードに記録画像がないため画像が再生できません。 | カードに画像が記録されていません。撮影してから再生してください。 |
| この画像は再生できません | 選択した画像に問題があり、再生できません。 | パソコンの画像ソフトなどで再生してください。それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。 |
| カードカバーが開いています | 電池／カードカバーが開いています。 | 電池／カードカバーを閉めてください。 |
| 日時を設定してください | はじめてカメラを使用するときや長時間電池を抜いていたときには、日時が初期設定に戻っています。 | 日時を設定してください。 |
| カードセットアップ<br>電源オフ<br>フォーマット<br>選択 決定 OK | カードがこのカメラで使用できません。またはカードがフォーマットされていません。 | カードをフォーマットしてください。<br>［電源オフ］を選択し、OKを押して新しいカードを入れてください。<br>［フォーマット］を選択し、OKを押してフォーマットを実行します。<br>フォーマットすると、カード内のデータはすべて消去されます。 |

# トラブルシューティング

## ●準備操作

| 原因 | こうしましょう | 参照ページ |
|---|---|---|
| カメラが動かない／ボタンを押しても動作しない | | |
| 電源が切れている | パワースイッチを押して、電源を入れてください。 | – |
| 電池残量が少なくなった | 電池を充電してください。 | – |
| 寒さで電池の性能が一時的に低下した | 電池をポケットに入れるなどして温めてからご使用ください。 | – |
| カメラがスリープモード（待機状態）になっている | シャッターボタンやズームレバーを操作してください。 | – |
| パソコンに接続している | パソコンと接続中、カメラは動作しません。 | – |

## ●撮影

| 原因 | こうしましょう | 参照ページ |
|---|---|---|
| シャッターボタンを押しても撮影ができない | | |
| 電池残量が少なくなった | 電池を充電してください。 | – |
| 再生モードになっている | モードダイヤルを▶以外にしてください。 | P.12 |
| フラッシュの充電が完了していない | 一度シャッターボタンから指をはなし、オレンジランプと⚡（フラッシュ充電中）マークの点滅が終わってから撮影してください。 | P.37 |
| カードの容量がいっぱいになった | 不要な画像を消すか、新しいカードを入れてください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。 | P.100 |
| 撮影中やカードの書き込み中に電池がなくなった（液晶モニタが消灯した。または電池残量マークのみが点滅している。） | 電池を充電してください。（カードアクセスランプが点滅中は、消灯するまでお待ちください。） | – |
| 液晶モニタのメモリゲージがすべて点灯している | メモリゲージの一番上が消灯するまで、お待ちください。 | – |
| カードに問題がある | 「エラーコード」でご確認ください。 | P.158 |

| 原因 | こうしましょう | 参照ページ |
|---|---|---|
| **液晶モニタが点灯しない** | | |
| モニタオフに設定されている | 撮影モードでOKボタンを押してトップメニューを表示し、ボタンを押して［モニタオン］に切り換えてください。 | P.23 |
| **ファインダ、または液晶モニタが見にくい** | | |
| カメラ内が結露*している | 電源を切ってしばらくおき、カメラ全体が環境温度になじんで乾燥するのを待ってからお使いください。 | — |
| 液晶モニタの明るさの設定が適切でない | ［モードメニュー］の［モニタ調整］で液晶モニタの明るさを調整してください。 | P.115 |
| 太陽光の下である | 太陽の光を手などでさえぎるか、ファインダを使って撮影してください。 | — |
| 撮影時に液晶モニタの画面に縦スジが入る | 晴天下のような明るい被写体にカメラを向けると、画面に縦スジが入ることがあります。故障ではありません。 | — |
| **画像ファイルに記録される日付が正しくない** | | |
| 日時が設定されていない | 日時を設定してください。お買い上げ時には日時の設定はされていません。 | P.116 |
| 電池を抜いて放置していた | 電池を抜いた状態で約3日放置すると、日時設定が解除されます。もう一度、日時を設定してください。 | P.116 |
| **設定した機能が電源を切ると元に戻ってしまう** | | |
| ［設定保持］が［しない］に設定されている | ［モードメニュー］の［設定保持］を［する］に設定してください。 | P.104 |
| **ピントが合わない** | | |
| 被写体との距離が近すぎる | 被写体との距離をはなして撮影してください。ズームがもっとも広角のときに8cmよりも近づいて撮影するときは、スーパーマクロモードに設定してください。 | P.36 |
| 被写体が暗い | ［モードメニュー］の［AFイルミネータ］を［オン］に設定してください。 | P.49 |
| AFが苦手な被写体である | マニュアルフォーカスにして手動でピントを合わせるか、フォーカスロックを使ってピントを合わせてください。 | P.51、24 |
| カメラ内が結露*した | 電源を切ってしばらくおき、カメラ全体が環境温度になじんで乾燥するのを待ってからお使いください。 | — |

| 原因 | こうしましょう | 参照ページ |
|---|---|---|
| 液晶モニタが消灯した | | |
| カメラがスリープモード（待機状態）になっている | シャッターボタンやズームレバーを操作してください。 | – |
| 液晶モニタを消灯して電源を切った | ［モードメニュー］の［設定保持］が［する］に設定されていると、電源を切る前の状態が記憶されています。液晶モニタを点灯させてから電源を切ってください。 | P.23、104 |
| フラッシュが発光しない | | |
| フラッシュを閉じている | フラッシュボタンを押して、フラッシュを起こしてください。 | P.37 |
| 明るい被写体である | フラッシュを強制的に発光させたい場合は、フラッシュモードを［強制発光］に設定してください。 | P.37 |
| 連写・高速連写・オートブラケット撮影が設定されている | 連写・高速連写・オートブラケット撮影ではフラッシュはご使用になれません。［モードメニュー］の［ドライブ］を［単写］に設定してください。 | P.72 |
| ムービー撮影をしている | ムービーモードではフラッシュはご使用になれません。🎥以外の撮影モードにしてください。 | P.70 |
| スーパーマクロ撮影をしている | スーパーマクロ撮影ではフラッシュはご使用になれません。［マクロ］を［オフ］または［🌷］に設定してください。 | P.36 |
| パノラマ撮影をしている | パノラマではフラッシュはご使用になれません。パノラマ撮影を解除してください。 | P.76 |
| 電池の消耗が早い | | |
| 寒い中で使用している | 低温下では電池の性能が低下します。カメラを防寒具や衣類の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。 | – |
| 電池残量が正しく表示されていない | カメラの消費電力が大きく変化する際、電池残量の警告表示なしで電源が切れる場合があります。電池を充電してください。 | – |
| ファインダ横の緑ランプとオレンジランプが同時に点滅している | | |
| 電池の残量がない | 電池を充電してください。 | – |

* 結露： 外気が寒いときに空気中にある水蒸気が急速に冷やされて水滴になること。
カメラが冷えた状態で急に暖かい部屋などに入れた場合に発生します。

## ●画像の再生

| 原因 | こうしましょう | 参照ページ |
|---|---|---|
| 撮影した画像のピントが合っていない | | |
| AFが苦手な被写体を撮影した | マニュアルフォーカスにして手動でピントを合わせるか、フォーカスロックを使ってピントを合わせてください。 | P.51、24 |
| シャッターボタンを押すときにカメラが動いてしまった（手ぶれ） | カメラを正しく構え、シャッターボタンを静かに押して撮影してください。 | P.22 |
| フラッシュが必要な暗い状況でフラッシュを閉じていた | フラッシュを起こしてください。シャッター速度が遅くなると手ぶれが起きやすくなります。三脚をご使用になるか、フラッシュモードを[オート]にして撮影してください。 | P.37 |
| 被写体が暗い | ［モードメニュー］の［AFイルミネータ］を［オン］に設定してください。 | P.49 |
| レンズが汚れていた | レンズの汚れを拭きとってください。レンズブロワー（市販）でレンズのほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパー（市販）でやさしく拭いてください。レンズを汚れたままにしておくと、かびが生えることがあります。 | P.167 |
| 撮影した画像が明るすぎる | | |
| フラッシュの設定が「強制発光」になっていた | ［強制発光］以外のフラッシュモードに設定してください。 | P.37 |
| 中央部に暗いものがある | 中央部に暗いものがあると周辺部が明るく写ります。露出補正をアンダー（－）側に設定してください。 | P.58 |
| ISO感度が高感度設定になっている | ［ISO感度］を［オート］または［80］などの低感度に設定してください。 | P.57 |
| **A**（**M**）モードで小さい絞り値になっている | 絞り込んで（絞り値を大きくして）ください。または、**P**モードに設定してください。 | P.44 |
| **S**（**M**）モードで遅いシャッター速度に設定されている | シャッター速度を速くしてください。または、**P**モードに設定してください。 | P.45 |

| 原因 | こうしましょう | 参照ページ |
|---|---|---|
| 撮影した画像が暗い | | |
| フラッシュを指で覆ってしまった | カメラを正しく構え、フラッシュを覆わないように気をつけてください。 | P.22 |
| 撮りたいものがフラッシュ撮影範囲より遠かった | フラッシュ撮影範囲内で撮影してください。 | P.37 |
| フラッシュを閉じている | フラッシュボタンを押して、フラッシュを起こしてください。 | P.37 |
| 逆光状態で小さい被写体を撮影した | フラッシュモードを［強制発光］に設定するか、測光を［スポット］に設定して撮影してください。 | P.37、53 |
| 連写モードで撮影した | 連写中はシャッター速度の最長時間が短くなるので、暗い場所では通常よりも暗く写るおそれがあります。［モードメニュー］の［ドライブ］を［単写］に設定してください。 | P.71 |
| 中央部に明るいものがある | 中央部に明るいものがあると全体が暗く写ります。露出補正をオーバー（+）側に設定してください。 | P.58 |
| **A**（**M**）モードで大きい絞り値になっている | 絞りを開いて（絞り値を小さくして）ください。または、**P**モードに設定してください。 | P.44 |
| **S**（**M**）モードで速いシャッター速度に設定されている | シャッター速度を遅くしてください。または、**P**モードに設定してください。 | P.45 |
| 室内で撮影した画像の色がおかしい | | |
| 照明の色が影響した | 照明に合わせてホワイトバランスを設定してください。 | P.59 |
| 撮影する構図の中に白の基準になるものがなかった | 白いものを入れて撮影するか、フラッシュモードを［強制発光］に設定して撮影してください。 | P.37 |
| ホワイトバランスの設定を間違えた | 照明に合わせて、もう一度ホワイトバランスを設定し直してください。 | P.59 |
| 画像の一部が暗い | | |
| レンズに指やストラップがかかってしまった | カメラを正しく構え、レンズに指やストラップがかからないように気をつけてください。 | P.22 |

| 原因 | こうしましょう | 参照ページ |
|---|---|---|
| 画像のハレーション部に不自然な色がつく | | |
| 紫外線の影響で輝度差の大きい被写体（木漏れ日、夜景での明るい窓の枠、直射日光下の金属の反射など）を撮影すると、発生する場合があります。 | UVフィルターを使用します。全体の色再現バランスを崩す場合がありますので、左記の条件下のみでの使用をおすすめします。<br>それでも色がつく場合は、パソコンでレタッチソフトを使用するなどして画像を修正してください。レタッチの方法は、各ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。 | – |
| 液晶モニタ上で再生できない | | |
| 電源が入っていない | モードダイヤルを▶に合わせてから、パワースイッチを押して、電源を入れてください。 | P.12 |
| 撮影モードになっている | **QUICK VIEW**ボタンを押すか、モードダイヤルを▶にしてください。 | P.12、13 |
| カードに画像が記録されていない | 液晶モニタに「画像が記録されていません」と表示されます。撮影してから再生してください。 | – |
| カードに問題がある | 「エラーコード」でご確認ください。 | P.158 |
| テレビに接続している | AVケーブルを接続しているときは液晶モニタは点灯しません。 | P.97 |
| 1コマ消去・全コマ消去ができない | | |
| 画像がプロテクトされている | O━マークの付いた画像を表示して、O━ボタンを押してプロテクトを解除してください。 | P.99 |
| カメラとテレビを接続してもテレビに映像がでない | | |
| カメラの映像出力信号が間違っている | 使用する地域の映像信号にビデオ出力の設定を合わせてください。 | P.98 |
| テレビの映像信号の設定が間違っている | テレビをビデオ（映像）入力モードにしてください。 | P.97 |
| 液晶モニタが見にくい | | |
| 液晶モニタの明るさの設定が適切でない | ［モードメニュー］の［モニタ調整］で液晶モニタの明るさを調節してください。 | P.115 |
| 太陽光の下である | 太陽の光を手などでさえぎるか、ファインダを使って撮影してください。 | – |

## ●パソコンやプリンタとの接続

| 原因 | こうしましょう | 参照ページ |
|---|---|---|
| プリンタと接続できない | | |
| USBケーブルでプリンタに接続したあと、液晶モニタで［PC］を選択した | USBケーブルを抜いて最初の手順からやり直してください。 | P.125 |
| プリンタがPictBridgeに対応していない | ご使用のプリンタの取扱説明書をご確認ください。または、プリンタメーカーにお尋ねください。 | – |
| パソコンでカメラが認識されない | | |
| USBドライバがインストールできていない | OLYMPUS Masterをインストールしてください。 | P.144 |
| カメラの電源が入っていない | モードダイヤルを▶に合わせてから、パワースイッチを押して、カメラの電源を入れてください。 | P.12 |

# アフターサービス

●保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

●本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。

●保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。

●当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に当社で保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにお問い合わせください。

●海外で故障・不具合が生じた場合は、オリンパス代理店リストに記載のⓌマークが付いた販売店・サービスステーションまでご依頼ください。

●本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。

●修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

# お手入れ

## ●カメラのお手入れ

### カメラの外側

- 柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、硬く絞ってから、汚れを拭き取ります。そのあと、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を硬く絞って拭き取ります。

### 液晶モニタとファインダ

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

### レンズ

- レンズブロワー（市販）でほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

### カード

- 乾いた柔らかい布で拭きます。

**ご注意**

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- レンズを汚れたままにしておくと、かびが生えることがあります。

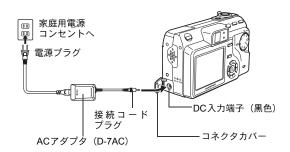
## ●カメラの保管

- カメラを長期間使用しないときは、電池やACアダプタ、カードを取り外してから風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。

**ご注意**

- 薬品を扱うような場所での保管は腐食などの原因になるため避けてください。

# ACアダプタ（別売）

パソコンに画像をダウンロードするなど、時間がかかる作業を行なう場合には、ACアダプタのご使用をおすすめします。
家庭用コンセントを使う場合は専用のACアダプタ（D-7AC）が必要です。専用のACアダプタ以外はご使用にならないでください。

## ヒント

- カメラに電池が入っているときにACアダプタを使用すると、カメラ内の電池を充電することができます。
- 通常は約6時間（目安）で充電が完了します。
- 充電中はセルフタイマー／リモコンランプがゆっくり点滅します。

## ご注意

- 電池を使用してカメラをパソコンやプリンタに長時間接続しているとき、途中で電池残量がなくなると画像データにトラブルが生じることがあります。ACアダプタのご使用をおすすめします。なお、接続中には、ACアダプタを抜き差ししないでください。
- カメラの電源が入っているときに電池やACアダプタを抜き差ししないでください。カメラに設定されている設定値や機能にトラブルが生じる場合があります。
- ACアダプタの取扱説明書を必ずお読みください。
- カメラ内の電池の充電中にエラーが発生すると、セルフタイマー／リモコンランプが速く点滅します。電池を入れ直すか、プラグをつなぎ直してください。

# 使用上のご注意

## 使用条件について

● 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
 • 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
 • 砂、ほこり、ちりの多い場所
 • 火気のある場所
 • 水に濡れやすい場所
 • 激しい振動のある場所

● カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。

● レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。CCDの退色・焼きつきを起こすことがあります。

● 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。

● カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。

● カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

● 三脚に取り付ける際は、カメラを回さず、三脚のネジを回してください。

● 本体の電気接点部には手を触れないでください。

● レンズに無理な力を加えないでください。

## 電池について

● 当社製リチウムイオン電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。

● 電池の（+）（−）端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。

● 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。

● 一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。

● リチウムイオン電池の使用推奨温度範囲は以下のとおりです。
- 放電（機器使用時）：0〜40°C
- 充電：0〜40°C
- 保存：–20〜30°C

上記温度範囲外での使用は、電池性能の低下・寿命の短縮の原因となります。

● 撮影条件、使用環境および電池により、撮影枚数が減少することがあります。

● 長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。

● Li-ion 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、（+）（–）端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。詳しくは社団法人電池工業会のホームページ（http://www.baj.or.jp/recycle/）をご覧ください。

## カードについて

● カードは精密電子機器です。曲げたり、衝撃を与えないでください。また静電気には十分ご注意ください。カードに保存しているデータは、不揮発性の半導体メモリ内に保存されますが、間違った扱いをするとデータが破壊されます。

● カードを水に濡らしたり、ほこりの多い場所に放置しないでください。

● 高温多湿の場所でのご使用・保管は避けてください。

● 発熱物・発火物の近くでのご使用は避けてください。

● カードの金属部分に指紋や汚れが付着すると、データの読み書きが正常に行われないことがあります。その場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

● **カードには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。その場合は、新しいものとお取り換えください。**

● **他の媒体に保存したデータの損害、またカード内のデータ消滅に関し、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。**

## 液晶モニタについて

本製品は背面の表示に、液晶モニタを使用しています。

- カメラを太陽などの強い光線に向けると、内部を破損するおそれがあります。
- 液晶モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。
- 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めのとき、液晶モニタにギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。記録される画像には影響ありません。
- 一般に低温になるにしたがって液晶モニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した液晶モニタは、常温に戻ると回復します。
- **本製品の液晶モニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

# 用語解説

### 画素数
画像を形成する最小単位の点。画素数が多いほど、サイズの大きな画像を作るのに適しています。

### 画像サイズ
画像を構成する点（ピクセル）の数で表した画像の大きさのこと。例えば、640 × 480で撮影した画像は、パソコンのモニタの設定が640 × 480のときではモニタ全体に表示されますが、1024 × 768ではモニタの一部分にだけ表示されます。

### 銀塩写真
ハロゲン化銀を使った、従来からあるフィルムを用いた写真のことをいいます。

### けられ
撮影画面内に邪魔なものが入り、被写体が完全に写らないとき、またファインダで覗いたときに、撮影レンズの鏡胴で視野の一部が見えないことも、けられといいます。撮影レンズに不適切なフードを使った場合など、視野の四隅が暗くなることもいいます。

### コントラスト検出方式
被写体までの距離を測るのに使用している方法。被写体のコントラストの大小を検出することで、ピントがあったかどうかを検出します。

### 絞り
レンズを通して入ってくる光量を調節する機構。値が小さいほど光が多く入り、値が大きいほど入る光が少なくなります。そのレンズで使える最小の絞り値にすることを開放するといい、絞り値を大きくするのを絞り込むといいます。

### スリープモード（待機状態）
電池を節約するためのモード。電源を入れたままカメラを一定時間放置すると、電池を節約するためにカメラは動作を停止します。シャッターボタンや十字ボタンなどの操作をすると、すぐにカメラは動作します。

### 被写界深度
ある距離にピントを合わせたとき、その距離にある被写体がはっきり写るのと同時に被写体の前後でもピントが合っている範囲があります。このピントの合っている前後の奥行きのことをいいます。

### 露出
画像が写るために得る光の量。シャッター速度と絞りでレンズを通して入ってくる光の量を調節して、露出を決めます。

## ●アルファベット順

### Aモード（aperture priority mode）
絞り優先AEモード。絞り値は自分で決め、カメラが絞り値にしたがってシャッター速度を変化させ、適正な露出で撮影するモード。

### AE（automatic exposure）
自動露出。カメラが自動的に露出を決める方式。このカメラには、絞りとシャッター速度をカメラに任せるPモード、絞り値を決めてシャッター速度をカメラに任せるAモード、シャッター速度を決めて絞り値をカメラに任せるSモードの3種類のAEがあります。Mモードでは、絞り値とシャッター速度の両方を決める必要があります。

### CCD（charge coupled device）
レンズを通して入ってきた光りを受けて、電気信号に変換する素子。CCDで受けた光をRGBの信号に変換して、一つの画像を作り出します。

### DCF（design rule for camera file system）
電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された、画像ファイルに関する規格。

### DPOF（digital print order format）
デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するフォーマット。画像を保存したカードにプリントしたい画像の指定や、枚数の指定情報を記録することで、DPOF対応の写真店やプリンタでプリントアウトを簡単に行うことができます。

### ESP測光（electro selective pattern）／デジタルESP測光
CCD出力を分割測光によって、周辺と中心部を個別に測光し、演算して露出を決める測光方法。

### EV（exposure value）
露出値。絞り値がF1、シャッター速度が1秒のときの光量をEV0と規定し、それより絞りを一段絞ったり、シャッター速度を一段早くするごとに、数値は1ずつ多くなります。EVは明るさとISO感度でも表せます。

### ISO
国際標準化機構（ISO）の規格で決められた、フィルム感度の表示法。通常「ISO100」のように表記します。数値が大きくなるほど、光に対する感度が強くなり、少ない光でも感光します。

### JPEG（joint photographic experts group）
静止画の圧縮方式。このカメラで撮影した写真（画像）は、画質をSHQ／HQ／SQ1／SQ2に設定すると、JPEG形式でカードに記録されます。パソコンに読み込めば、グラフィックス用のアプリケーションソフトで加工したり、インターネット閲覧ソフト（ブラウザ）で見ることができます。

### Mモード（manual mode）
シャッター速度と絞り値を、自分で設定して撮影するモード。

**NTSC/PAL（National Television Systems Committee/Phase Alternating Line）**
テレビの放送方式。NTSCは主に日本、北米、韓国で使用され、PALは主にヨーロッパ諸国や中国で使用されています。

**Pモード（program mode）**
プログラムAEモード。カメラが自動的に、適正な絞り値とシャッター速度を設定して撮影するモード。

**PictBridge**
異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

**Sモード（shutter speed priority mode）**
シャッター速度優先AEモード。シャッター速度を自分で決め、カメラがシャッター速度にしたがって絞り値を変化させ、適正な露出で撮影するモード。

**TFT（thin-film transistor）液晶**
薄膜で作られたトランジスタを利用したカラー液晶モニタ。

**TIFF（tagged image file format）**
モノクロやカラーの画像データを保存するためのフォーマット。スキャナ用やグラフィックス用のアプリケーションで扱えます。このカメラでは圧縮しない画像のフォーマットに採用しています。

**TTL（through the taking lens）方式**
カメラ内部に受光体を置き、レンズを通ってきた光を直接測光する露出調節機構。

# 資料

1章から9章で説明したカメラのすべての機能を網羅的に紹介しています。
カメラのボタンや部位の名前、液晶モニタに表示されるアイコンの名前と意味、トップメニュー・モードメニューの一覧など、必要に応じてご覧ください。
索引もありますので、目次からは見つからない機能や項目が記載されているページを探すときにお使いください。また、「各部の名前」や「メニュー一覧」も索引の役目をはたしますので、有効にご活用ください。

# メニュー一覧

● 撮影メニュー（P/A/S/M/My/SCENE）

| トップメニュー | タブ | 項目 | 選択肢 | 参照頁 |
|---|---|---|---|---|
| モードメニュー | 撮　影 | マクロ | オフ／（マクロ）／（スーパーマクロ） | P.36 |
| | | ドライブ | 単写／連写／高速連写／**BKT** | P.71 |
| | | ISO感度 | オート／80／100／200／400 | P.57 |
| | | SCENE※1 | （ポートレート）／（スポーツ）／（風景＋人物）／（風景）／（夜景） | P.32 |
| | | My1/2/3/4※2 | | P.47 |
| | | フラッシュ補正 | –2.0～+2.0 | P.41 |
| | | スローシンクロ | 先幕効果／赤目･先幕効果／後幕効果 | P.41 |
| | | ノイズリダクション※3 | オフ／オン | P.65 |
| | | デジタルズーム | オフ／オン | P.35 |
| | | フルタイムAF | オフ／オン | P.48 |
| | | パノラマ※4 | | P.76 |
| | | ファンクション撮影 | オフ／モノクロ／セピア | P.75 |
| | | 撮影情報表示 | オフ／オン | P.67 |
| | | ヒストグラム表示 | オフ／オン／ダイレクト | P.66 |
| | | スチル録音 | オフ／オン | P.79 |
| | | 罫線表示 | オフ／オン | P.68 |
| | | インターバル撮影 | オフ／オン | P.73 |
| | 画　像 | 画質モード | RAW／TIFF／SHQ／HQ／SQ1／SQ2 | P.26 |
| | | ホワイトバランス | オート／プリセット／ワンタッチ | P.59 |
| | | WB補正 | RED7～BLUE7 | P.62 |
| | | シャープネス | –5～+5 | P.63 |
| | | コントラスト | –5～+5 | P.64 |
| | | 彩度 | –5～+5 | P.64 |
| | カード | フォーマット | フォーマット／中止 | P.101 |

## ● 撮影メニュー（P/A/S/M/MY/SCENE）

| トップメニュー | タブ | 項目 | 選択肢 | 参照頁 |
|---|---|---|---|---|
| モードメニュー | 設　定 | 設定保持 | する／しない | P.104 |
| | | (言語アイコン) | 日本語／ENGLISH | P.106 |
| | | PW ON設定 | 画面／音 | P.106 |
| | | PW OFF設定 | 画面／音 | P.106 |
| | | レックビュー | オフ／オン | P.107 |
| | | ビープ音 | オフ／小／大 | P.109 |
| | | 操作音 | オフ／1／2 | P.110 |
| | | シャッタ音 | オフ／1／2 | P.110 |
| | | マイモード設定 | 現設定／クリア／カスタム | P.111 |
| | | ファイル名メモリー | リセット／オート | P.114 |
| | | ピクセルマッピング | | P.115 |
| | | モニタ調整 | | P.115 |
| | | 日時設定 | | P.116 |
| | | m/ft設定 | m／ft | P.117 |
| | | ビデオ出力 | NTSC／PAL | P.98 |
| | | AFイルミネータ | オフ／オン | P.49 |
| | | ショートカット設定 | A／B | P.118 |
| | | カスタムボタン設定 | | P.120 |
| （マクロ） | | | ショートカットで設定した機能 | |
| （画質モード） | | | ショートカットで設定した機能 | |
| モニタオン／オフ | | | モニタオフ／モニタオン | P.23 |

※1 SCENEモードでのみ選択できます。
※2 MYモードでのみ選択できます。
※3 SCENEモードでは選択できません。
※4 A/S/Mモードでは選択できません。

資料

11

## ● 撮影メニュー（🎥）

| トップメニュー | タブ | 項目 | 選択肢 | 参照頁 |
|---|---|---|---|---|
| モードメニュー | 撮　影 | マクロ | オフ／🌷／S🌷 | P.36 |
| | | ISO感度 | オート／80／100／200／400 | P.57 |
| | | デジタルズーム | オフ／オン | P.35 |
| | | フルタイムAF | オフ／オン | P.48 |
| | | ムービー録音 | オフ／オン | P.80 |
| | | ファンクション撮影 | オフ／モノクロ／セピア | P.75 |
| | 画　像 | ホワイトバランス | オート／プリセット／ワンタッチ | P.59 |
| | | WB補正 | RED7～BLUE7 | P.62 |
| | | シャープネス | –5～+5 | P.63 |
| | | コントラスト | –5～+5 | P.64 |
| | | 彩度 | –5～+5 | P.64 |
| | カード | フォーマット | フォーマット／中止 | P.101 |
| | 設　定 | 設定保持 | する／しない | P.104 |
| | | 🗣☰ | 日本語／ENGLISH | P.106 |
| | | PW ON設定 | 画面／音 | P.106 |
| | | PW OFF設定 | 画面／音 | P.106 |
| | | ビープ音 | オフ／小／大 | P.109 |
| | | 操作音 | オフ／1／2 | P.110 |
| | | ファイル名メモリー | リセット／オート | P.114 |
| | | ピクセルマッピング | | P.115 |
| | | モニタ調整 | | P.115 |
| | | 日時設定 | | P.116 |
| | | ビデオ出力 | NTSC／PAL | P.98 |
| デジタルズーム | | | オフ／オン | P.35 |
| 画質モード | | | SHQ／HQ／SQ1／SQ2 | P.26 |
| モニタオン／オフ | | | モニタオフ／モニタオン | P.23 |

## ● 再生メニュー（▶）静止画のとき

| トップメニュー | タブ | 項目 | 選択肢 | 参照頁 |
|---|---|---|---|---|
| モードメニュー | 再　生 | 録音 | | P.93 |
| | 編　集 | RAW編集 | | P.89 |
| | | リサイズ | 640 × 480／320 × 240／中止 | P.90 |
| | | トリミング | 新規作成／中止 | P.91 |
| | | 赤目補正 | | P.92 |
| | カード | 全コマ消去 | 消去／中止 | P.101 |
| | | フォーマット | フォーマット／中止 | P.101 |
| | 設　定 | 設定保持 | する／しない | P.104 |
| | | (言語アイコン) | 日本語／ENGLISH | P.106 |
| | | PW ON設定 | 画面／音 | P.106 |
| | | PW OFF設定 | 画面／音 | P.106 |
| | | 画面登録 | | P.108 |
| | | 再生音量 | | P.109 |
| | | ビープ音 | オフ／小／大 | P.109 |
| | | 操作音 | オフ／1／2 | P.110 |
| | | モニタ調整 | | P.115 |
| | | 日時設定 | | P.116 |
| | | ビデオ出力 | NTSC／PAL | P.98 |
| | | インデックス表示 | 4／9／16 | P.84 |
| | | スライドショー設定 | 標準／スライド／フェード／ズーム | P.86 |
| スライドショー | | | | P.86 |
| 情報表示 | | | | P.98 |
| ヒストグラム表示 | | | | P.99 |

## ● 再生メニュー（▶）ムービーのとき

| トップメニュー | タブ | 項目 | 選択肢 | 参照頁 |
|---|---|---|---|---|
| モードメニュー | 編　集 | インデックス作成 | 決定／再設定／中止 | P.94 |
| | | ムービー編集 | 決定／再設定／中止 | P.95 |
| | カード | 全コマ消去 | 消去／中止 | P.101 |
| | | フォーマット | フォーマット／中止 | P.101 |
| | 設　定 | 設定保持 | する／しない | P.104 |
| | | （言語アイコン） | 日本語／ENGLISH | P.106 |
| | | PW ON設定 | 画面／音 | P.106 |
| | | PW OFF設定 | 画面／音 | P.106 |
| | | 再生音量 | | P.109 |
| | | ビープ音 | オフ／小／大 | P.109 |
| | | 操作音 | オフ／1／2 | P.110 |
| | | モニタ調整 | | P.115 |
| | | 日時設定 | | P.116 |
| | | ビデオ出力 | NTSC／PAL | P.98 |
| | | インデックス表示 | 4／9／16 | P.84 |
| | | スライドショー設定 | 標準／スライド／フェード／ズーム | P.86 |
| ムービー再生 | | | | P.88 |
| 情報表示 | | | | P.98 |

# 初期設定一覧

各機能は工場出荷時には下記のように設定されています。

● **撮影モード**

| | |
|---|---|
| 絞り値 | F2.8 |
| シャッター速度 | 1/1000 |
| ズーム | 38mm |
| モニタ | オン |
| 露出補正 | 0.0 |
| フラッシュモード | **A**、**S**、**M**、**P**、SCENE ：オート発光<br>：発光禁止 |
| AF/MF | AF |
| セルフタイマー／リモコン | オフ |
| 測光 | ESP |
| マクロ | オフ |
| ドライブ | 単写 |
| オートブラケット撮影 | ±1.0EV、3枚 |
| ISO感度 | オート（**A**、**S**、**M**：80） |
| 1/2/3/4 | マイモード1 |
| SCENEモード | |
| フラッシュ補正 | 0.0 |
| スローシンクロ | 先幕効果 |
| ノイズリダクション | オフ（：オンに固定） |
| デジタルズーム | オフ |
| フルタイムAF | オフ |
| AF方式 | **A**、**S**、**M**、**P**、SCENE ：iESP<br>：iESPに固定 |
| パノラマ | オフ |
| ファンクション撮影 | オフ |
| 撮影情報表示 | オフ |
| AFターゲット選択 | 中央 |
| ヒストグラム表示 | オフ |
| スチル録音 | オフ |
| 罫線表示 | オフ |

| インターバル撮影 | オフ |
|---|---|
| インターバル撮影設定 | 2枚、1分間隔 |
| ムービー録音 | オン |
| 画質モード | **A**、**S**、**M**、**P**、**SCENE**：HQ（3072 × 2304）<br>ムービー：HQ（640 × 480） |
| SHQ設定 | 3072 × 2304 |
| HQ設定 | 3072 × 2304 |
| SQ1設定 | 1600 × 1200　標準 |
| SQ2設定 | 640 × 480　標準 |
| ホワイトバランス | オート |
| WB補正 | 補正なし |
| シャープネス | ±0 |
| コントラスト | ±0 |
| 彩度 | ±0 |
| レックビュー | オン |
| ファイル名メモリー | リセット |
| m/ft設定 | m |
| ショートカット設定 | A：マクロ、B：画質モード |
| カスタムボタン設定 | AEロック |
| シャッタ音 | 1ー大 |
| AFイルミネータ | オン |

## ● 再生モード

| | |
|---|---|
| 情報表示 | オフ |
| ヒストグラム表示 | オフ |
| プロテクト | オフ |
| 回転再生 | 0° |
| プリント予約 | オフ |
| インデックス表示 | 9 |
| スライドショー設定 | スライド |
| 録音 | オフ |
| 再生音量 | 3 |

## ● その他

| | |
|---|---|
| 設定保持 | しない |
| (言語アイコン) | 日本語 |
| PW ON設定 | 画面：オフ　音：オフ |
| PW OFF設定 | 画面：オフ　音：オフ |
| モニタ調整 | 標準 |
| 日時設定 | 年月日 2004.01.01 00:00 |
| ビデオ出力 | NTSC |
| ビープ音 | 大 |
| 操作音 | 大 |

# 撮影モード別設定可能な機能

MYモードでは、選択した撮影モードによって設定可能な機能は異なります。

<table>
<tr><th colspan="2">モード<br>機能</th><th>SCENE</th><th>A</th><th>S</th><th>M</th><th>P</th><th></th></tr>
<tr><td colspan="2">ズーム</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">デジタルズーム</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">AF方式</td><td colspan="5">○</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">フルタイムAF</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">AFターゲット選択</td><td colspan="5">○</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">マニュアルフォーカス</td><td colspan="5">○</td><td>−</td></tr>
<tr><td rowspan="7">フラッシュモード</td><td>オート発光</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">−</td><td>○</td><td>−</td></tr>
<tr><td>赤目軽減発光</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">−</td><td>○</td><td>−</td></tr>
<tr><td>強制発光</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">−</td><td>○</td><td>−</td></tr>
<tr><td>先幕効果</td><td colspan="5">○</td><td>−</td></tr>
<tr><td>赤目・先幕効果</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">−</td><td>○</td><td>−</td></tr>
<tr><td>後幕効果</td><td colspan="5">○</td><td>−</td></tr>
<tr><td>発光禁止</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">フラッシュ補正</td><td colspan="5">○</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">スローシンクロ設定</td><td colspan="5">○</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット測光</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">マルチ測光</td><td colspan="3">○</td><td>−</td><td>○</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">AEロック</td><td colspan="5">○</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">AFロック</td><td colspan="5">○</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">マクロ撮影</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">スーパーマクロ撮影</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">セルフタイマー撮影</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">連写・高速連写</td><td colspan="5">○※1</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">オートブラケット撮影</td><td colspan="3">○※1</td><td>−</td><td>○</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">インターバル撮影</td><td colspan="5">○</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファンクション撮影</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">スチル録音</td><td colspan="5">○</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">ムービー録音</td><td colspan="5">−</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">パノラマ撮影</td><td>○</td><td colspan="3">−</td><td>○</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">画質モード</td><td colspan="6">○</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>モード / 機能</th><th>SCENE</th><th>A</th><th>S</th><th>M</th><th>P</th><th></th></tr>
<tr><td>ISO感度</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>露出補正</td><td colspan="3">○</td><td>－</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランス</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>WB補正</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>シャープネス</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>コントラスト</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>彩度</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>ノイズリダクション</td><td>－※1</td><td colspan="4">○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>撮影情報表示</td><td colspan="5">○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ヒストグラム表示</td><td colspan="3">○</td><td>－</td><td>○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>設定保持</td><td colspan="6">○※2</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>PW ON設定</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>PW OFF設定</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>レックビュー</td><td colspan="5">○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>罫線表示</td><td colspan="5">○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>マイモード設定</td><td colspan="5">○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ファイル名メモリー</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>ピクセルマッピング</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>モニタ調整</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>日時設定</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>m/ft設定</td><td colspan="5">○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ビデオ出力</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>ショートカット設定</td><td colspan="5">○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>カスタムボタン設定</td><td colspan="5">○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ビープ音</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>シャッタ音</td><td colspan="5">○</td><td>－</td></tr>
</table>

○：設定可能　　－：設定不可

※1 モードをのぞく
※2 モードをのぞく

# 各部の名前

## カメラ

ズームレバー（W/T・Q）☞P.34, 82, 83, 84

シャッターボタン

リモコン受信窓 ☞P.78

パワースイッチ（POWER）

AF イルミネータ ☞P.49

フラッシュ ☞P.37

録音マイク ☞P.79, 80, 93

スピーカ

レンズ

セルフタイマー／リモコンランプ ☞P.74, 78

DC 入力端子 ☞P.168

コネクタカバー ☞P.97, 125, 147

コネクタカバー ☞P.168

マルチコネクタ ☞P.97, 125, 147

三脚穴

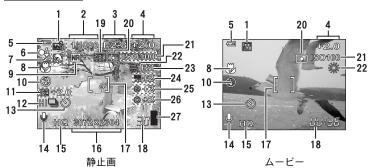
電池／カードカバー

フラッシュボタン ☞P.37
ファインダ ☞P.23
AE ロック／カスタムボタン（AEL／）☞P.14, 50, 53, 55, 120
回転再生ボタン（）☞P.16, 87
AE/AF ボタン ☞P.13, 47, 48, 53
消去ボタン（）☞P.15, 100
セルフタイマー／リモコンボタン（）☞P.13, 74, 78
プリント予約ボタン（）☞P.16, 135
フラッシュモードボタン（）☞P.14, 37
プロテクトボタン（）☞P.16, 99
ストラップ取付部
モードダイヤル ☞P.12
カードアクセスランプ ☞P.152
クイックビューボタン（QUICK VIEW）☞P.15
十字ボタン（）☞P.19, 82
OK ／メニューボタン（）☞P.14, 19
液晶モニタ ☞ P.23, 115, 188
OLYMPUS
AE/AF
AEL
QUICK VIEW
OK
SCENE
P
A
S
M
オレンジランプ ☞ P.40
緑ランプ ☞ P.24

# 液晶モニタの表示

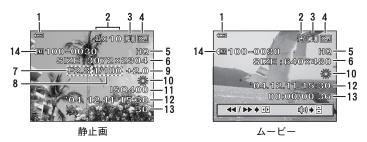
画面に表示される情報量を［情報表示］機能のオン／オフで選択できます。下の画面は［情報表示］の機能をオンにしたときの画面です。☞「情報表示」（P.98）

## ●撮影モード

静止画　ムービー

| | 項目 | 表示例 | 参照頁 |
|---|---|---|---|
| 1 | 撮影モード | P、A、S、M、SCENE、🎥、My1<br>人物、スポーツ、人物風景、風景、夜景 | P.12<br>P.32 |
| 2 | シャッター速度 | 15"〜1/2000 | P.45 |
| 3 | 絞り値 | F2.8〜F8.0 | P.44 |
| 4 | 露出補正<br>露出差 | –2.0〜+2.0<br>–3.0〜+3.0 | P.58<br>P.46 |
| 5 | 電池残量 | 🔋、🔋 | – |
| 6 | 緑ランプ | ○ | P.24 |
| 7 | フラッシュ発光予告<br>手ぶれ警告・<br>フラッシュ充電 | ⚡　点灯<br>⚡　点滅 | P.40 |
| 8 | マクロ<br>スーパーマクロ<br>マニュアルフォーカス | 🌷<br>S🌷<br>MF | P.36<br>P.36<br>P.51 |
| 9 | ノイズリダクション | NR | P.65 |
| 10 | フラッシュモード | 👁、⚡、⚡禁止、⚡SLOW1、👁⚡SLOW1、⚡SLOW2 | P.37 |
| 11 | フラッシュ補正 | ⚡± –2.0〜+2.0 | P.41 |

| | 項目 | 表示例 | 参照頁 |
|---|---|---|---|
| 12 | ドライブ<br>インターバル撮影 | 、、HI、BKT | P.71<br>P.73 |
| 13 | セルフタイマー<br>リモコン | | P.74<br>P.78 |
| 14 | 録音 | | P.79、80、93 |
| 15 | 画質 | RAW、TIFF、SHQ、HQ、SQ1、SQ2 | P.26 |
| 16 | 画像サイズ | 3072 × 2304、2592 × 1944、1280 × 960など | P.28 |
| 17 | AFターゲットマーク | [ ] | P.24 |
| 18 | 撮影可能枚数<br>撮影可能時間 | 30<br>00:36 | P.28<br>P.70 |
| 19 | AEロック<br>AEメモリ | AEL<br>MEMO | P.55 |
| 20 | スポット測光 | | P.53 |
| 21 | ISO感度 | ISO80、ISO100、ISO200、ISO400 | P.57 |
| 22 | ホワイトバランス | 、、、1、2、3、 | P.59 |
| 23 | WB補正 | B1～B7、R1～R7 | P.62 |
| 24 | 彩度 | RGB –5～+5 | P.64 |
| 25 | シャープネス | S –5～+5 | P.63 |
| 26 | コントラスト | C –5～+5 | P.64 |
| 27 | メモリゲージ | 、、、 | – |

## ●再生モード

静止画　　　ムービー

| | 項目 | 表示例 | 参照頁 |
|---|---|---|---|
| 1 | 電池残量 | 、 | – |
| 2 | プリント予約・枚数<br>ムービー | ×10 | P.135<br>P.88 |
| 3 | 録音 | | P.79 |
| 4 | プロテクト | | P.99 |
| 5 | 画質 | RAW、TIFF、SHQ、HQ、SQ1、SQ2 | P.26 |
| 6 | 画像サイズ | 3072 × 2304、2592 × 1944、1280 × 960など | P.28 |
| 7 | 絞り値 | F2.8～F8.0 | P.44 |
| 8 | シャッター速度 | 15"～1/2000 | P.45 |
| 9 | 露出補正 | –2.0～+2.0 | P.58 |
| 10 | ホワイトバランス | WB AUTO、、、、1、2、3、 | P.59 |
| 11 | ISO感度 | ISO80、ISO100、ISO200、ISO400 | P.57 |
| 12 | 日時 | ’04.12.11　15:30 | P.116 |
| 13 | コマ番号<br>再生時間／録画時間 | 30<br>00:00/00:36 | P.134<br>P.88 |
| 14 | ファイル番号 | FILE　100 - 0030 | P.114<br>P.134 |

### ご注意

• ムービーの場合、画像を選択して表示したときと、ムービー再生中で表示内容が異なります。

# 索引

カメラ各部の参照先については、「各部の名前」をご覧ください。



索引

資料

11

### さ行



### た行



### な行



### は行

## ま行



## や行



## ら行



## わ行

# お問い合わせいただく前に（お願い）

●より迅速、正確にお答えするために、お手数ですが以下の内容をあらかじめご確認ください。
●FAXまたは郵便でお問い合わせいただく場合は、必ずご記入ください。
●問題が発生したときの症状・表示されたメッセージ・症状の再現性など：パソコンが関係する問題は、とくに正確な状況把握が難しいので、お手数ですができるだけくわしくお知らせください。

●お名前（フリガナ）

●連絡先：郵便番号

ご住所（自宅か会社のいずれかを明記願います）

電話番号/FAX

E-mail

●製品名（型番）：

●シリアル番号（製品底面に記載されています）：

●お買い上げ日：

＊以下は、カメラをパソコンと接続してご使用、またはソフトウェアをご使用の場合にお確かめください。
●ご使用のパソコンの種類：

パソコンメーカー・型番等

●メモリの容量　ハードディスクの空き容量：

●OS名とバージョン：
（Windows）コントロールパネル–システム–デバイスマネージャーの内容

（Mac OS）コントロールパネルや機能拡張の内容

●その他接続されている周辺機器名：

●問題のご使用アプリケーションソフト名とバージョン：

●問題のご使用弊社ソフト名とバージョン

# OLYMPUS®

## オリンパス イメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

---

### ● ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&Aなどの各種情報を当社のホームページでご提供しております。
オリンパスホームページ（**http://www.olympus.co.jp/**）から「お客様サポート」→「映像・情報分野」→「デジタルカメラ／プリンタ」へ進み、ご利用ください。

---

### ● 電話等でのご相談窓口

**カスタマーサポートセンター**

フリーダイヤル

**0120-084215**

**携帯電話・PHSからは0426-42-7499**

**FAX　0426-42-7486**

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

**営業時間　平日　　　　9：30～21：00**
**土・日・祝日　10：00～18：00**
**（年末年始、システムメンテナンス日を除く）**

---

### ● 修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先

**TEL 0266-26-0330　　FAX 0266-26-2011**

〒394-0083　長野県岡谷市長地柴宮3-15-1
**オリンパス岡谷修理センター**
営業時間9:00～17:00
（日曜、夏期・年末年始休業、システムメンテナンス日を除く）

---

### ● 国内サービスステーション（修理受付窓口）

東　京　〒101-0052　千代田区神田小川町1の3の1　小川町三井ビル（オリンパスプラザ内）　Tel.03（3292）3403
札　幌　〒060-0034　札幌市中央区北4条東1の2の3　札幌フコク生命ビル　Tel.011（231）2320
仙　台　〒981-3133　仙台市泉区泉中央１の13の4　泉エクセルビル　Tel.022（218）8421
名古屋　〒460-0003　名古屋市中区錦2の19の25　日本生命広小路ビル　Tel.052（201）9571
大　阪　〒542-0081　大阪市中央区南船場2の12の26　オリンパス大阪センター　Tel.06（6252）6995
広　島　〒730-0013　広島市中区八丁堀16の11　日本生命広島第2ビル　Tel.082（228）3821
福　岡　〒810-0004　福岡市中央区渡辺通3の6の11　福岡フコク生命ビル　Tel.092（761）4466

※ 土・日曜、祝日および年末年始・夏期休暇は原則として休業させていただきます。オリンパスプラザ内の東京サービスステーションは土曜も営業しております。



1AG6P1P2273--　　VT987701